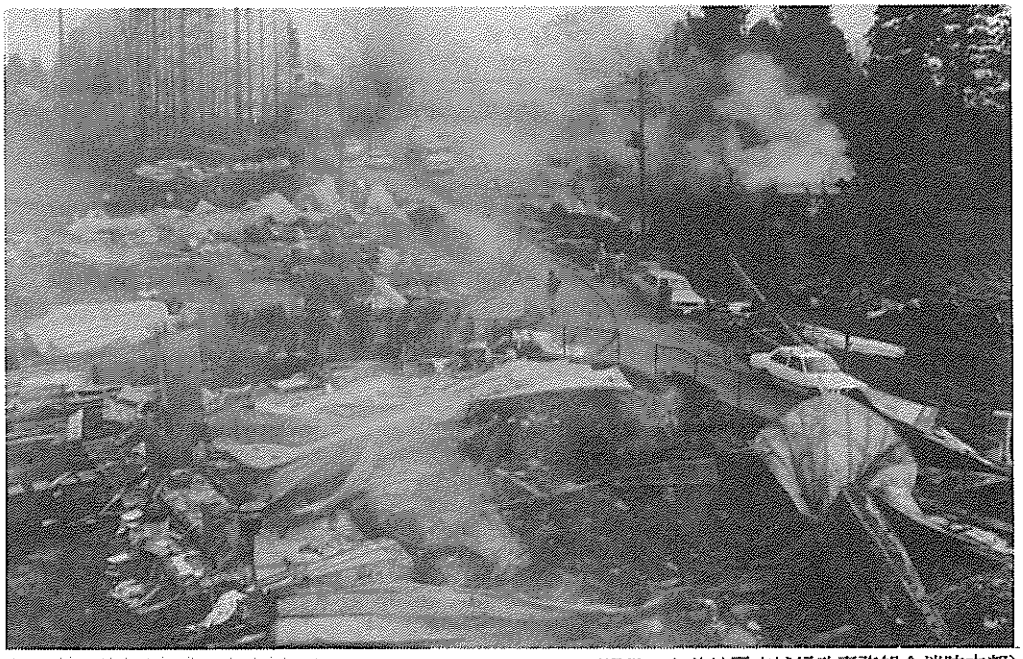
昭和58年4月27日の強風、異常乾燥下における岩手県の火災と強風災害報告書

岩手県総務部消防防災課

延焼中の山林（久慈市　4月28日午前）

（提供―久慈地区広域行政事務組合消防本部）

焼失した住家（久慈市大尻地区　4月28日7時頃）

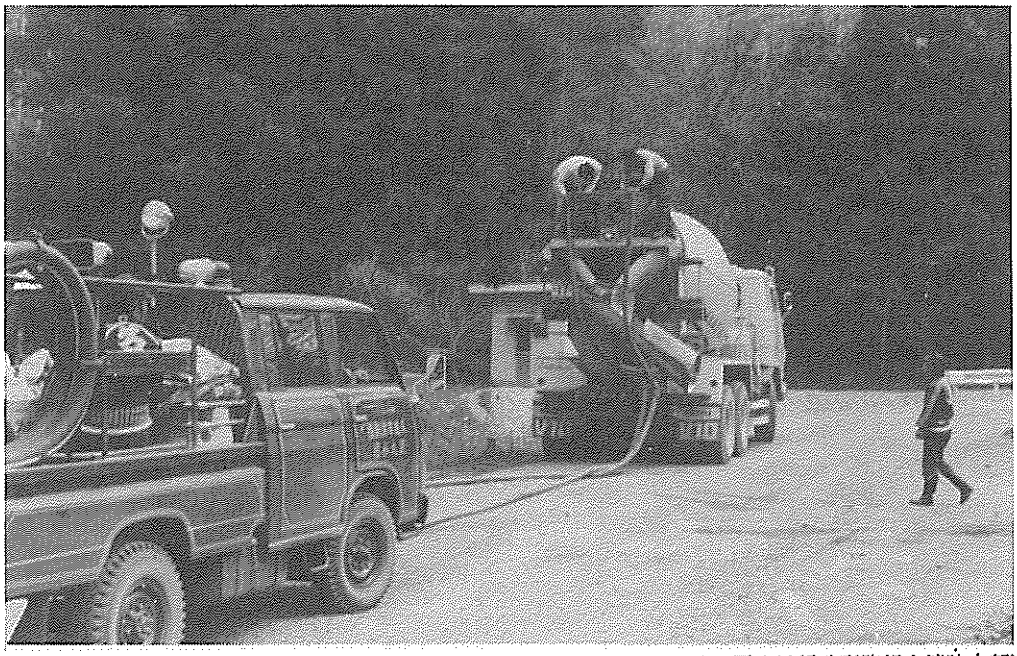


（提供―久慈地区広域行政事務組合消防本部）

空中消火補給基地（久慈市久慈川河川敷）

（提供―久慈地区広域行政事務組合消防本部）

消火用水の運搬に活躍したコンクリートミキサー車（久慈市）



（提供―久慈地区広域行政事務組合消防本部）

目　　次

1. 概　　況 …… 1
2. 気象状況 …… 2
(1) 概　　況 …… 2
(2) 気象予警報の発表状況 …… 6
3. 火災の状況 …… 9
(1) 概　　況 …… 9
(2) 出火原因 …… 9
(3) 延焼拡大の状況 …… 14
4. 防ぎょ活動 …… 18
(1) 概　　況 …… 18
(2) 出動状況 …… 18
(3) 地上消火 …… 26
(4) 空中消火 …… 30
(5) 市町村別防ぎょ活動の状況 …… 34
ア　久慈市 …… 34
イ　岩泉町 …… 51
ウ　滝沢村、西根町 …… 61
エ　大槌町 …… 73
5. 被害の概要 …… 85
(1) 概　　況 …… 85
(2) 被害総括表 …… 85
(3) 市町村別被害項目別被害一覧表 …… 89
6. 被害現地調査の状況 …… 91
(1) 県関係 …… 91
(2) 県議会関係 …… 92
(3) 政府関係機関 …… 92
7. 陳情の状況 …… 93
(1) 県関係 …… 93
(2) 県議会関係 …… 95
8. 災害の応急対策、復旧対策 …… 96
(1) 災害対策本部の設置状況 …… 96

(2) 災害応急対策 …… 97
ア 気象予報の伝達 …… 97
イ 自衛隊の災害派遣要請 …… 97
ウ 災害救助法の適用 …… 98
エ 医療対策 …… 100
オ 防疫対策 …… 100
カ 災害廃棄物の処理 …… 100
キ 救援物資の輸送 …… 101
ク 文教対策 …… 101
ケ 警備対策 …… 102
コ その他の救援、救護対策 …… 103
(3) 復旧対策 …… 105
ア 林業関係 …… 105
イ 水産関係 …… 108
ウ 農業関係 …… 109
エ 商工関係 …… 110
オ 土木関係 …… 111
カ 上水道施設関係 …… 112
キ 電話、電信 …… 112
ク 電 力 …… 113
ケ 市町村の林野火災に対する財政措置 …… 113
コ 民生関係 …… 113
9. 火災防ぎょの検討 …… 114
(1) 火災防ぎょ検討会実施状況 …… 114
(2) 検討結果 …… 118
10. 今次災害の教訓をふまえ県が講じた措置 …… 120
(1) 岩手県防災行政無線システムによる模写電送装置の設置 …… 120
(2) 空中消火資機材等の増強 …… 120
(3) 市町村等に対する指導 …… 121
(4) 火災予防に係る注意の換起 …… 123
11. 資 料 …… 124
過去の林野火災一覧表 …… 124

1. 概　　況

昭和58年４月の岩手県地方の降雨量は、中旬まで48㎜と例年の80％にとどまり、更に下旬には晴天が続き４月23日から異常乾燥注意報が発表されていた。

４月27日に至り、強い寒冷前線が東北地方を通過した後、正午前後から県内各地域で強風が吹きあれ、盛岡市において日最大瞬間風速が33.5ｍ/s（15時40分、W）を記録するなど、この強風は県下全域に及んだ。

このような異常気象条件のもとで、同日10時頃、滝沢村と西根町にまたがる自衛隊演習地内で、また、12時05分には久慈市上長内小屋畑地内で林野火災が発生するなど、夕刻までに県下14市町村で大小18箇所の火災が発生し、加えて強風により西根町、紫波町等県下各地で水稲育苗ハウス等が倒壊するなど、農業施設等に甚大な被害が生じた。

特に大火災となることが懸念された久慈市、岩泉町、大槌町、西根町、室根村では災害対策本部を設置し、隣接市町村の支援を受け消防団員等を総動員して消火に当たったが、久慈市、岩泉町、大槌町、西根町及び滝沢村の火災は夕刻に至っても火勢が衰えず、殊にも久慈市玉の脇、二子、舟渡、大尻地区では山林から住宅に延焼し、ますます被害が拡大する様相を呈した。

このため、県においても午後７時に災害対策本部を設置し、現地と密接な連携を図り情報の収集に努めるとともに、県の備蓄消火剤等を緊急輸送したほか、自衛隊の派遣を得て地上及び空中両面から消火活動を展開する一方、海上保安庁の巡視船及び民間船の協力を得ながら被災住民の救助作業を行うなど、関係市町村ともどもその対策に全力を傾けた。

しかしながら、強風が依然としてやまないまま夜を迎えたこと等の悪条件が重なり、また飛火により延焼範囲が拡大したこと、更には電柱の倒壊、電線の切断等により電気、通信機能が麻痺したことなどから消火活動は困難を極めた。このため、風のおさまるのを待ってヘリコプターによる空中消火活動を開始し本格的な消火活動を行ったが、久慈市においては51時間も燃え続け、29日15時30分ようやく鎮火した。

今次災害の被害は、人的被害が強風関係で死者１名、重軽傷者17名、火災関係では軽傷者９名、合計27名の死傷者が発生した。

また、被害額は50億６千８百余万円にも達し、昭和36年の三陸フェーン災害に次ぐ林野火災となったが、大規模な林野火災にもかかわらず火災による死者が発生しなかったことは、不幸中の幸いであった。

2. 気象状況

(1) 概　況

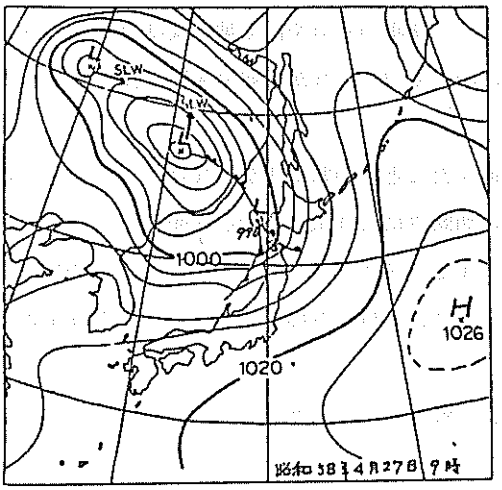
岩手県地方は、4月23日から26日にかけて華北方面から移動して来た高気圧におおわれて晴天が続き、26日には盛岡の最高気温が27.5℃を記録（4月第2位）した。また、空気も非常に乾燥し、異常乾燥注意報が継続しており火災の起こりやすい気象状態となっていた。

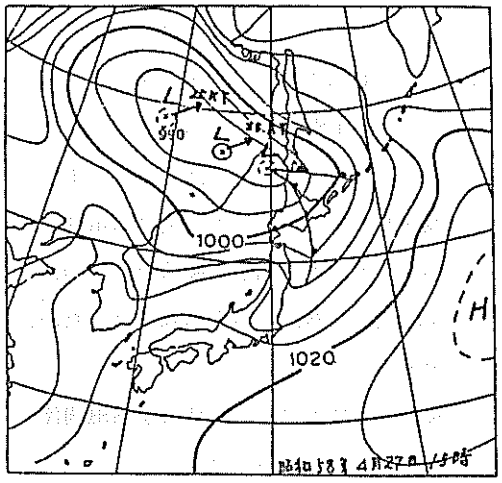
27日に入って、高気圧の中心が三陸はるか沖に去ったが、中国東北区に発達中の低気圧があり、また津軽海峡の西方に低気圧が発生し、これから伸びる寒冷前線が日本海沿岸沿いに輪島付近に伸び、このため東北地方は南北間の気圧の傾きが大きくなり、南よりの強い風が吹きやすい状態となっていた。

津軽海峡付近の低気圧から伸びる寒冷前線が通過した12時すぎから風向は西よりに変わり、風速も強まった。そのため、東北地方太平洋側の地方は奥羽山脈を越える西よりの風によってフェーン現象を起こし、高温乾燥した強風が吹き荒れて、連日の晴天で乾燥していた空気は更に乾燥し、火災の発生に対して非常に危険な状態となった。

盛岡の日最大瞬間風速33.5m/s（15時40分、W）は4月としては第1位、通年で第2位の記録となった。

（地上天気図）





（気象官署風速・湿度表）

27　日	最大風速		最大瞬間風速		日平均湿度	最小湿度
盛　岡	WSW	16.3 m/s	W	33.5 m/s	56 %	35 %
宮　古	WSW	9.9 m/s	WSW	28.7 m/s	50 %	29 %
大船渡	SSE	6.1 m/s	NW	17.1 m/s	54 %	28 %

（参考：各地の気象状況）

種類 / 観測者	観測日時	風向	平均風速	瞬間風速	最大瞬間風速	気温	湿度
			m/s	m/s	m/s	℃	%
久慈地区広域行政事務組合久慈消防署（久慈市）	4.27 12:00	NW	5.2	10.0	28.8 (15:00)	24.5	17.0
大槌消防署（大槌町）	4.27 15:00	SW	4.0	—	—	27.0	28.0
盛岡地区広域行政事務組合盛岡消防署（盛岡市）	4.27 15:00	WSW	16.0	—	—	22.1	36.0
花巻地区消防事務組合花巻消防署石鳥谷分署（石鳥谷町）	4.27 15:00	W	7.5	—	—	23.0	31.0
両磐地区消防組合千厩消防署（千厩町）	4.27 13:30	NW	7.0	—	—	27.0	37.0
八戸海上保安部巡視船（あぶくま）（久慈湾）	4.27 15:18	—	—	—	38.0	—	—
松尾村公営事業所（松尾村）	4.27 14:30	—	—	—	39.0	—	—
国鉄岩泉線浅内駅	4.27 13:30	W	20.0	30.0	43.5 (14:35)	—	—
陸上自衛隊岩手駐屯地（滝沢村）	4.27 12:00	SSW	10.0	32.0	—	25.0	35.0
日本道路公団一本木観測所（滝沢村）	4.27 11:30	—	16.5	—	—	22.0	—

（観　測　表）

盛岡地方気象台

日時	要素	風向（16方位）	風速（m/s）	気温（℃）	湿度（%）
27	6	S	3.6	14.3	65
	7	SSW	3.9	14.3	69
	8	S	3.6	15.6	60
	9	S	7.2	15.6	63
	10	S	7.8	18.1	60
	11	S	8.3	21.9	50
	12	WSW	11.8	23.9	36
	13	W	9.4	22.3	39
	14	WSW	11.3	20.8	39
	15	WSW	15.5	22.1	36
	16	W	13.7	19.7	45
	17	W	10.0	18.4	50
	18	W	5.9	16.9	55
	19	WNW	7.4	16.6	55
	20	WNW	8.5	15.8	57
	21	WSW	6.0	15.0	59
	22	WSW	5.5	14.6	60
	23	SW	4.8	14.3	61
	24	W	1.6	13.8	64
28	1	NNE	2.1	13.2	65
	2	SSE	4.7	11.7	69
	3	SSE	3.5	12.3	65
	4	S	4.5	13.5	61
	5	SSW	0.4	11.0	72
	6	SE	1.9	10.9	74
	7	SSE	2.4	12.3	70
	8	—	0.2	14.4	62
	9	WSW	0.7	17.4	51

宮古測候所

日時	要素	風向（16方位）	風速（m/s）	気温（℃）	湿度（%）
27	6	SSE	1.1	13.3	75
	7	SW	1.4	14.5	69
	8	S	1.1	17.9	61
	9	NNE	1.6	19.0	52
	10	SSW	4.5	26.4	37
	11	SSW	5.1	26.7	36
	12	SSW	5.5	26.6	34
	13	WSW	6.9	26.1	32
	14	SSW	5.5	26.2	31
	15	WSW	4.9	24.8	31
	16	WSW	9.3	24.0	29
	17	WSW	7.6	22.5	34
	18	W	3.7	21.2	37
	19	WSW	3.5	20.2	39
	20	SW	1.5	19.3	40
	21	SW	4.7	19.3	39
	22	SSW	3.2	18.5	41
	23	SSE	4.0	16.9	47
	24	S	3.2	16.5	48
28	1	WSW	3.4	16.7	45
	2	W	2.5	16.6	43
	3	W	2.6	16.7	42
	4	WNW	2.6	16.1	45
	5	WNW	1.1	15.9	46
	6	SW	2.8	16.5	44
	7	WSW	2.4	16.2	49
	8	WSW	2.5	18.7	39
	9	W	2.8	20.7	33

大船渡測候所

日時		風向（16方位）	風速（m/s）	気温（℃）	湿度（%）
27	6	—	0.2	11.0	
	9	SE	1.9	16.9	63
	12	SE	3.2	21.2	
	15	SSW	2.8	24.9	30
	18	W	3.1	22.7	
	21	WNW	0.8	19.4	35
	24	NW	0.6	13.7	
28	3	NW	0.8	13.4	58
	6	N	4.1	15.5	
	9	SE	0.9	17.2	52

久慈（アメダス観測資料）

日時		風向（16方位）	風速（m/s）	気温（℃）	湿度（%）
27	6	WSW	1	11.5	
	7	SW	1	12.4	
	8	ENE	2	14.1	
	9	ENE	4	14.9	
	10	WSW	6	25.4	
	11	WSW	7	25.4	
	12	WSW	5	26.2	
	13	WSW	8	25.3	ナ
	14	W	5	24.7	
	15	WSW	10	24.3	
	16	W	8	23.1	
	17	WSW	10	21.3	
	18	WSW	6	20.5	
	19	WSW	8	19.2	
	20	W	4	18.6	
	21	×	×	×	
	22	W	4	17.4	
	23	×	<	×	
	24	W	4	16.8	
28	1	W	6	16.6	
	2	W	4	17.7	シ
	3	W	3	18.6	
	4	WSW	1	18.1	
	5	WSW	2	18.7	
	6	—	0	18.5	
	7	WNW	1	20.1	
	8	W	2	22.3	
	9	NNW	2	24.2	

(2) 気象予警報の発表状況（盛岡地方気象台発表）

ア　昭和58年4月23日　11時15分

強風注意報
波浪注意報 } 継続

異常乾燥注意報―新規

発達した低気圧がカラフト付近にあり、日本付近では、等圧線が南北に混んでいます。

このため岩手県では、今日一杯西よりの風が強く、海上では波が高いでしょう。

また、空気が乾燥し、火災の起こりやすい気象状態が続きますので、火の元には十分注意して下さい。

なお、実効湿度は60～65%、最小湿度は40%以下、最大風速は陸上で10～15m/s、海上や山岳では15～20m/s、波の高さは3～5mぐらいでしょう。

イ　昭和58年4月23日　21時50分

強風注意報
波浪注意報 } 解除

異常乾燥注意報―継続

県内全般に空気が乾燥しており、また、西よりの風が強いですから、火の取り扱いに引き続き注意してください。

なお、明日の実効湿度は50～55%、最小湿度は20%、最大風速は7～8m/sぐらいです。

ウ　昭和58年4月27日　11時20分

異常乾燥注意報―継続

強風注意報
波浪注意報 } 新規

発達した低気圧が沿海州の西部にあって、東北東に進んでいます。

岩手県では、今日は、南よりの風が陸上、海上ともに次第に強くなり、今夜は西よりの風に変わって、明日の日中にかけて強く吹くでしょう。

海上は、明日にかけて波が高くなるので、船は十分注意してください。

風速の最大は、陸上で10～15m/s前後、海上や山岳では20m/s前後、また、空気が乾燥していますので、引き続き火の取り扱いには十分注意してください。

実効湿度は50%前後、最小湿度は40%ぐらいが見込まれます。

エ　昭和58年4月27日　15時25分

強風に関する気象情報

岩手県では、今夜はじめにかけ強い風が吹き続き、海上では荒れ模様が続くので、各方面とも十分注意が必要です。

12時現在、発達中の低気圧は、積丹沖にあって北東に進んでいるため、北日本は気圧の

傾きが大きく、岩手県では昼前後から南よりの風が強くなっています。

15時現在、盛岡での最大瞬間風速30.7 m/s（14時57分観測）、平均風速16 m/sとなっています。

また、15時現在の県内の平均風速は、山形10 m/s、久慈10m/s、好摩10 m/s、住田10m/s、宮古5 m/s、山田8 m/s、紫波7 m/sになっています。

この風は、今夜はじめにかけ強い見込みで、特に数日前から空気が乾いているため、火災の起こりやすい状態となっているので、火の取り扱いに十分注意してください。

オ　昭和58年4月28日　5時20分

強風注意報
波浪注意報　}解除

異常乾燥注意報―継続

発達した低気圧は、千島中部に去り、岩手県の風はおさまりました。

しかし、空気が引き続き乾燥しており、また、山林火災の発生しているところでは、時々突風が起こりますので、各方面とも十分注意してください。

予想湿度は30％ぐらい、実効湿度は50％ぐらいです。最大突風は南よりの風が7～8 m/s、の見込みです。

カ　昭和58年4月28日　21時30分

異常乾燥注意報―継続

強風注意報
波浪注意報　}新規

岩手県では、今夜半過ぎから明日にかけて、南よりの風が陸上、海上ともに次第に強まり、海上では波が高くなるので、船は十分注意してください。

風速の最大は、陸上で15 m/s前後、海上や山岳では20 m/s前後の見込みです。

また、空気はまだ乾燥してますので、引き続き火の取り扱いには十分注意してください。

実効湿度は50％前後、最小湿度は40％ぐらいが見込まれます。

キ　昭和58年4月29日　5時15分

異常乾燥注意報―解除

強風注意報
波浪注意報　}継続

岩手県では、今日一杯南よりの風が強く、海上や山岳では荒れ模様の気象となるでしょう。

海上では、波が高くなりますので、船は十分注意してください。

最大風速は、陸上では10～15m/sぐらい、海上や山岳では20m/s前後、波の高さは3～5mぐらいです。

ク　昭和58年4月29日　9時10分

強風注意報
波浪注意報　}解除

（気象予警報等発表経過図）

月日時 ＼ 注意報等		異常乾燥注意報	強風注意報	波浪注意報	気象情報
日	時				
4月 23	6				
	12	11:15			
	18		21:50	21:50	
24					
25					
26					
27	6				
	12		11:20	11:20	
	18				15:25・
28	6		5:20	5:20	
	12				
	18		21:30	21:30	
29	6	5:15			
	12		9:10	9:10	
	18				

3. 火災の状況

(1) 概　況

4月27日、県内で14市町村18箇所において火災が発生し、強風、異常乾燥下の中で飛火延焼拡大し、久慈市長内地区をはじめとする6箇所の林野火災は、焼損面積10ha以上の大火災に拡大した。

本年4月に発生した火災は104件であるが、異常乾燥注意報が発令された4月23日以降の火災発生状況をみると、日増しに出火件数は増え、27日には18件（4月出火件数の17%）と短時間のうちの出火状況としては最悪の状態となった。

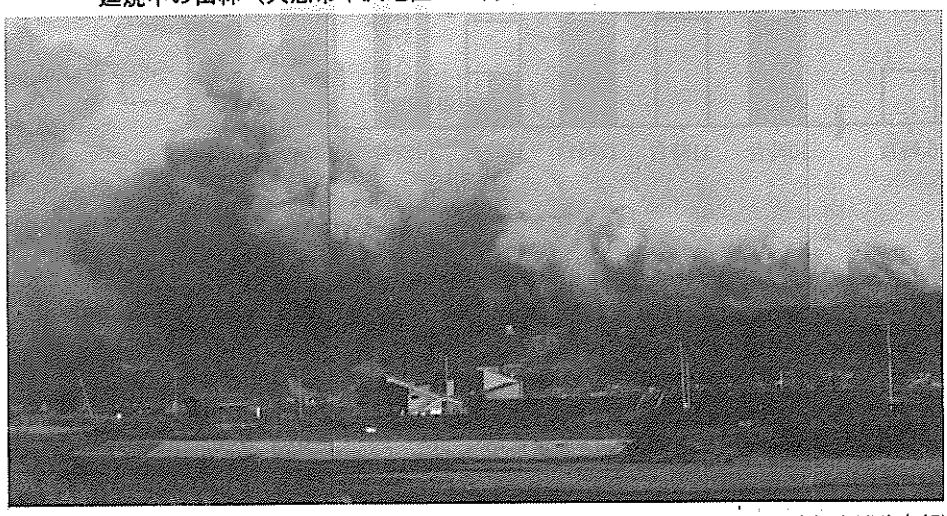
27日の火災を出火時刻別にみると、10時から16時台にかけて平均的に火災が発生しているが、これは、午前中くもりで比較的風が弱かったために、火に対する警戒心がうすく火気の使用件数が多かったことが一因として考えられる。

28日以降は、久慈大火の大々的報道等により警火心が高まり、火災件数は28日3件、29日、30日はゼロという結果になって表われている。

(2) 出火原因

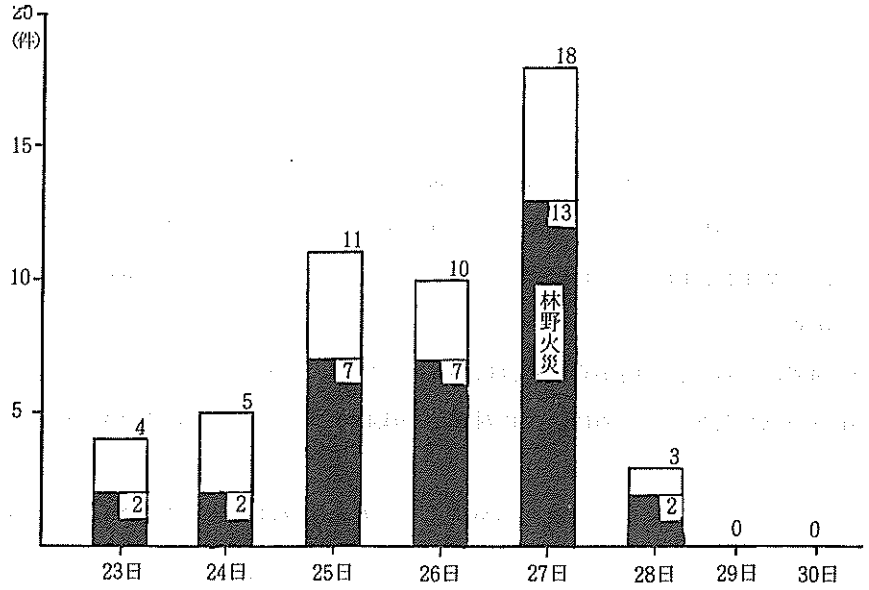
出火原因は、たき火、たばこ等そのほとんどが人為的なものである。具体的には、出火者が覆土等により火を消したつもりが、完全に消火されないで折からの強風により再燃し延焼したという事例が多い。（室根村津谷川の火災では、出火当日の5日前に覆土処理した残火が再燃したものである。）

延焼中の山林（久慈市平沢地区　4月27日16時頃）

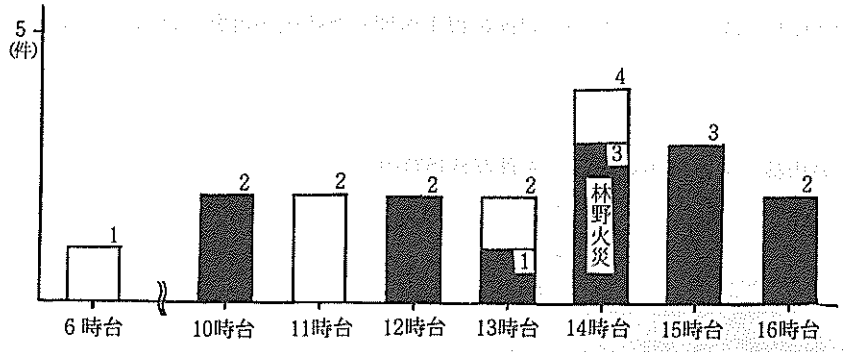


（提供―久慈地区広域行政事務組合消防本部）

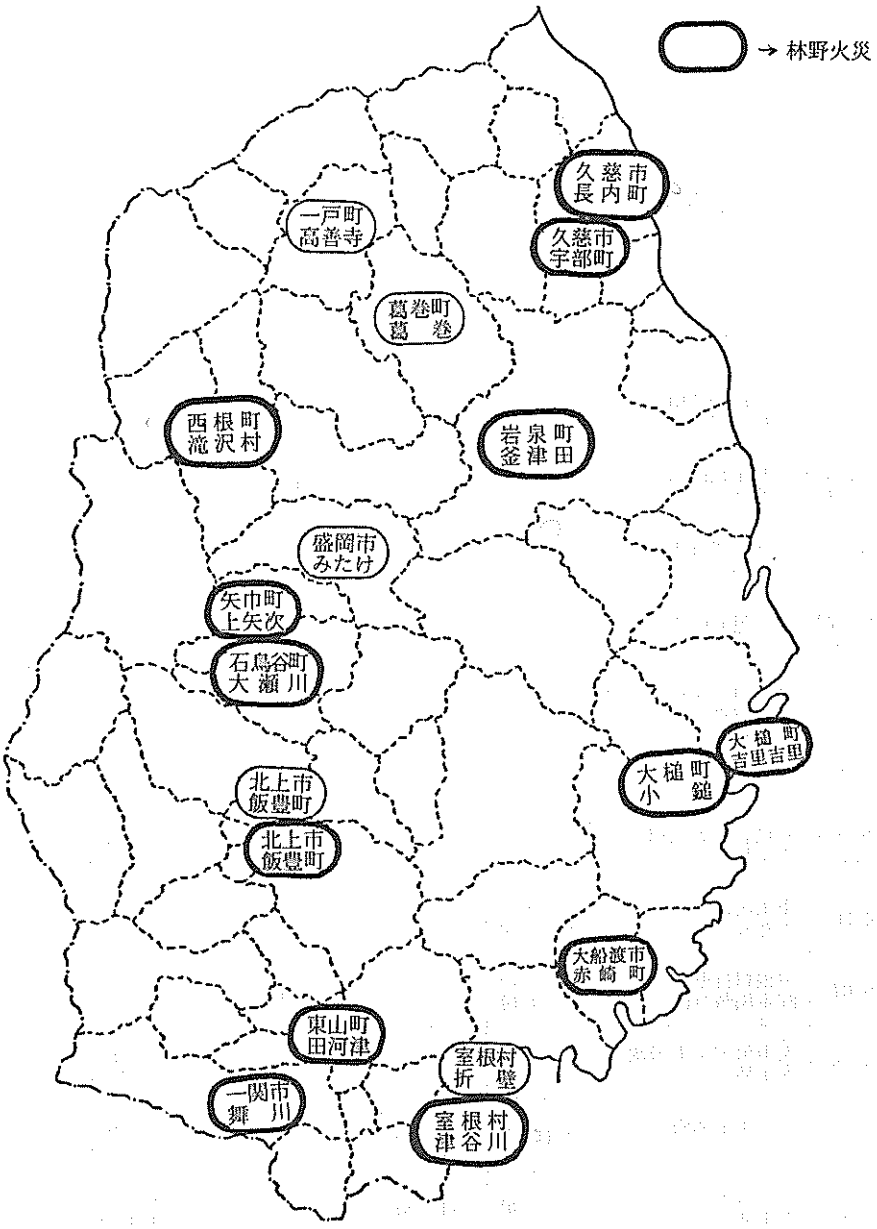
（４月23日から４月30日にかけての火災発生状況）



（４月27日の出火時刻別火災発生状況）



（4月27日の火災発生場所）



（4月27日の火災発生状況）

番号	出火時刻	鎮火時刻	出火場所	出火原因	焼損面積 林野(a)	焼損面積 建物(㎡)	り災世帯数	損害額(うち林野)(千円)	死者(人)	負傷者(人)
1	6:00	6:15	葛巻町葛巻 チップ工場サイロ	熔接器の接触		149		4,826		
2	10:00	4月28日 15:00	滝沢村大字滝沢 自衛隊着弾地	たき火	47,419	1,079	2	438,846 (372,476)		
3	10:32	10:43	大槌町吉里吉里 道路	不明						
4	11:06	11:22	一戸町高善寺 住屋敷地内	たき火						
5	11:15	11:36	北上市飯豊町 木材置場の製品庫	たき火				75		
6	12:05	4月29日 15:30	久慈市長内町 天然林	たばこ	108,460	17,371	61	1,274,128 (733,020)		2
7	12:40	18:00	室根村津谷川 人工林	燃えさし	3,300			19,927 (19,927)		
8	13:30	4月28日 17:32	岩泉町釜津田 山麓	マッチ	162,598			690,655 (676,077)		
9	13:45	13:57	盛岡市みたけ1丁目 工場敷地	たき火				227		
10	14:04	14:24	一関市舞川 天然林	たき火	1					
11	14:10	4月28日 2:15	石鳥谷町大瀬川 人工林	たき火	2,408			13,934 (13,934)		
12	14:23	14:50	東山町田河津 天然林	たき火の火の粉	16					
13	14:40	15:07	室根村折壁 貯木場敷地内	煙突の火の粉						
14	15:08	15:25	矢巾町大字上矢次 人工林	たき火	3	15	1	315 (215)		
15	15:10	19:29	久慈市宇部町 人工林	たばこ	390			1,846 (1,846)		
16	15:23	4月28日 11:00	大槌町小鎚 人工林	不明	11,090	3	1	131,541 (129,816)		1
17	16:00	16:33	北上市飯豊町 人工林	たき火の火の粉	2			19 (19)		1
18	16:05	17:35	大船渡市赤崎町 人工林	不明	70			2,410 (2,410)		
計					335,757	18,617	65	2,578,749 (1,949,740)		4

（各消防本部調）

（火災の状況ー焼損面積10ha以上のもの）

		久慈市	岩泉町	滝沢村 西根町	大槌町	石鳥谷町 紫波町	室根村
出火場所		久慈市長内町第17地割77番地	岩泉町釜津田字沢口16番地イ号	滝沢村大字滝沢第24地割字後394番	大槌町小鎚第25地割124ー内ー2号	石鳥谷町大瀬川第1地割303番地	室根村津谷川字大森1ー30
出火日時		4月27日 12：05	4月27日 13：30	4月27日 10：00頃	4月27日 15：23	4月27日 14：10	4月27日 12：40
出火原因	発火源	4.2.1 たばこ	4.2.2 マッチ	4.1.3 たき火	9 不明	4.3.3 たき火	4.1.4 燃えさし
	経過	6.4 投げ捨て	4.5 火の粉が飛火	4.5 火の粉が飛火	9 不明	4.5 火の粉が飛火	4.5 火の粉が飛火
	着火物	3.1.1 枯草	3.1.2 落葉	3.1.1 枯草	3.1.1 枯草	3.1.1 枯草	3.1.2 落葉
	原因の詳細	（不明）	朝民家脇の畑で行ったゴミ焼の残火が古根株に着火し、気温の上昇と強風により12m程離れた山すそに飛火延焼	前日自衛隊が行った野焼きの残火（推定）が異常乾燥と強風にあおられ火の粉が飛火し、周囲の原野、山林に延焼	（不明）	午前中道路工事に使用した残材を焼却したが、午後強風により残火が飛散し枯草に着火延焼	4月22日林道開設工事のため伐採した樹木を焼却し覆土したが、27日、強風により残火が飛散し附近の落葉に着火延焼
火元及び周辺の状況	火元の位置	頂上	山麓	山麓	沢筋	山腹	沢筋
	斜面方位	南東	南	南	南	東南東	西
	傾斜	中	急	平	中	中	急
	斜面長	70 m	100 m	250 m	287 m	320 m	920 m
	地被物の量	中	中	中	中	中	中
	地被物の種類	松の枯枝、枯草、笹	落葉、シダ類	枯草、カヤ	落葉、杉の落枝	落葉、杉松の落枝、枯草	落葉、松の落枝
	森林種別	普通林	普通林	普通林	普通林	普通林	制限林
	人天別	天然林	天然林	天然林	人工林	人工林	人工林
	樹種	赤松	雑木	赤松	杉	杉松	赤松、から松、杉
	林令	7年	15年	40年	20年	6年	23年
	樹高	3 m	4 m	6～7 m	15 m	2 m	5 m
発見日時		4月27日 12：07	4月27日 13：38	4月27日 10：15	4月27日 15：25	4月27日 14：40	4月27日 12：45
覚知日時		〃 12：08	〃 13：38	〃 11：55	〃 15：26	〃 14：53	〃 12：59
覚知方法		火災報知専用電話	火災報知専用電話	一般加入電話	火災報知専用電話	火災報知専用電話	村役場直通電話
先着消防到着日時		4月27日 12：11	4月27日 14：11	4月27日 12：07	4月27日 15：29	4月27日 15：10	4月27日 13：21
放水開始日時		〃 12：12	〃 14：12	〃 13：00	〃 15：30	〃 15：40	—
火勢鎮圧日時		4月29日 10：30	4月28日 16：00	4月28日 11：13	4月28日 2：00	4月28日 1：50	4月27日 17：00
鎮火日時		〃 15：30	〃 17：32	〃 15：00	〃 11：00	〃 2：15	〃 18：00

(3) 延焼拡大の状況

火災の延焼拡大の原因としては、①気象状況、②強風による飛火の発生、③地理地形の状況、④通報の遅れ、⑤水利の不足等が考えられるが、最大の原因は強風による飛火が発生したことがあげられる。

大火災に発展した6箇所の林野火災では、すべて数箇所への飛火が発生しており、久慈市長内町の火災においては、風下方向に消防隊の主力を投入して防ぎょに当たっていたものが、風向が急変し東側方向に飛火し、沿岸方面へ延焼拡大している。また、飛火の範囲も長距離に及び、短時間のうちに1㎞以上も離れた地点に複数飛火した事例も発生している。

更に、複雑急峻な地形が消防隊の進入を阻み、また、強風、異常乾燥下の中で火足が想像以上に速く、防火線の設定が困難であったことも大きな拡大要因となっている。

しかしながら、人為的な面が拡大の原因になっている事実も見逃がすことはできない。

第1は、通報の遅れであり、特に、滝沢村・西根町の火災においては、消防機関に通報があったのは出火後2時間余りたった後であり、飛火による延焼拡大はあったものの、通報の遅れが拡大の大きな原因であったことも事実である。石鳥谷町大瀬川の火災においても出火から約40分後の通報であり、消防隊到着時には延焼範囲は相当拡大し、火勢は峰付近まで達し手がつけられない状態であった。

4月27日の火災18件のうち小規模でくいとめた11件の火災の出火から鎮火までの平均所要時間は約26分であり、早い覚知と初期消火が拡大を阻止した大きな要因となっている。

第2は、水利の不足であり、ポンプ、人員が多数動員されたにもかかわらず、水利が少なかったために消火活動は大幅に制約された。

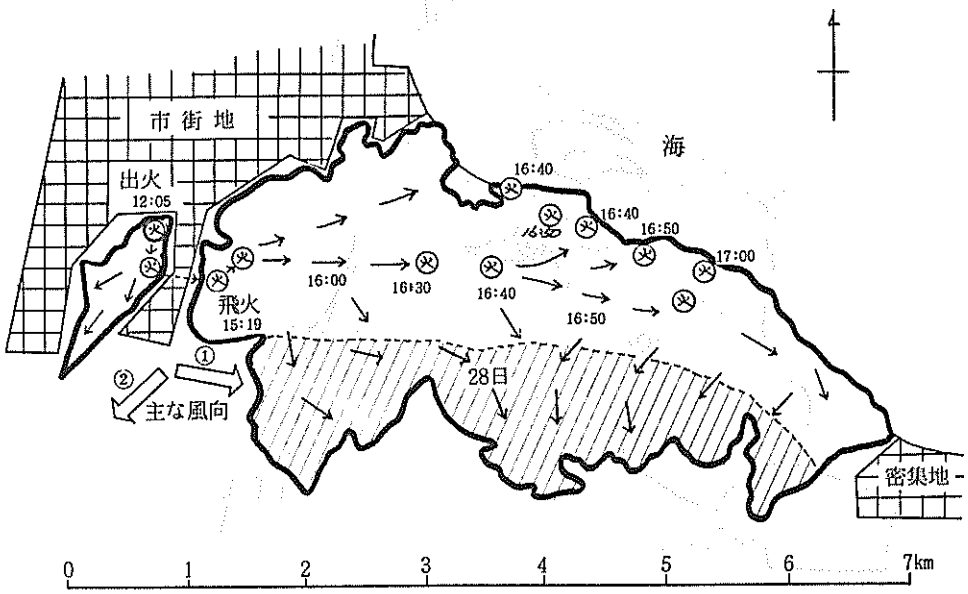
久慈市では水利不足を補うため、ミキサー車が活用されたが、水利不足の解消には至らなかった。

室根村及び石鳥谷町においては、ポンプ車等による放水のための有効水利がなく、専ら可搬式散水装置（ジェットシューター）による消火活動を余儀なくされている。

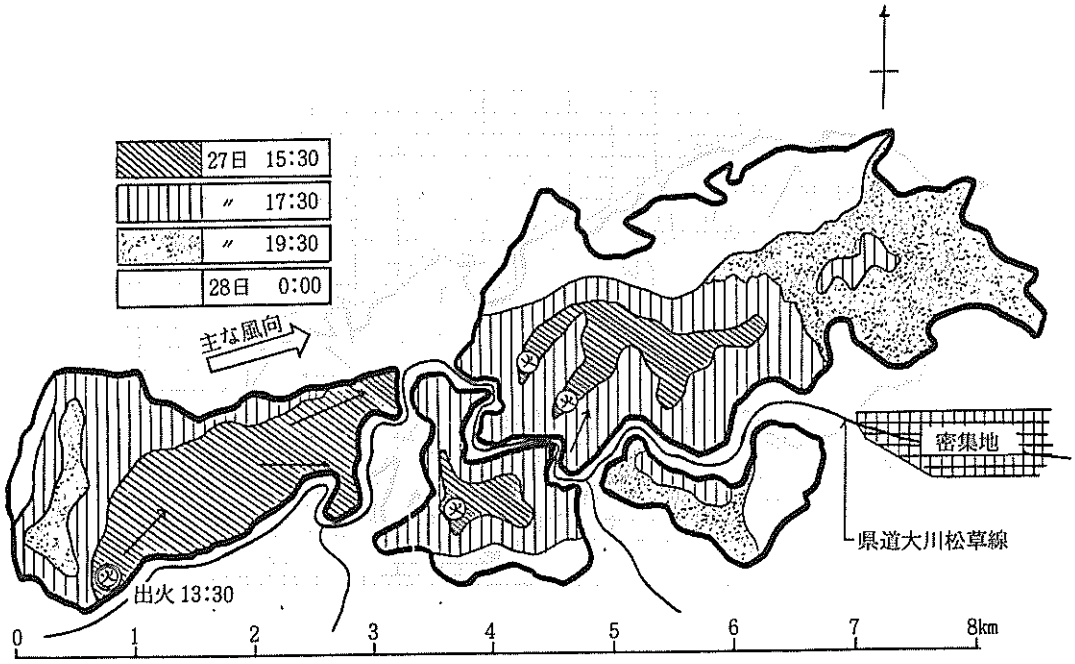
火災の鎮圧原因は、言うまでもなく長時間に及ぶ人海戦術の賜であるが、他方、気象状況の好転、稜線等による自然焼け止り等が幸いしたことも事実であり、逆に言えば、異常気象下の中での林野火災の防ぎょの難しさを物語っている。

（火災延焼拡大図）

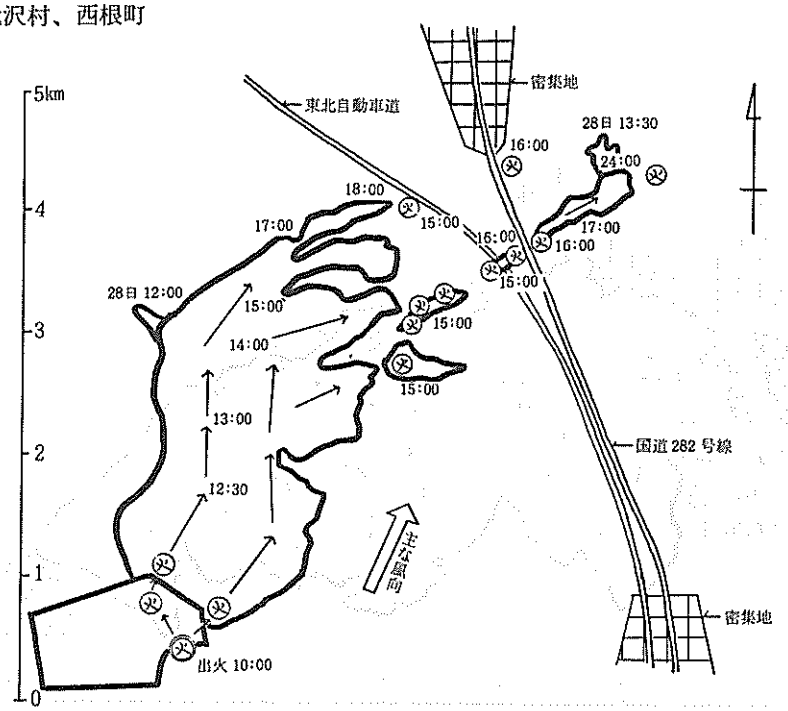
(1) 久 慈 市



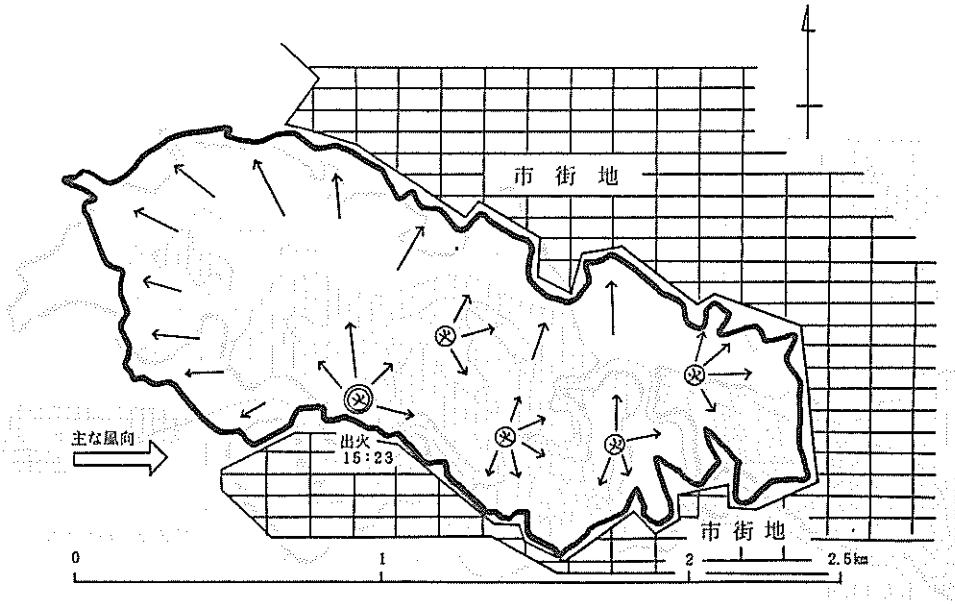
(2) 岩 泉 町



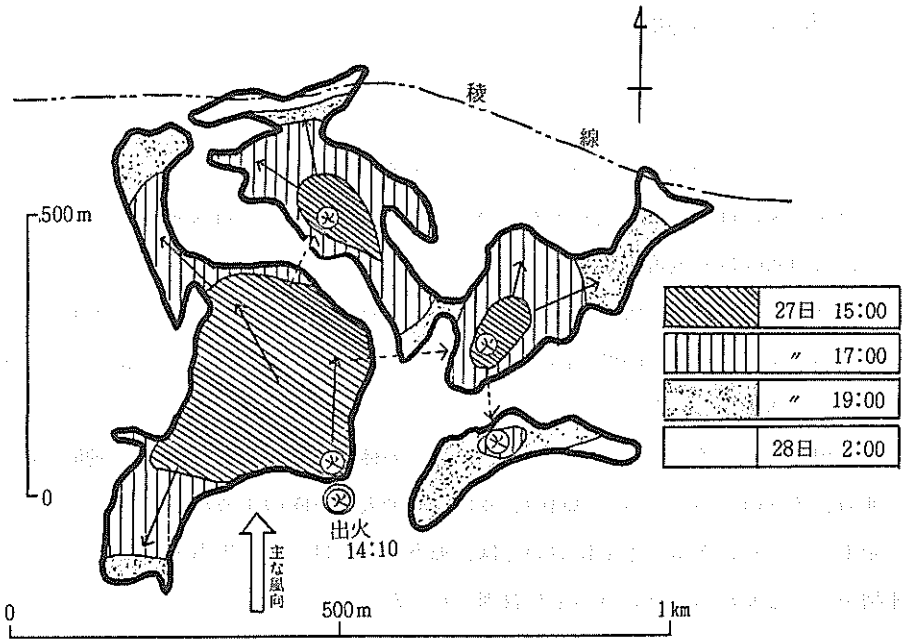
(3) 滝沢村、西根町



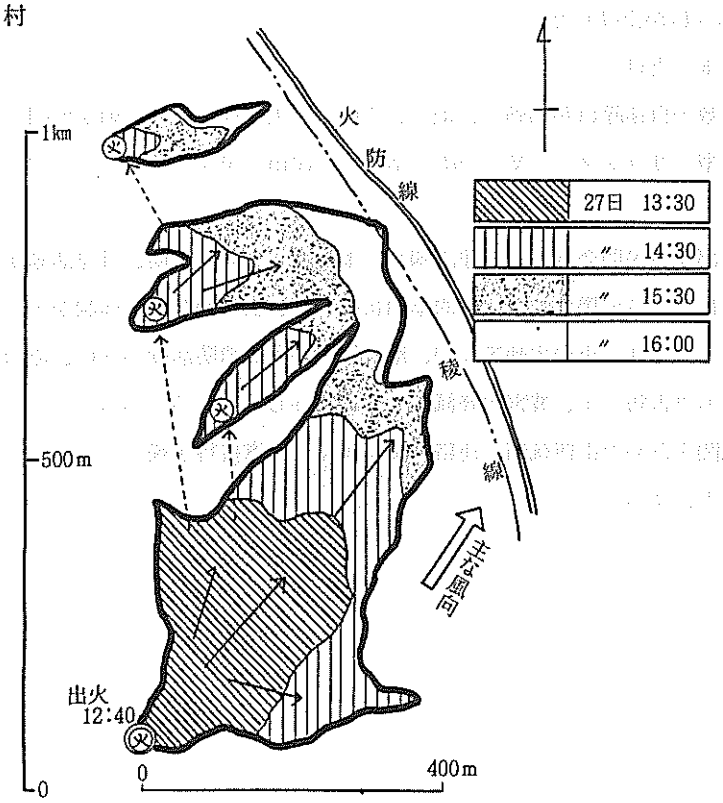
(4) 大 槌 町



(5) 石鳥谷町


稜
線
500m
0
出火
14:10
主な風向
0
500m
1km
27日 15:00
〃 17:00
〃 19:00
28日 2:00

(6) 室根村


火
防
線
稜
線
1km
500m
0
出火
12:40
主な風向
0
400m
27日 13:30
〃 14:30
〃 15:30
〃 16:00

4. 防ぎょ活動

(1) 概　況

今回の火災は、強風下の中で飛火が多く、また、延焼速度が速かったこと、焼損範囲が広大であったこと、火点が人家に近く延焼の危険が大きかったこと及び付近に有効水利が少なかったこと等悪条件が重なり、各消防隊は悪戦苦闘を強いられた。

強風、異常乾燥下における林野火災を、消火活動により早期に鎮圧することは困難であり、更に、消防職団員等の人命にかかる危険度も高いことから、各地では民家の防ぎょを第一とし、飛火警戒に重点を置く防ぎょ体制をしいた。

これは、昭和36年の三陸フェーン災害をはじめ幾多の林野火災の教訓から得た判断によるものであったが、他方、久慈市においては、風向の急変により飛火警戒隊の手薄な沿岸各集落が罹災するという事態も発生しており、異常気象下においては、風下方面だけでなく相当広範囲にわたる飛火警戒、防ぎょ体制をしく必要があるという貴重な教訓を残した。

(2) 出動状況

今回の火災には、地元消防機関、消防協力者をはじめ、隣接消防機関、自衛隊、海上保安庁等々延16,679名にも及ぶ人員が出動した。

その中で特徴的なことは

① 県内外から多数の自衛隊員が出動し、地上、空中から大規模な消火活動が展開され、また、本県では初めて、大型ヘリコプター（V－107 千葉県木更津市、第1ヘリコプター団）による空中消火が実施されたこと。

② 八戸海上保安部及び民間会社（宮城建設㈱）による海上からの救助、避難活動が実施されたこと。

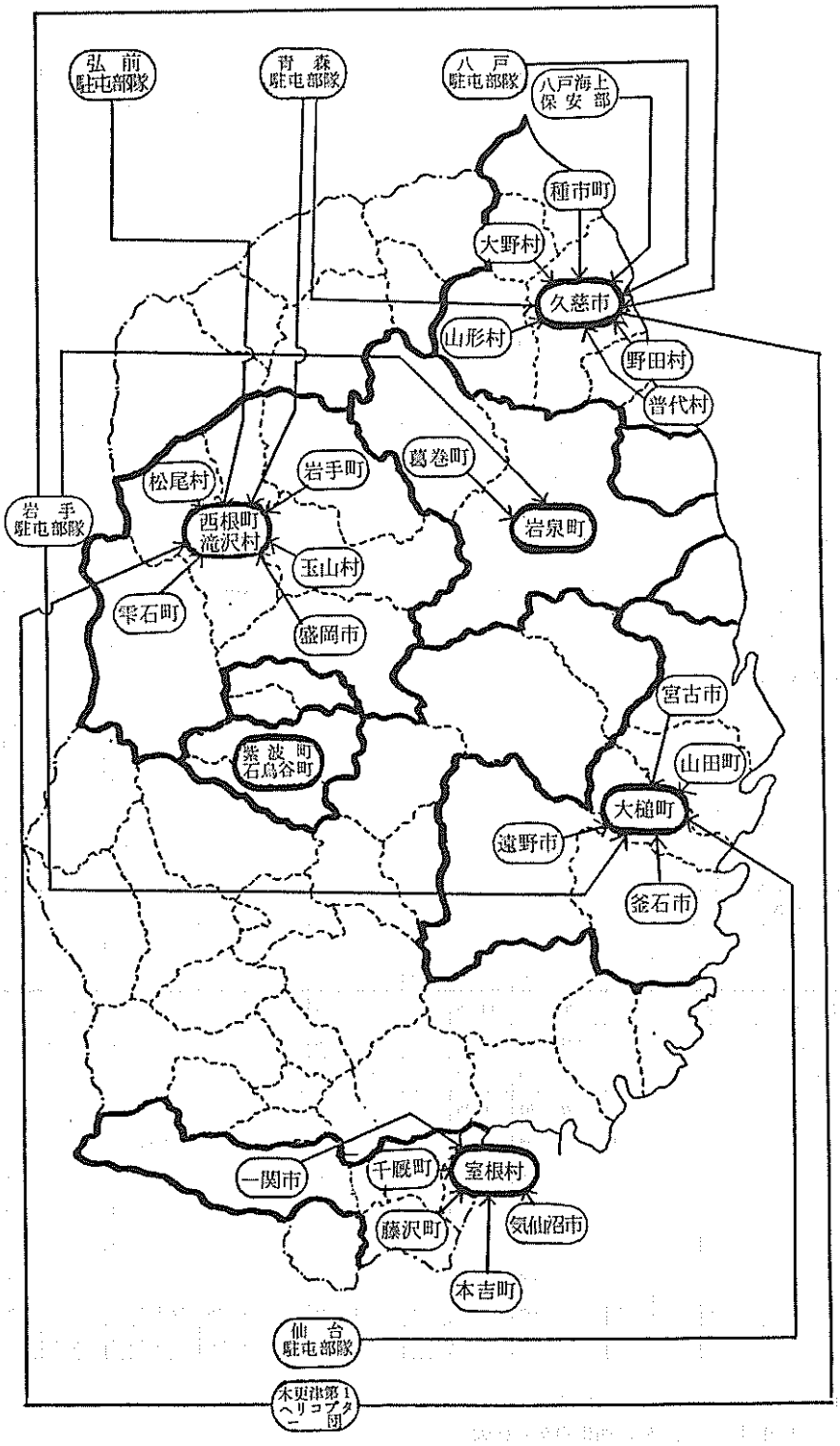
③ 近隣市町村等に対する応援要請が比較的早期に行われ、広域的な消防体制がとられたこと。

④ 久慈市におけるミキサー車の出動等民間、地域住民が多数消防活動へ支援、協力したこと。

等であり、いずれも災害防ぎょ、被害の軽減に大いに寄与したところである。

出動した関係機関を含めた指揮統制、連絡体制に多くの反省材料を残したものの、可能な限りの体制がとられたものと言える。

（関係機関の応援出動状況）



（機関別出動状況）

(1) 自衛隊の出動状況

			4月27日			4月28日			4月29日			合計（延数）		
			人員	へり	車両	人員	へり	車両	人員	へり	車両	人員	へり	車両
			人	機	台	人	機	台	人	機	台	人	機	台
久慈市	空中消火	東北方面航空隊(仙台)				(6) 12	(2) 2		6	2		(6) 18	(2) 4	
		第1ヘリコプター団(木更津)				(13) 20	(2) 4		8	2		(13) 28	(2) 6	
		第9飛行隊(八戸)				16	2		16	2		32	4	
		小計				(19) 48	(4) 8		30	6		(19) 78	(4) 14	
	地上消火	岩手駐屯部隊	131		13	(9) 131		14	(235) 131		42	(244) 393		69
		八戸 〃	129		16	196		27	480		64	805		107
		青森 〃	65			30			85			180		
		小計	325		29	(9) 357		41	(235) 696		106	(244) 1,378		176
	計		325		29	(28) 405	(4) 8	41	(235) 726	6	106	(263) 1,456	(4) 14	176
岩泉町	空中消火	東北方面航空隊(仙台)				(10)	(2)					(10)	(2)	
		第1ヘリコプター団(木更津)				(10)	(2)					(10)	(2)	
		小計				(20)	(4)					(20)	(4)	
	地上消火	岩手駐屯部隊	4		1	4		1				8		2
	計		4		1	(20) 4	(4)	1				(20) 8	(4)	2
滝沢村・西根町	空中消火	東北方面航空隊(仙台)	8	2		20	4					28	6	
		第1ヘリコプター団(木更津)				13	2					13	2	
		第9飛行隊(八戸)	3	1		3	1					6	2	
		小計	11	3		36	7					47	10	
	地上消火	岩手駐屯部隊	707		67	639		84				1,346		151
		青森 〃	242		14	242		14				484		28
		弘前 〃	402		20	402		20				804		40
		小計	1,351		101	1,283		118				2,634		219
	計		1,362	3	101	1,319	7	118				2,681	10	219
大槌町	地上消火	岩手駐屯部隊				4		1				4		1
		仙台 〃				498		65				498		65
	計					502		66				502		66
合計	空中消火	東北方面航空隊(仙台)	8	2		(16) 32	(4) 6		6	2		(16) 46	(4) 10	
		第1ヘリコプター団(木更津)				(23) 33	(4) 6		8	2		(23) 41	(4) 8	
		第9飛行隊(八戸)	3	1		19	3		16	2		38	6	
		小計	11	3		(39) 84	(8) 15		30	6		(39) 125	(8) 24	
	地上消火	岩手駐屯部隊	842		81	(9) 778		100	(235) 131		42	(244) 1,751		223
		八戸 〃	129		16	196		27	480		64	805		107
		青森 〃	307		14	272		14	85			664		28
		弘前 〃	402		20	402		20				804		40
		仙台 〃				498		65				498		65
		小計	1,680		131	(9)2,146		226	(235) 696		106	(244) 4,522		463
	合計		1,691	3	131	(48)2,230	(8) 15	226	(235) 726	6	106	(283) 4,647	(8) 24	463

（注）1. 消火活動に従事した人員を計上している。
2. 久慈市の（　）外書き―滝沢村、西根町から移動。
3. 岩泉町の　〃　――本木（滝沢村）から空中消火実施

(2) 市町村別出動状況

（単位：人、台）

区分	市町村名	久慈市		岩泉町		滝沢村 西根町		大槌町		石鳥谷町 紫波町		室根村		合計	
4月27日	消防本部	40		23		227		26		8		58		382	
	応援消防本部							22		16		26		64	
	消防団	546		530		610		246		240		210		2,382	
	応援消防団	320		81		630		411		220		560		2,222	
	自衛隊	325		4		1,362								1,691	
	営林署	13		87		80		34		52		40		306	
	消防協力者	196		435				600		13		96		1,340	
	その他	125		150		61		194		11				541	
	計	1,565		1,310		2,970		1,533		560		990		8,928	
	ポンプ車等	75	93	79	14	114	128	52	19	49	18	58	23	427	295
4月28日	消防本部	53		23		29		26		8				139	
	応援消防本部									2				2	
	消防団	549		560		149		246		60				1,564	
	応援消防団	368								30				398	
	自衛隊	433		24		1,319		502						2,278	
	営林署	43		62		163		8		11				287	
	消防協力者	145		570				200		15				930	
	その他	148		160		18		194		6				526	
	計	1,739		1,399		1,678		1,176		132				6,124	
	ポンプ車等	77	132	72	19	33	156	19	81	6	7			207	395
4月29日	消防本部	36												36	
	応援消防本部														
	消防団	330												330	
	応援消防団														
	自衛隊	961												961	
	営林署	5												5	
	消防協力者	174												174	
	その他	121												121	
	計	1,627												1,627	
	ポンプ車等	46	153											46	153
合計	消防本部	129		46		256		52		16		58		557	
	応援消防本部							22		18		26		66	
	消防団	1,425		1,090		759		492		300		210		4,276	
	応援消防団	688		81		630		411		250		560		2,620	
	自衛隊	1,719		28		2,681		502						4,930	
	営林署	61		149		243		42		63		40		598	
	消防協力者	515		1,005				800		28		96		2,444	
	その他	394		310		79		388		17				1,188	
	計	4,931		2,709		4,648		2,709		692		990		16,679	
	ポンプ車等	198	378	151	33	147	284	71	100	55	25	58	23	680	843

(3) 地区別出動状況

(ア) 久 慈 市

(単位：人、台)

区分 / 機関名	4月27日			4月28日			4月29日			合計（延数）		
	人員	ポンプ車等	その他車両	人員	ポンプ車等	その他車両	人員	ポンプ車等	その他車両	人員	ポンプ車等	その他車両
久慈地区広域行政事務組合消防本部	3		1	3		1	3		1	9		3
久慈消防署	30	4	2	30	4	2	30	4	2	90	12	6
種市分遣所	4		1	5		1	3		1	12		3
大野 〃				3						3		
山形 〃				3						3		
野田 〃				4						4		
普代 〃	3			5						8		
計	40	4	4	53	4	4	36	4	4	129	12	12
久慈市消防団	546	42	1	549	42	1	330	42	1	1,425	126	3
種市町 〃	90	10	1	85	8	1				175	18	2
大野村 〃	63	7	1	54	6	1				117	13	2
山形村 〃	45	3	2	75	7	1				120	10	3
野田村 〃	81	5	2	99	5	2				180	10	4
普代村 〃	41	4	1	55	5	1				96	9	2
計	866	71	8	917	73	7	330	42	1	2,113	186	16
自衛隊	325		29	433		53	961		112	1,719		194
営林署	13		4	43		7	5		2	61		13
警察	125		29	148		34	121		28	394		91
消防協力者	196		19	145		27	174		6	515		52
合計	1,565	75	93	1,739	77	132	1,627	46	153	4,931	198	378
ジェットシューター数	53			231			126			410		

(イ) 岩 泉 町

(単位：人、台)

区分 / 機関名	4月27日			4月28日			合計（延数）		
	人員	ポンプ車等	その他車両	人員	ポンプ車等	その他車両	人員	ポンプ車等	その他車両
宮古地区広域消防組合岩泉消防署	23	2	2	23	1	2	46	3	4
岩泉町消防団	530	67		560	67		1,090	134	
葛巻町 〃	81	6					81	6	
計	611	73		560	67		1,171	140	
自衛隊	4		1	24		6	28		7
営林署	87	4	11	62	4	11	149	8	22
岩泉町役場	150			160			310		
消防協力者	435			570			1,005		
合計	1,310	79	14	1,399	72	19	2,709	151	33
ジェットシューター数	380			480			860		

(ウ) 滝沢村、西根町　　（単位：人、台）

区分 / 機関名	4月27日 人員	4月27日 ポンプ車等	4月27日 その他車両	4月28日 人員	4月28日 ポンプ車等	4月28日 その他車両	合計（延数） 人員	合計（延数） ポンプ車等	合計（延数） その他車両
盛岡地区広域行政事務組合消防本部	15		5				15		5
盛岡消防署	124	4	2	4		1	128	4	3
雫石分署	11						11		
葛巻 〃	7						7		
岩手 〃	11		1				11		1
西根 〃	17	1	1	16	1	1	33	2	2
滝沢 〃	15	1	1	9	1	1	24	2	2
松尾 〃	8		1				8		1
玉山 〃	11	1					11	1	
安代 〃	8						8		
計	227	7	11	29	2	3	256	9	14
盛岡市消防団	94	6					94	6	
雫石町 〃	45	6					45	6	
岩手町 〃	133	18					133	18	
西根町 〃	350	29		149	25		499	54	
滝沢村 〃	260	11	4				260	11	4
松尾村 〃	80	6					80	6	
玉山村 〃	278	25	1				278	25	1
計	1,240	101	5	149	25		1,389	126	5
自衛隊	1,362	6	98	1,319	6	119	2,681	12	217
営林署	80		14	163		34	243		48
滝沢村役場	11			8			19		
西根町 〃	50			10			60		
合計	2,970	114	128	1,678	33	156	4,648	147	284
ジェットシューター数	315			94			409		

(エ) 大槌町

（単位：人、台）

区分 / 機関名	4月27日 人員	4月27日 ポンプ車等	4月27日 その他車両	4月28日 人員	4月28日 ポンプ車等	4月28日 その他車両	合計（延数） 人員	合計（延数） ポンプ車等	合計（延数） その他車両
大槌町消防本部 大槌町消防署	26	4	5	26	4	5	52	8	10
釜石市消防本部 釜石市消防署	8	1					8	1	
宮古地区広域消防組合 山田消防署	10	1					10	1	
遠野地区消防事務組合 遠野消防署	4		1				4		1
計	48	6	6	26	4	5	74	10	11
大槌町消防団	246	14		246	14		492	28	
釜石市 〃	276	14					276	14	
山田町 〃	84	4					84	4	
宮古市 〃	38	2					38	2	
遠野市 〃	13	2					13	2	
計	657	36		246	14		903	50	
自衛隊				502		66	502		66
営林署	34	1	6	8	1	3	42	2	9
大槌町役場	194		7	194		7	388		14
消防協力者	600	9		200			800	9	
合計	1,533	52	19	1,176	19	81	2,709	71	100
ジェットシューター数				93			93		

(オ) 石鳥谷町

（単位：人、台）

区分 / 機関名	4月27日 人員	4月27日 ポンプ車等	4月27日 その他車両	4月28日 人員	4月28日 ポンプ車等	4月28日 その他車両	合計（延数） 人員	合計（延数） ポンプ車等	合計（延数） その他車両
花巻地区消防事務組合 石鳥谷分署	8	1	2	8		3	16	1	5
盛岡地区広域行政事務組合 紫波消防署	16	1	1	2		1	18	1	2
計	24	2	3	10		4	34	2	7
石鳥谷町消防団	240	19		60	4		300	23	
紫波町 〃	220	28		30	2		250	30	
計	460	47		90	6		550	53	
営林署	52		14	11		2	63		16
石鳥谷町役場	11		1	6		1	17		2
消防協力者	13			15			28		
合計	560	49	18	132	6	7	692	55	25
ジェットシューター数	54						54		

(カ) 室 根 村　　（単位：人、台）

区分 / 機関名	4月27日 人員	4月27日 ポンプ車等	4月27日 その他車両	合計（延数） 人員	合計（延数） ポンプ車等	合計（延数） その他車両
両磐地区消防組合 一関消防署	11	2	1	11	2	1
千厩 〃	14	2	3	14	2	3
花泉分署	3		1	3		1
平泉 〃	1			1		
大東 〃	5	1	1	5	1	1
藤沢 〃	7	1	1	7	1	1
東山 〃	3		1	3		1
室根 〃	8	2	1	8	2	1
川崎 〃	6	1	1	6	1	1
気仙沼本吉地域広域行政事務組合 気仙沼消防署	26	2	5	26	2	5
計	84	11	15	84	11	15
室根村消防団	210	16		210	16	
藤沢町 〃	35	3		35	3	
千厩町 〃	75	10		75	10	
本吉町 〃	300	13		300	13	
気仙沼市 〃	150	3		150	3	
計	770	45		770	45	
営林署	40	2	8	40	2	8
消防協力者	96			96		
合計	990	58	23	990	58	23
ジェットシューター数	110			110		

(3) 地上消火

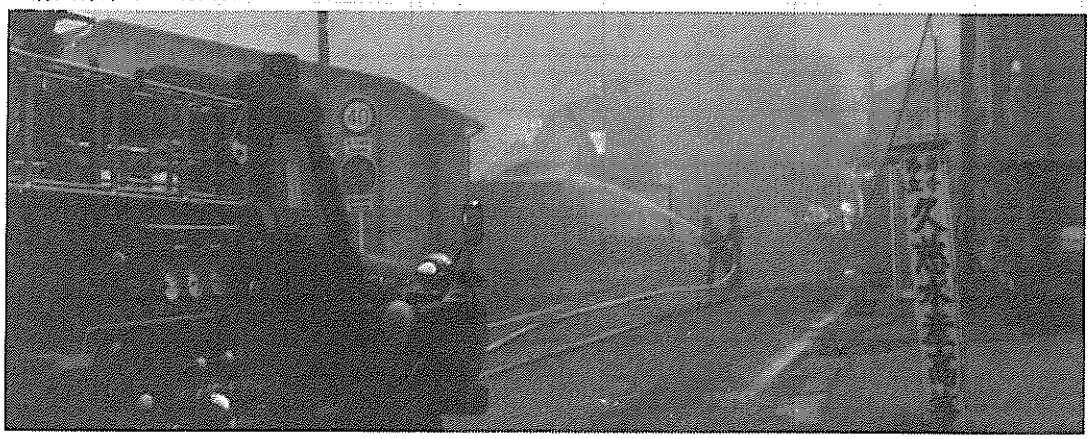
地上部隊は、複雑急峻な地形、気象状況の変化、急速な延焼範囲の拡大、更には活動が夜間に及んだこと等により防ぎょ活動は困難を極めたが、広範な人海戦術がくりひろげられた。

防ぎょ活動は、主に民家付近を中心にポンプ部置し、焼損部を遠まきに包囲する形で実施された。消火活動に最も有効なポンプ車等による消火は、車両が進入できる道路が少なかったこと等から制限され、ジェットシューター隊による消火活動が大きな役割を果たしている。

転戦は、火災の延焼拡大に伴い各所で行われたが、久慈市においては、消防隊が交通規制により進入を阻まれ、現場到着が遅れたというアクシデントも発生している。また、現地指揮本部の移設も、久慈市、岩泉町及び西根町において行われている。

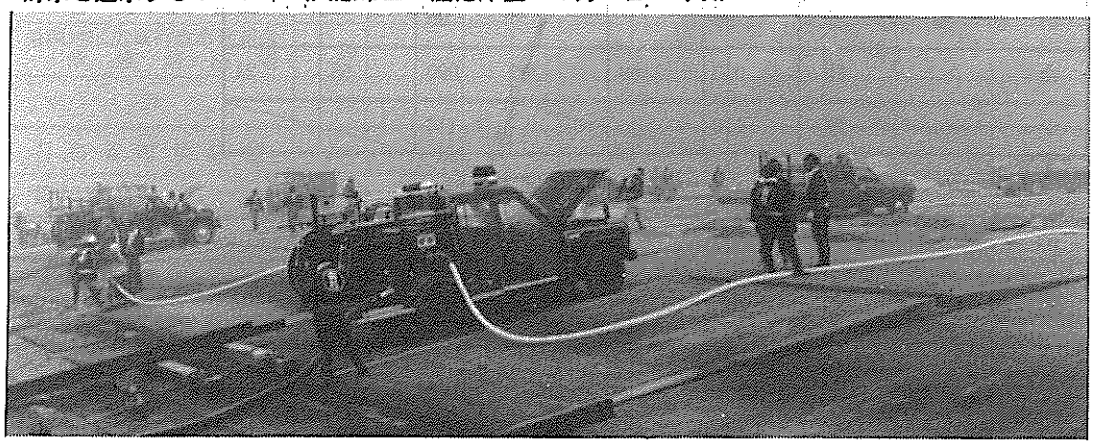
長時間に及ぶ火災も、4月29日午後3時30分、久慈市の鎮火をもって終止符をうったが、久慈市においては、5月9日までに7回再燃のために出動しており、各地において、残火処理のため引き続き活動が続けられた。

消火作業中の消防隊（久慈市玉の脇地区　4月27日17時30分頃）



（提供―久慈地区広域行政事務組合消防本部）

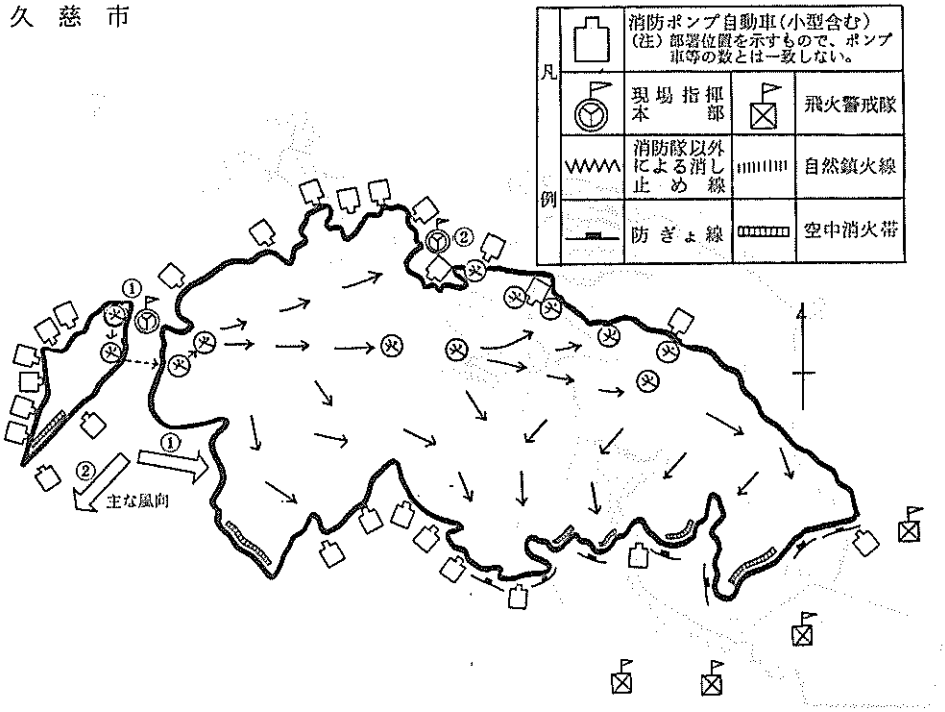
海水を送水するポンプ車（久慈市玉の脇港岸壁　4月27日18時頃）



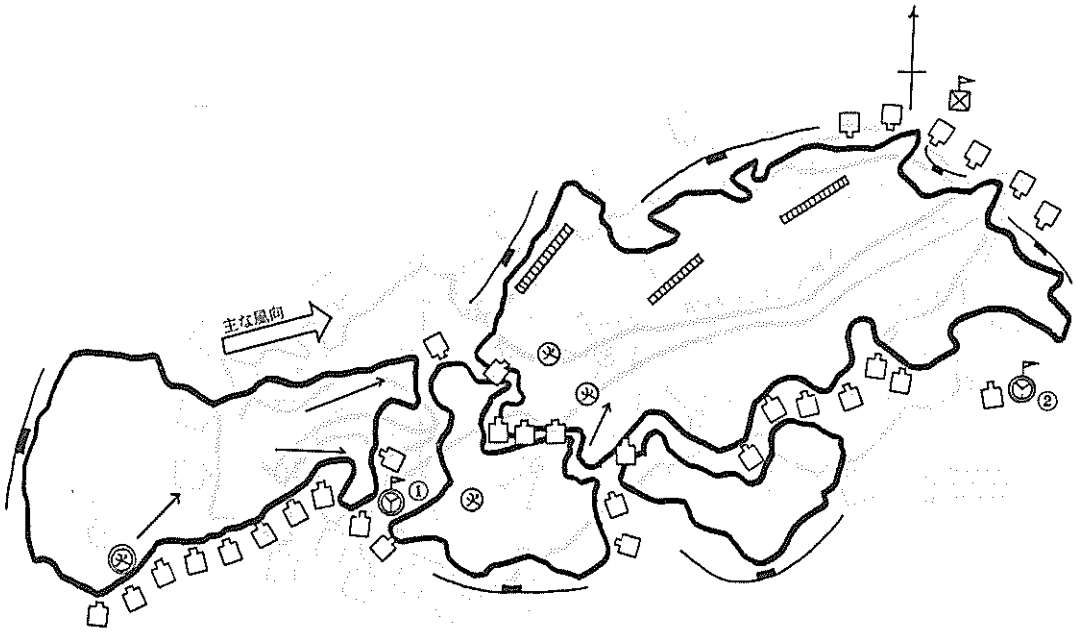
（提供―久慈地区広域行政事務組合消防本部）

（火災防ぎょ図）

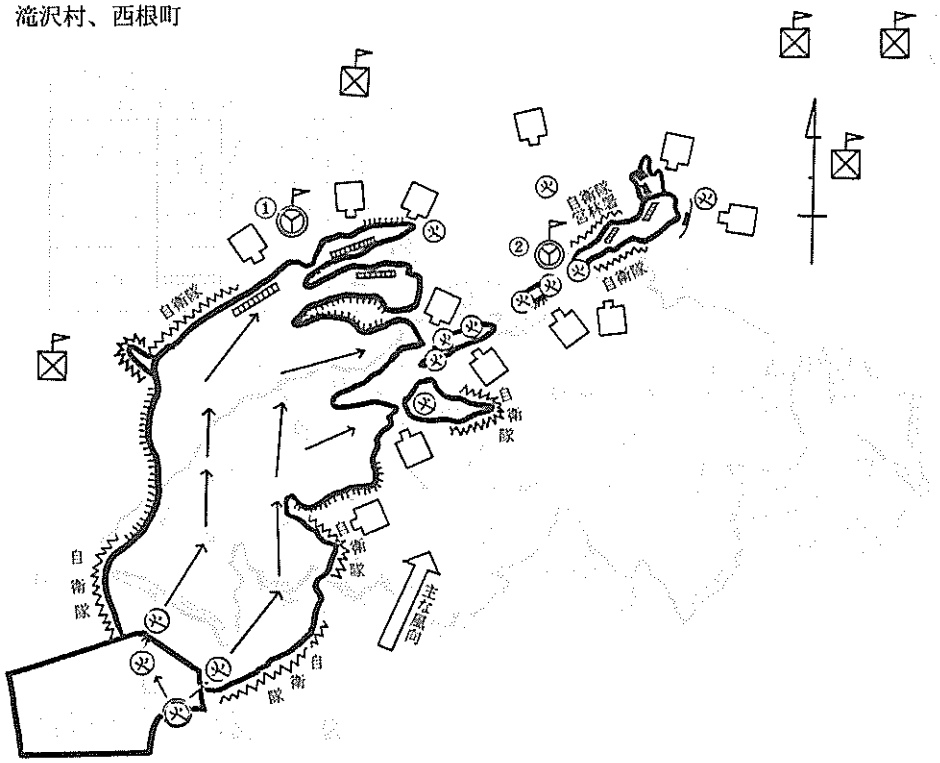
(1) 久 慈 市



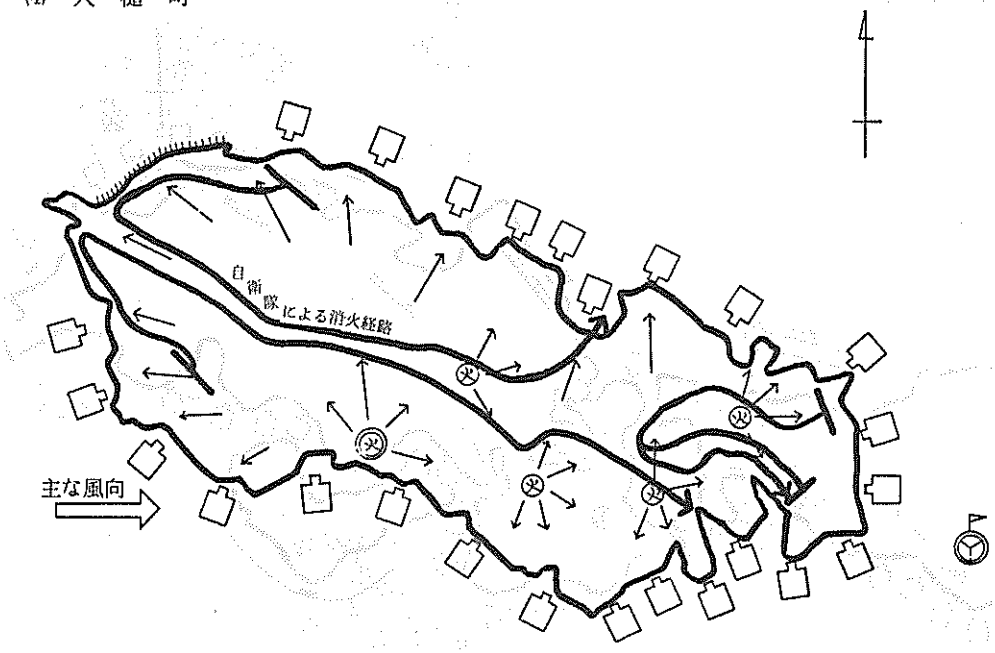
(2) 岩 泉 町



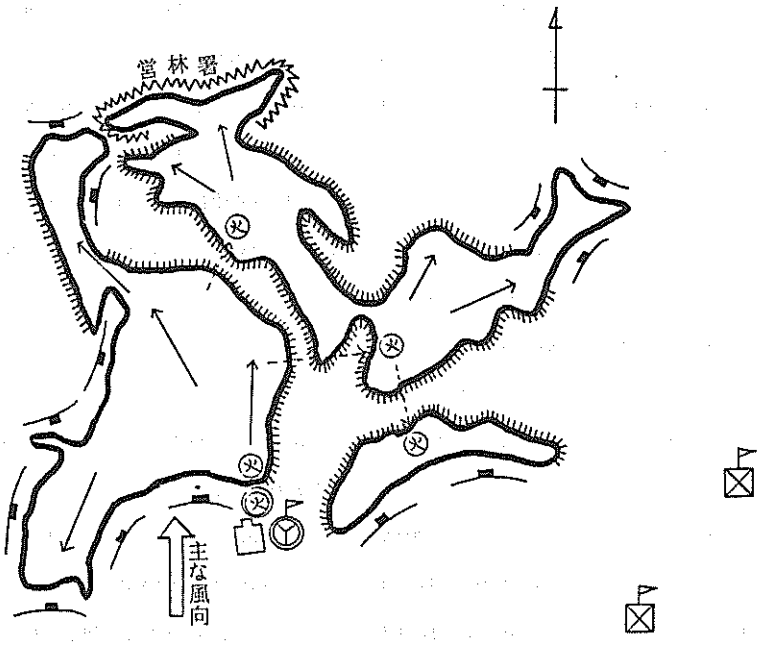
(3) 滝沢村、西根町



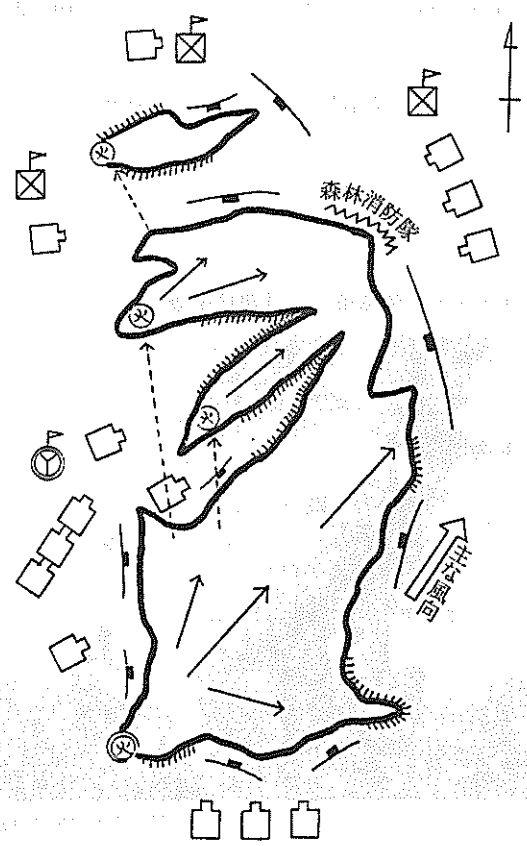
(4) 大 槌 町



(5) 石鳥谷町



(6) 室根村



(4) 空中消火

空中消火は、4月27日から29日にかけて、久慈市、岩泉町及び西根町において実施された。

各地では風が強まり、火災は延焼拡大し、地上消火のみでは鎮圧できない状況になったことから、4月27日午後4時頃、相前後して、室根村、大槌町、久慈市及び岩泉町から空中消火の自衛隊派遣要請があり（室根村、大槌町後に取り下げ）、県では、直ちに自衛隊に対し派遣要請を行った。（滝沢村及び西根町においては、自衛隊法第83条第3項に基づき、自衛隊独自の判断で部隊等を派遣）

陸上自衛隊岩手駐屯地には、前日、演習のため中型機2機が飛来していたため、西根町においては、風が弱まった午後5時30分から空中消火が開始された。

しかし、久慈市及び岩泉町への派遣は、強風のためヘリコプターが離陸できないことなどから派遣できる時間がわからない状態が続き、派遣の見通しが立ったのは27日夜半過ぎであった。

県では、さっそく矢巾町の岩手県消防学校内に保管してある空中消火資機材を、盛岡地区広域行政事務組合消防本部の応援を得て、県警パトカーを先導に久慈市へ搬送し、また、青森営林局が矢巾町の盛岡営林署煙山種苗事業所に保管してある分を盛岡営林署の協力を得て、岩泉町へ搬送した。

翌28日早朝、ヘリコプター及び資機材が現地に到着し、4時15分、西根町で空中消火が再開されたのに加え、久慈市では5時45分、岩泉町では11時07分、それぞれ空中消火が開始され、29日午前12時（久慈市）まで延325回にも及ぶ空中消火が実施された。

その間、久慈市においては、消火薬剤が不足したことから、ラサ工業㈱宮古工場から120袋（3,600kg）の調達を行った。

空中消火は、火点上空を通過しつつ消火薬剤等を散布する直接消火の方法をもって実施され、延焼阻止、鎮圧に大きな威力を発揮した。

空中消火に従事した人員は、補給基地も合せ延300名となっている。

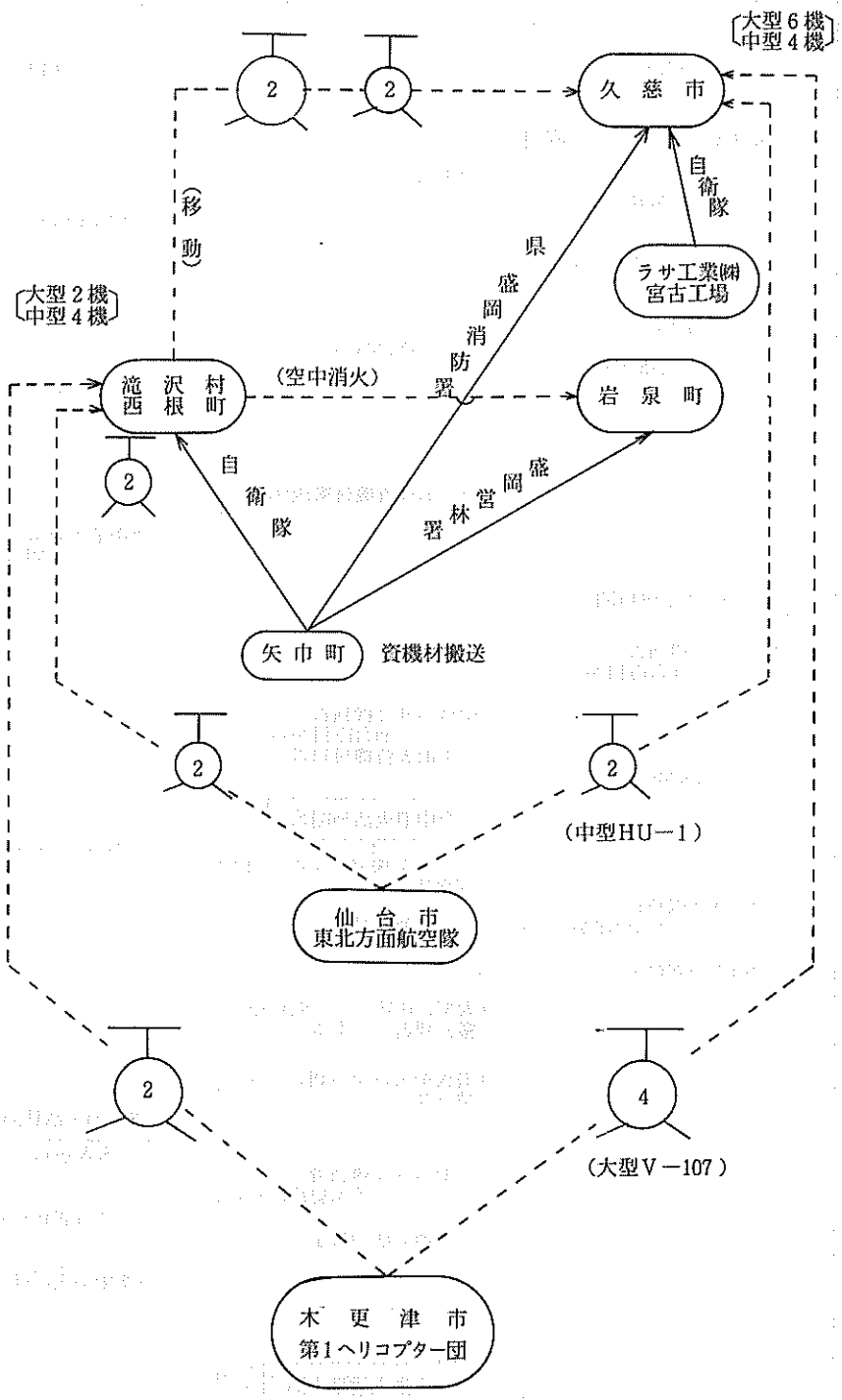
空中消火中の自衛隊大型ヘリコプター（久慈市　4月28日午後）

（提供―久慈地区広域行政事務組合消防本部）

（空中消火実施状況）

日　時	西　根　町	久　慈　市	岩　泉　町
（4月27日）	（10:00出火）	（12:05出火）	（13:30出火）
13：00	○空中消火資機材搬送（自衛隊）		
16：05		○空中消火派遣要請	
16：30	（7時間30分）		○空中消火派遣要請
17：30	空中消火活動開始		
	（1時間28分）	（17時間40分）	
18：58	空中消火活動終了		（21時間37分）
（4月28日）			
2：30		○空中消火資機材搬送（県）	
4：10			○空中消火資機材搬送（盛岡営林署）
4：15	空中消火活動再開		
4：30	○中型ヘリ2機到着（仙台霞目から）		
5：30		○中型ヘリ2機到着（仙台霞目から） ○空中消火資機材到着	
	（4時間45分）		
5：45		空中消火活動開始	
6：15			○空中消火資機材到着
8：00		○ラサ工業㈱宮古工場へ消火剤発注	
9：00	○大型ヘリ2機到着（千葉木更津から）	（10時間15分）	
9：30	○空中消火活動終了		
10：00		○大型、中型ヘリ（資機材運搬）到着（一本木から）	
11：00		○消火剤宮古から到着（大型ヘリ）	
11：07			空中消火活動開始（一本木から実施）
13：00		○大型ヘリ4機到着（千葉木更津から）	
18：00		○空中消火活動終了	（7時間18分）
18：25			○空中消火活動終了
（4月29日）			
10：00		空中消火活動再開	
		（2時間）	
12：00		○空中消火活動終了	

（ヘリコプター及び空中消火資機材移動概略図）



（空中消火実施状況）

			久慈市			岩泉町	滝沢村・西根町			合計			
			28日	29日	計	28日	27日	28日	計	27日	28日	29日	計
実施時間			5:45～18:00	10:00～12:00		11:07～18:25	17:30～18:58	4:15～9:30					
ヘリコプター	大型（V－107）第1ヘリコプター団（木更津）		（2）4	2	6	（2）		2	2		6	2	6機
ヘリコプター	中型（HU－1）東北方面航空隊（仙台）		（2）2	2	4	（2）	2	4	4	2	6	2	6機
散布回数			206	4	210	18	15	82	97	15	306	4	325回
消火薬剤	化学消火剤（MAP）		4,200			300	1,380			5,880 kg			
消火薬剤	増粘剤（CMC）		200			40	180			420 kg			
散布総量（薬剤＋水）			183			9	48.5			240.5 t			
資機材	散布装置	1800ℓ	3			3	3			3台			
資機材	散布装置	700ℓ	4			（2）10	10			（2）14台			
資機材	貯水槽		3			（3）2	2			（3）5台			
資機材	混合機		2			（3）2	2			（3）4台			
人員	自衛隊員		(19)48	30	(19)78	(20)	31	56	87	31	(39)104	30	(39)165人
人員	消防職団員		85	35	120	15	—	—	—	—	100	35	135人
人員	計		(19)133	65	(19)198	(20)15	31	56	87	31	(39)204	65	(39)300人

（注）1. ヘリコプター及び資機材の計は実数である。
2. ヘリコプター及び自衛隊員の（　）外書きは、滝沢村・西根町から、久慈市へ移動及び岩泉町へ支援（岩泉町の空中消火は一本木から実施）した数である。
3. 岩泉町の資機材（　）外書きは、営林署所有の分である。
4. 散布装置（1800ℓ）は、千葉県から借りうけたものである。
5. 上記3.4以外は、県所有分である。

(5) 市町村別防ぎょ活動の状況

ア 久 慈 市

(ア) 気象通報時の予防広報

◎ 4月23日　11月15分強風注意報（継続）、異常乾燥注意報が発令されたので、各署所に対して管内を巡回予防広報を実施するよう指令

久慈消防署では13時に市内の予防広報を実施

21時50分　強風注意報解除

◎ 4月25日　異常乾燥注意報（継続）

12時30分頃久慈市待浜町字桑畑地内で林野火災発生（987アール焼損）

◎ 4月27日　異常乾燥注意報（継続）

10時頃から風が強くなったので（瞬間最大風速10ｍ、平均風速５ｍ以上）10時30分各署所に対して管内巡回予防広報を実施するよう指令

久慈消防署では10時30分ポンプ車により市内、予防広報を実施、11時及び12時に各署所の気象観測データの収集を実施（火災警報発令準備）

11時20分　強風注意報発令

(イ) 覚知の状況

第１通報者のＦ氏（久慈市川貫６－53－３）が、上長内のカスタムオートに自家用車を持って行き、朝９時頃から修理をして昼になったので、事務所に入って西側の山を見たら山の上の方から煙と火が見えたので、カスタムオートの事務所から12時08分に119番で消防署に火災通報した。

初期消火は実施されていない。

(ウ) 現場付近の状況

久慈市は陸中海岸国立公園の北部に位置し、人口40,668人、面積325.66㎢で山林は26,629ha あり久慈市の面積の81.8％を占め、北上山地から三陸海岸に延びる山地にあり、南北に国道45号線、市街地から西に国道281号線が延びている。

出火場所は、久慈の市街地（久慈消防署）から南々東約２㎞に位置し、南方に山が連なり東側から北方市街地に向って住宅街となっており、西側は水田となっている。

出火した山林は標高50～70ｍの私有林で赤松の天然林となっている。

出火場所の山林（上長内地区）から約600ｍの飛火により焼失した平沢地区山林は標高150～200ｍの私有林で針葉樹４、広葉樹６の割合で樹木が生い茂っており、東側が太平洋に面し、北側から玉の脇、二子、大尻、小袖の集落が点在している。

消防水利は、水利基準以下の消火栓（管径75㎜）20基、防火水槽８基（40㎥－４、20㎥以下－４）に自然水利として河川２、海水１がある。

(エ) 火災の概要

出火場所は長内町上長内の標高45ｍの山林内、小屋畑から長内川側水田に通じる山道の頂上付近と推定され、地表面の枯れ草、笹及び天然林の松が燃焼し、南方に延焼拡大３時間後約10haを焼失、延焼中に突風（北西の風、最大28.8ｍ）が吹き、これによって約600ｍ火の粉が飛火した。

（消防隊は上長内地区住家240数戸の延焼阻止と山林の防ぎょに当たる。）

飛火した火の粉は平沢山林の山ろく、枯草に着火、折からの強風にあおられて松林を北東方向、平沢のラジオ中継塔に向って延焼拡大し、送電線の下、稜線から東側玉の脇方面と二子、大尻方面の２方向に地表火・樹冠火となって急速に延焼拡大する。

（消防：平沢地区住家６戸の延焼阻止）

風下地区である玉の脇、二子、大尻及び小袖、館石部落に延焼の危険が生じたため避難命令を発令する。

16時40分頃に玉の脇、舟渡地区の建物に山林からの飛火により着火、急激に延焼拡大する。その後、10分前後で二子、大尻地区の建物にも着火、延焼拡大した。

（消防隊は玉の脇の県道両側の建物焼き倒壊により、これより南方に進入、通行不能となり、玉の脇地区住家60数戸及び水産高校への延焼阻止を図るとともに県道の開通に全力を傾け、各部落に消防隊を進入させ、延焼拡大の阻止に当たる。）

翌28日には、陸上自衛隊及びヘリコプターが出動し、前日から出動中の消防隊と協力して大規模な防ぎょ活動を展開、29日午後に鎮火させたものである。

(オ) 消防活動状況

◉４月27日

12：05	長内町上長内地内の山林から出火
12：08	覚知（署水そう付ポンプ車２台、15名）
12：11	現場到着（山頂付近延焼中）
12：12	消防署　非常招集
	消防団　第１出動指令（第１、３、11分団―ポンプ５台、60名）
12：15	現場指揮本部設置（上長内岩泉自動車運輸前）
	消防団第２出動指令（第２、４、５、６、12分団―ポンプ19台、230名）
12：30	宇部町方面（南方）へ延焼中
	消防団　第３出動指令（第７、８、９、10分団―ポンプ18台、220名）
	― 久慈市消防団全分団出動指令 ―
	上長内東側山ろくに防ぎょ線設定

15：05	応援要請（種市町、大野村、山形村、野田村、普代村）
15：19	平沢地区山林に飛火延焼
15：20	久慈市災害対策本部設置
15：29	別件林野火災発生（宇部町長坂）
	宇部町へ転戦（第４分団）
15：37	宇部町火災への応援要請（野田村、普代村）
15：50	自衛隊へ災害派遣要請
15：58	平沢地区山林東方へ延焼
16：00	上長内地区から玉の脇方面への転戦指令
16：17	平沢地区から玉の脇方面へ延焼拡大
	応援消防団に対し、玉の脇へ集結するよう指令
16：20	避難広報（大尻地区）
16：35	避難命令（玉の脇、二子、大尻地区）
16：40	玉の脇地区延焼（住家全焼９棟、非住家全焼33棟）
	舟渡地区旧浜埜小学校延焼
16：50	二子、舟渡、大尻沿岸地区延焼
	玉の脇地区県道通行不能
17：00	大尻地区延焼
17：20	二子部落危険状態
	二子地区へ転戦
	現場指揮本部移設（玉の脇）
	避難命令（小袖、館石地区）
18：14	八戸海上保安部に救助要請
18：24	上長内地区西方、久慈商業高校裏山延焼中
	防火線設定
19：00	海上からの救助開始（舟渡から28名救助）
19：05	和光苑（大尻地区）付近危険状態
	大尻地区へ転戦
	災害救助法適用申請
19：15	和光苑無事を確認
19：29	宇部町林野火災鎮火
22：30	自衛隊八戸駐屯地50名到着　小袖方面に向う

● 4月28日

1：25	館石方面へ延焼拡大中
	館石地区へ転戦
5：00	空中消火資機材到着（県消防防災課）
5：05	元木沢方面へ延焼中
	元木沢地区へ転戦
5：45	空中消火活動開始（～18：00）
8：00	ラサ工業㈱宮古工場へ消火剤発注
9：00	延焼地区――① 上長内バイパス予定地南側
	② 久慈商業高校南側
	③ 玉の脇南側山林
	④ マイクロウェーブ北側
13：30	和光苑入苑者を自宅、県立病院へ移送
15：00	火災被災者相談所現地に開設
18：00	消火活動一旦中止、引上げ

● 4月29日

5：00	延焼地区――① 上長内国道45号線付近
	② 平沢テレビ塔付近
6：00	消火活動再開
10：00	空中消火活動再開（～12：00）
10：30	火勢鎮圧状態となる
15：30	鎮　火
	消防隊現場引上げ

(カ) 時間的経緯

日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
(4月27日) 12：05		○長内町上長内地内の山林から出火 北西の風　最大10m 湿　度　17% 気　温　24.5℃		
12：08	3　分		○火災通報（119番）受信	
12：09	4　分		○消防署第1出動 （水槽付ポンプ車2台、15名）	
12：11	6　分	○山頂付近延焼中	○署隊現場到着	
12：12	7　分		○署隊放水開始（3線ホース各4本） ○署員非常招集（非番公休15名） ○消防団第1出動指令 （3個分団 ポンプ5台　60名）	
12：15	10　分		○現場指揮本部設置 （上長内岩泉自動車運輸前） ○消防団第2出動指令 （5個分団 ポンプ19台　230名） ○予備注水により民家への延焼防止	
12：30	25　分	○山林焼損状況　3ha ○宇部町方面（南方）へ延焼中	○消防団第3出動指令 （4個分団 ポンプ18台　220名） ○上長内東側山ろくに防ぎょ線設定	
13：00	55　分		○防ぎょ体制 （上長内地区 ポンプ16台　140名）	
14：00	1時間 55分		○防ぎょ体制 （上長内地区 ポンプ34台　300名）	
15：00	2時間 55分	○山林焼損状況　10ha 延焼拡大中(火勢強まる) 北西の風　最大28.8m 湿　度　18% 気　温　22℃		

日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
15：05	3時間			広域管内町村消防団に応援要請 〔種市町―ポンプ10台 90名 大野村― 〃 4台 25名 山形村― 〃 3台 45名 野田村― 〃 5台 81名 普代村― 〃 4台 41名〕
15：19	3時間 14分	○平沢地区山林に飛火延焼		
15：20	3時間 15分			○久慈市災害対策本部設置 （久慈市役所内）
15：29	3時間 24分	○別件林野火災発生 （宇部町長坂）	○宇部町林野火災出動―第4分団 （転戦　ポンプ5台 46名）	
15：30	3時間 25分			○和光苑へ入苑者避難協力員を派遣（市職員4名）
15：37	3時間 32分		○宇部町火災へ応援消防団出動要請 〔野田村　ポンプ7台 111名 普代村　〃 3台 30名〕	
15：49	3時間 44分			○自衛隊による空中消火を要請（現場指揮本部→災対本部）
15：50	3時間 45分			○自衛隊派遣要請 （災対本部）
15：58	3時間 53分	○平沢地区山林東方へ延焼中	○署第1小隊、平沢団地到着放水開始	
16：00	3時間 55分	〔北西の風　最大26m 湿　度　22％ 気　温　21℃〕	○転戦移動指令 （上長内地区から玉の脇方面へ） ○防ぎょ体制 〔上長内地区 ポンプ22台　180名 平沢団地 ポンプ 6台　30名 大尻地区 ポンプ 2台　12名〕	○炊出し準備開始

日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
16：17	4時間12分	○平沢地区から玉の脇方面へ延焼拡大中（火勢強まる）	○応援消防団に対し玉の脇へ集結するよう指令	
16：20	4時間15分		○コンクリートミキサー車2台、水を積載して平沢団地に到着	○消防車（第9分団）大尻地区で避難広報 ○有線放送による避難広報依頼（大尻地区） ○和光苑入苑者避難用のバス手配（3台）
16：35	4時間30分			○玉の脇、二子、大尻地区住民へ避難命令（災対本部） ○消防本部司令車、玉の脇、二子、大尻地区で避難命令広報
16：37	4時間32分			○久慈市漁協へ有線放送（一斉通報）による避難広報依頼
16：40	4時間35分	○別件林野火災発生（侍浜町北野一枯草若干焼失） ○玉の脇地区建物延焼 ○舟渡地区旧浜埜小学校延焼	○侍浜町林野火災出動 （消防署（予備車） 種市町消防団）	
16：43	4時間38分		○大野村消防団に対し増員要請 （ポンプ3台　38名）	
16：50	4時間45分	○二子、舟渡、大尻沿岸地区建物延焼 ○玉の脇地区道路側建物焼き倒壊により県道通行不能		○和光苑入苑者避難用バス県道通行不能により新港に待機
17：00	4時間55分	○大尻地区建物延焼		○避難場所の設定 〔漁村センター 三崎中学校 宇部公民館 青年の家 中央公民館長内分館 長内小学校〕
17：03	4時間58分			○和光苑の防ぎょ指示（災対本部）

日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
17：14	5時間 9分		○負傷者（火傷）1名救護	
17：20	5時間 15分	○二子地区延焼危険大	○二子地区への転戦指令 ○現場指揮本部を玉の脇地区に移設	○小袖、館石地区住民へ避難命令（災対本部） ○消防本部指令車、小袖、館石地区で避難命令広報
17：40	5時間 35分			○長内小学校に児童55名避難
17：50	5時間 45分		○自衛隊ヘリ、現場へ向う。 ○防ぎょ体制（16:20～17:50） 〔玉の脇地区等への転戦応援隊（ポンプ31台 350名）〕	○宮城建設に対し、船舶による海上からの救助を要請（災対本部）
18：00	5時間 55分			○炊出し配食　4,880食
18：14	6時間 9分			○八戸海上保安部に対し、巡視船救助要請（4隻）（災対本部）
18：20	6時間 15分			○第5宮城丸（宮城建設）救助のため新港出航
18：24	6時間 19分	○上長内地区西方、久慈商業高校の裏山延焼中	○久慈商業高校裏山に防火線設定開始	
18：30	6時間 25分	○舟渡レストハウス及び海光苑延焼中		
18：40	6時間 35分	○上長内地区民家に火災接近中		○第5宮城丸舟渡沖着
19：00	6時間 55分		○宇部町林野火災延焼阻止	○巡視船あぶくま救護艇と第5宮城丸救助開始（舟渡海岸から28名救助）
19：05	7時間	○和光苑（大尻地区）付近延焼中（延焼危険大）	○大尻地区への転戦指令 ○ミキサー車7台手配	○災害救助法適用申請
19：07	7時間 2分			○災対本部長（市長）、赤沢副知事に対し救助要請
19：13	7時間 8分			○平沢地区住民（25名）中央公民館長内分館に避難

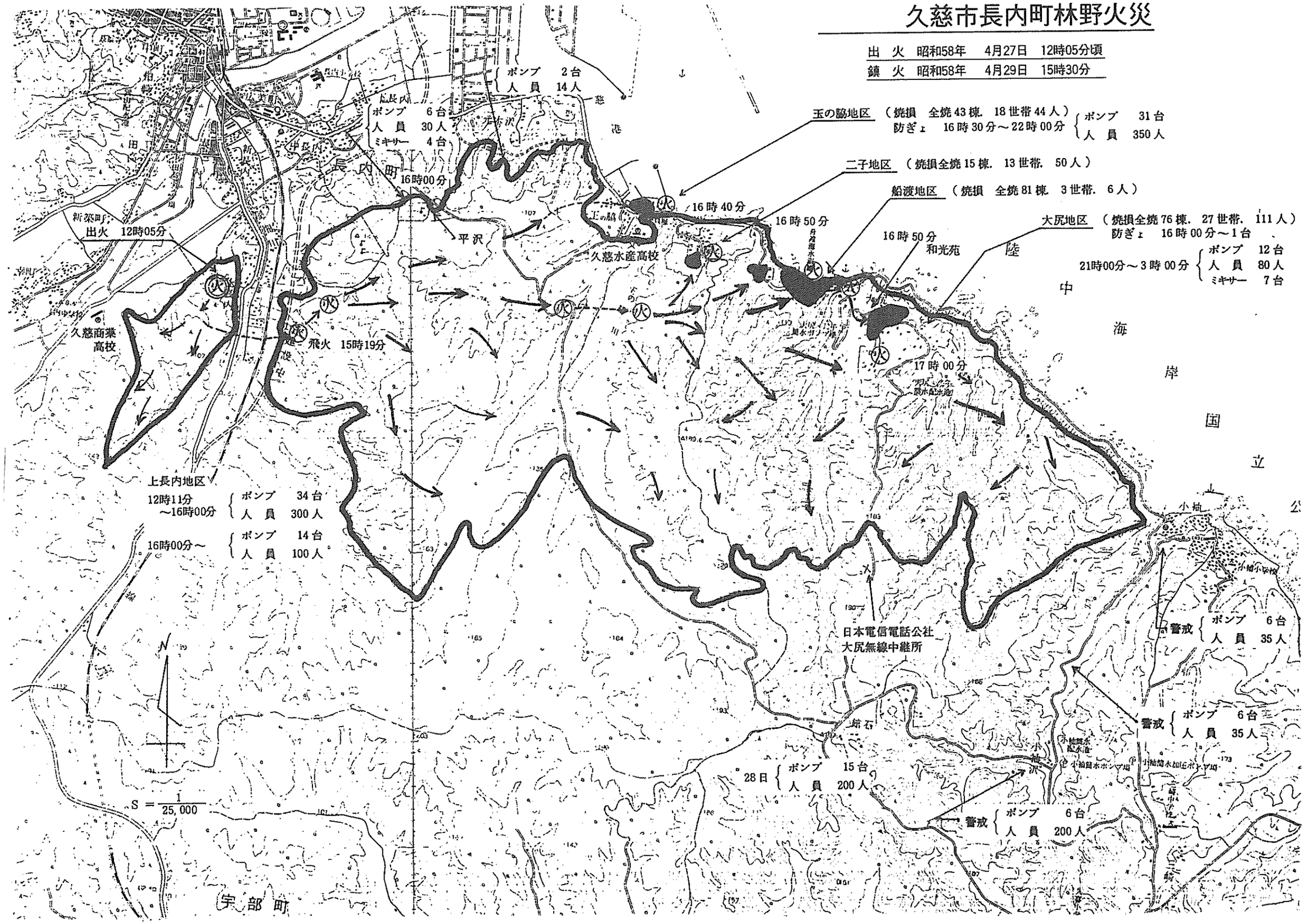
日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
19：15	7時間10分		○和光苑無事を確認	
19：29	(宇部町4時間)	○宇部町林野火災鎮火 焼損面積　390 a		
20：00	7時間55分		○自衛隊（八戸）50名出発	○海上からの救助活動終了
20：25	8時間20分	○小袖地区被害なし ○火勢は、小袖北方1kmまで接近中		
20：39	8時間34分			○第5宮城丸久慈港へ入港（避難住民上陸） ○和光苑へ医師（県立久慈病院）1名派遣
20：42	8時間37分		○大尻地区へタイヤショベル手配	
21：00	8時間55分		○自衛隊（一本木）131名出発 ○防ぎょ体制 大尻地区 ポンプ12台　80名 ミキサー車7台 小袖地区 ポンプ12台 70名(警戒) 小袖沢地区 ポンプ6台 35名(警戒) 館石地区 ポンプ6台 35名(警戒)	○長内小学校児童28名青年の家に移動
21：31	9時間26分			○長内中学校生徒5名、青年の家に避難
22：06	10時間1分		○住民（男・68歳）行方不明一捜索	
22：30	10時間25分		○自衛隊（八戸）50名到着（小袖配置）	
23：30	11時間25分			○災対本部会議（市役所）

日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
23：50	11時間45分	○焼失家屋状況 二子ー7棟　玉の脇ー10棟 大尻ー14棟　合　計ー43棟 舟渡ー12棟		
(4月28日) 1：20	13時間15分			○三崎中学校への避難者12名宇部公民館へ移動
1：25	13時間20分	○館石方面へ延焼拡大中	○館石地区へ転戦移動（タンク車1台、ポンプ車2台）	
1：45	13時間40分		○住民の無事を確認（自宅）	
4：30	16時間25分		○海上保安部ヘリ偵察飛行	
5：00	16時間55分		○空中消火資機材到着（県消防防災課）	
5：05	17時間	○元木沢方面へ延焼中	○元木沢地区へ転戦移動（ポンプ車4台）	
5：30	17時間25分		○自衛隊ヘリ偵察飛行（2機）	
5：45	17時間40分		○空中消火活動開始（中型ヘリ2機）	
6：00	17時間55分		○芦ケ沢地区消火活動開始（自衛隊　46名） ○上長内地区久慈商業高校裏山の防火線設定作業再開（消防団　地元住民100名）	○被災地後片付用車両手配開始
7：00	18時間55分			○炊出し配食　3,160食
8：00	19時間55分		○ラサ工業㈱宮古工場へ消火剤発注	
9：00	20時間55分	○上長内バイパス予定地南側延焼中 ○久慈商業高校南側3ケ所延焼中 ○玉の脇南側山林延焼中 ○マイクロウェーブ北側400m付近延焼中	○館石及びマイクロウェーブ付近でジェットシューター隊活動開始 〔消防団ー100名 自衛隊ー130名 営林署ー　30名〕	
10：00	21時間55分		○自衛隊ヘリ大型2機、中型2機到着（資材搬送）	
11：00	22時間55分		○消火剤宮古から到着（大型ヘリ）	
12：00	23時間55分			○炊出し配食　1,800食
13：00	24時間55分		○自衛隊ヘリ大型4機到着	○災対本部、県警、自衛隊、海上保安部打合せ会議（市役所）

日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
13：30	25時間25分			○和光苑入苑者34名を自宅17名を県立病院に移送 ○災対本部会議（市役所）
14：30	26時間25分			○火災被災者相談所開設決定（災対本部）
15：00	26時間55分			○火災被災者相談所現地開設
16：45	28時間40分			○送電施設復旧工事完了（東北電力）
17：00	28時間55分			○炊出し配食　1,660食
18：00	29時間55分		○自衛隊ヘリによる空中消火活動終了（大型6機、中型4機、延206回実施） ○消防隊消火活動中止引上げ	○災対本部、関係機関打合せ会議（市役所）
18：30	30時間25分			○災対本部会議（市役所）
(4月29日)1：00	36時間55分	（雨降り始め）		
5：00	40時間55分	○上長内国道45号線付近2ケ所延焼中 ○平沢テレビ塔付近延焼中	○自衛隊ヘリ偵察飛行	
6：00	41時間55分		○消火活動再開 〔消防署、団－360名 自　衛　隊－931名 （ジェットシューター119）〕	
7：00	42時間55分			○炊出し配食　1,610食
9：30	45時間25分	（降雨量―降り始めから3.5㎜）		
10：00	45時間55分		○空中消火活動再開（大型2機、中型2機）	○災対本部、関係機関打合せ会議（市役所）
10：30	46時間25分		○火勢鎮圧	○災対本部会議（市役所）
12：00	47時間55分		○空中消火活動終了（延4回実施）	○炊出し配食　945食
14：00	49時間55分			○海上保安部撤収
15：30	51時間25分	○火災鎮火	○消防隊現場引上げ	
18：00	53時間55分			○炊出し配食　495食

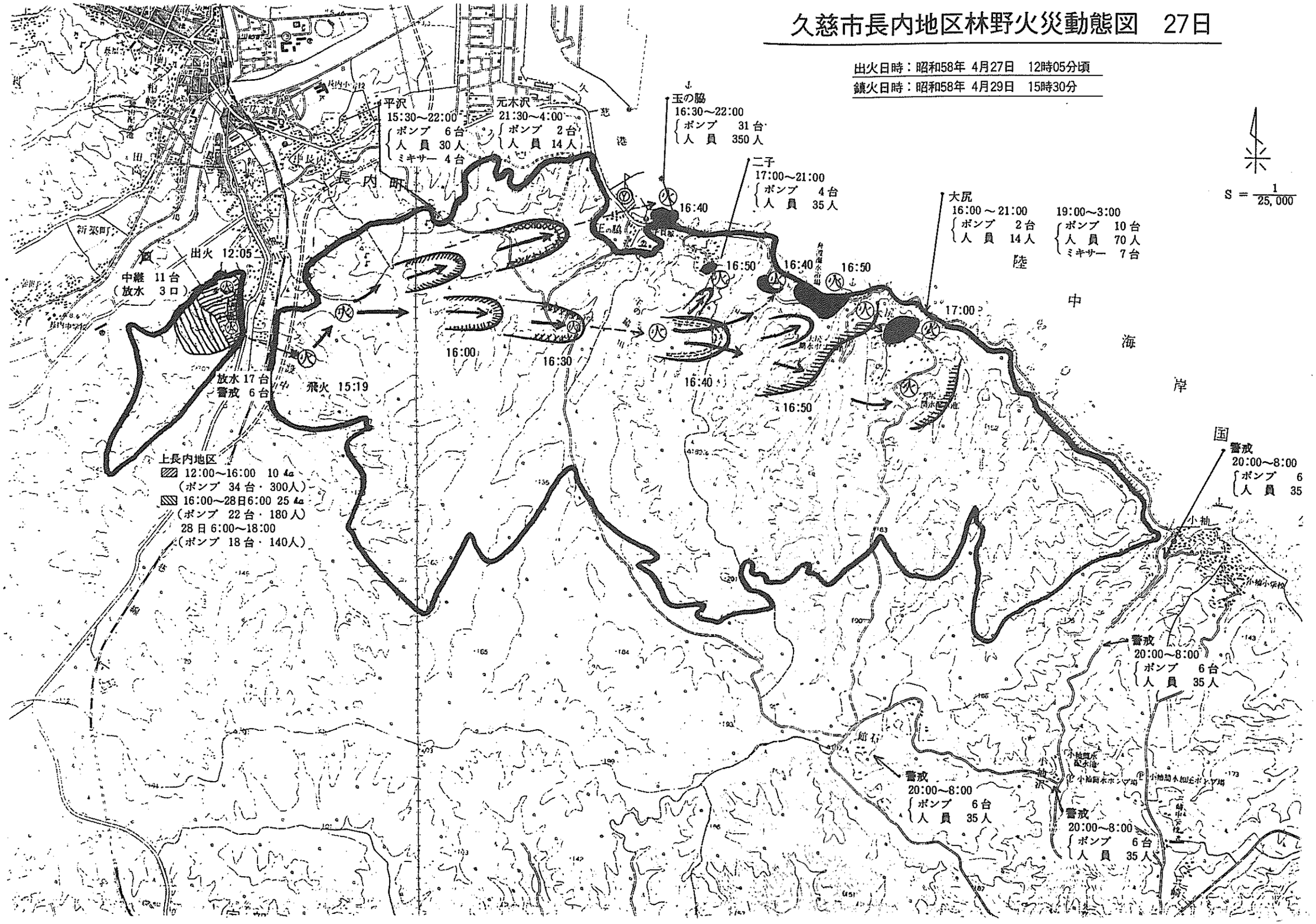
久慈市長内町林野火災

出　火　昭和58年　4月27日　12時05分頃
鎮　火　昭和58年　4月29日　15時30分



久慈市長内地区林野火災動態図　27日

出火日時：昭和58年 4月27日　12時05分頃
鎮火日時：昭和58年 4月29日　15時30分



久慈市長内地区林野火災動態図　28日

イ　岩　泉　町

(ア)　気象通報時の予防広報

◎ 4月23日　強風注意報（継続）、異常乾燥注意報が発令になり、各署所に対して管内を巡回予防広報を実施するよう指令

◎ 4月27日　強風注意報、異常乾燥注意報（継続）発令

11時頃から急激に気温が上がり風も増々強くなってきたので、消防署では査察をとりやめ待機

13時03分　消防団長から各分団長に対し分団管轄区域内の警戒を命令

13時30分　釜津田地内山林から火災発生

15時00分　火災警報発令（宮古市）　非番員全員招集

〃　　〃　　（新里村）

15時15分　〃　　（山田町）

(イ)　覚知の状況

チップ積みの大型運転手が、原野の枯草が1坪位燃えているのを発見し、クラクションで周囲に知らせ、それを聞きつけた付近の住民が、13時38分に119番で消防署に通報した。

(ウ)　現場付近の状況

大川地区は、岩泉町の西部に位置し、新里村、川井村及び玉山村に接している。小本川の上流部大川の流域沿いに591世帯（2,198人）が散在している。

東西約44km、南北約16kmの306km²の広大な面積は殆どが山林であるが、うち15,000haは国有林である。

(エ)　火災の概要

当日の気象状況は、午前11時頃から急激に気温が上がり、また、風もしだいに強くなり昭和36年5月の三陸フェーン災害時の気象と同じ状況であったので、署では警戒体制をとり待機していた矢先、釜津田地内の山林から火災が発生し、強い西風にあおられて、次々に飛火して延焼拡大した。

直ちに、全署、全団出動を指令し、風下方向に連担する沢口、館、種倉、小焼巻、川崎、長田、大広部落に部署し、飛火警戒と民家の防ぎょに当たった。

各部落では、地域住民が自家に農業用ポンプ等で放水し延焼防止を図るとともに、炊出しを行うなど積極的に消防活動に協力し、地域ぐるみの防ぎょ活動が展開された。

火勢は大川方面へ延焼し、更に拡大の様相を呈したが、小川田山地区に応援出動による葛巻町消防団が部署するなど、広範囲にわたる飛火警戒体制がしかれた。

翌28日には、空中消火も実施され、大規模な防ぎょ活動を展開し、17時32分、鎮火させたものである。

(オ) 消防活動状況

● 4月27日

13：30	釜津田地内の山林から出火
13：38	覚知
13：40	署ポンプ車出動
13：50	消防団　第1出動指令（第6分団―沢口部落民家の防ぎょに当たる）
14：11	現場到着（消防署赤バイ）
14：15	沢口地区山林延焼拡大中
14：20	現地指揮本部設置（釜津田小中学校砂子分校）
14：25	消防団　第2出動指令（第1、2分団）
	砂子分校から大川方面へ延焼中
14：30	消防団　第3出動指令（第3、4、5、7、8分団）
	―岩泉町消防団全分団出動指令―
	消防団　沢口、館、砂子地区の防ぎょに当たる
15：17	沢口部落危険状態
15：30	岩泉町災害対策本部設置
15：50	川井村、新里村への延焼危険（両村へ連絡）
16：00	小焼巻、川崎部落周辺延焼中（県道通行不能）
16：23	長田、大広地区危険状態
16：25	応援要請（葛巻町）
16：30	自衛隊へ災害派遣要請
16：35	大広地区県道通行不能
16：45	有芸地区へ大量の煙流入
	有芸地区の警戒を強化
17：15	川崎部落付近山林延焼拡大中
17：23	大広地区の民家延焼危険
	大広地区へ転戦（消防団ポンプ車）
17：39	長田部落の民家延焼危険
	長田部落へ転戦（消防団ポンプ車）
18：00	大川方面へ延焼拡大中
	部署範囲が延焼危険のない消防隊は、大川方面へ転戦
18：24	延焼拡大地区――① 種倉部落東側
	② 長田地内
	③ 大広から役場大川支所裏山

④　扇の沢西側

⑤　小川田山方面

⑥　川崎地内

19：03　葛巻町消防団　小川田山到着

19：29　扇の沢へ転戦（ポンプ車等７台）

20：19　現地指揮本部移設（岩泉町役場大川支所）

20：28　民家を防ぎょしている消防隊以外は大川支所へ集合するよう指令

● 4月28日

0：28　各部落とも民家への延焼危険なし

5：30　延焼地区 ——①　長田部落南側

②　外山、川崎部落の中間

③　種倉部落東側

④　大広、扇の沢、小川田山境一帯

5：45　海上保安部飛行機飛来

6：37　空中消火資機材町役場へ到着（営林署）

8：00　消火活動再開

9：25　大広地区激しく延焼中

10：00　長田部落南側鎮火

長田地区消防隊、大広地区へ転戦

11：07　空中消火活動開始（～18：25）

11：10　外山地区鎮火

外山地区消防隊、種倉へ転戦

13：50　田山から焼倉山方面へ延焼中

15：40　種倉から焼倉山一帯鎮火

小川田山一帯鎮火

大広地区一部を除き鎮火

16：00　火勢鎮圧状態となる。

17：32　鎮　火

17：50　消防隊解散

現地指揮本部解散

(カ) 時間的経緯

日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
(4月27日) 13：30		○釜津田地内の山林から出火		
13：38	8　分		○火災通報（119番）受信 ○関係機関へ通報、非番員招集	
13：40	10　分		○消防署第1出動（ポンプ車1台、赤バイ1台、5名）	
13：50	20　分		○消防署タンク車出動（4名） ○消防団第1出動指令（第6分団、ポンプ車等3台一沢口部落民家防ぎょ）	
14：00	30　分	○赤バイ、大川地内を走行中火災と思われる煙を確認		
14：03	33　分		○大火災が予想（煙、烈風）されたので、消防団第2出動を役場に要請(現場から)	
14：05	35　分	○小川方面へ延焼中		
14：11	41　分		○署隊現場到着 ○消防団（小型1台）沢口部落から館部落へ転戦	
14：13	43　分	○沢口部落民家危険	○消防団（ポンプ車）防ぎょ	
14：15	45　分	○沢口地区山林延焼拡大中		
14：20	50　分		○現地指揮本部設置 （釜津田小中学校砂子分校）	
14：25	55　分	○砂子分校から大川方面へ延焼中	○消防団第2出動指令（第1、2分団）	
14：30	1時間		○消防団第3出動指令（第3、4、5、7、8分団） ○消防団沢口、館、砂子地区防ぎょ（ポンプ車2台、小型4台）	
15：09	1時間 39分	○有芸地区に煙を発見	○第3分団有芸地区を巡回	
15：17	1時間 47分	○沢口部落危険状態		

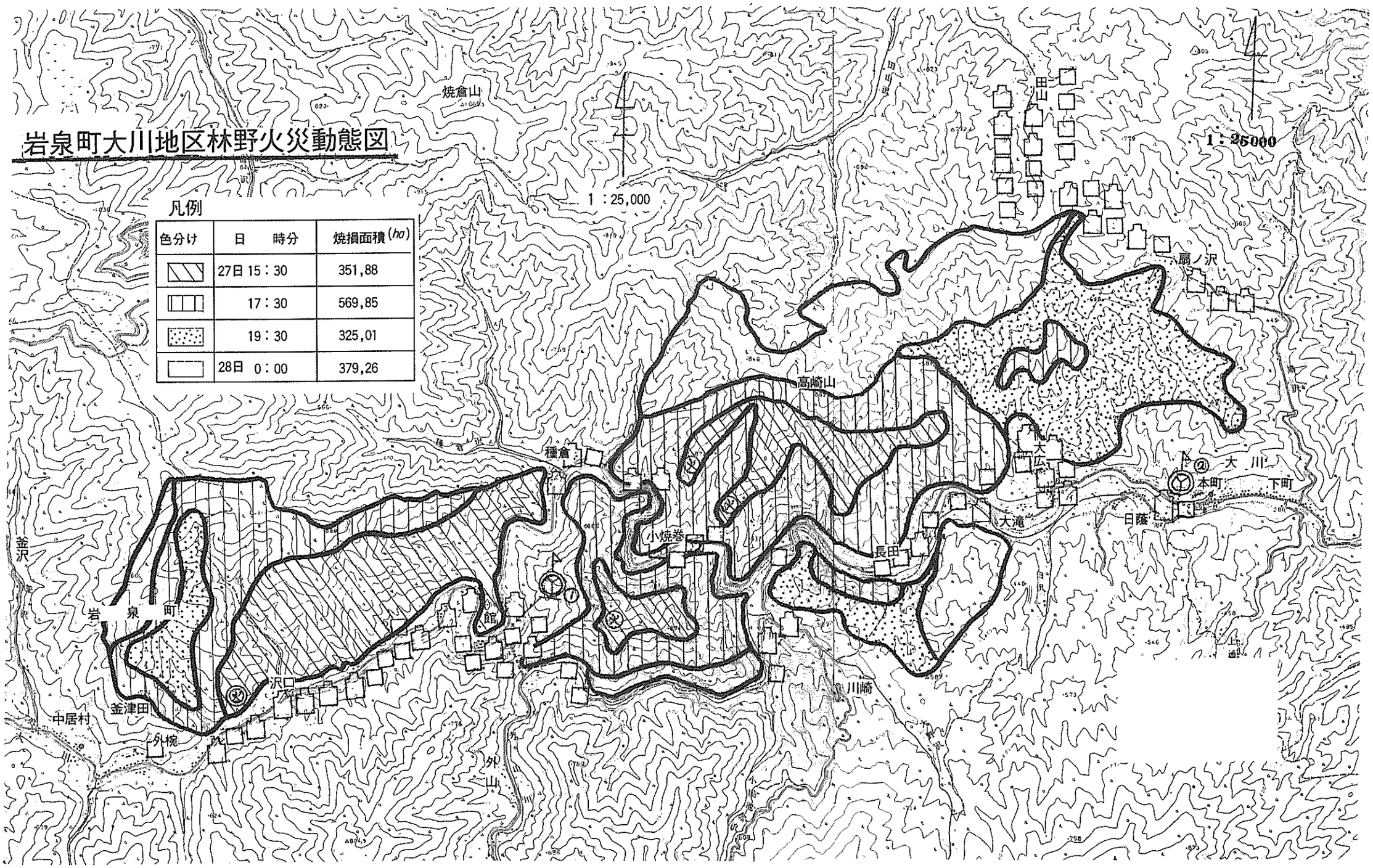
日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
15：23	1時間53分		○本団員、各分団長現地指揮本部に集合、打合せ	
15：30	2時間			○岩泉町災害対策本部設置（岩泉町役場内）
15：32	2時間2分		○種倉部落林道建設現場に火薬在庫――一般人の立入禁止指示	
15：50	2時間20分	○川井村、新里村へ延焼危険	○川井村、新里村へ警戒するよう連絡	
15：55	2時間25分	○沢口部落の民家延焼回避		
16：00	2時間30分	○小焼巻、川崎部落周辺延焼中 ○県道大川松草線通行不能	○消防団種倉、小焼巻、川崎地区防ぎょ（ポンプ車4台、小型2台）	
16：23	2時間53分	○長田、大広地区延焼危険	○8分団に対し小川田山方面の防ぎょを指令	
16：25	2時間55分			○葛巻町へ応援出動要請
16：30	3時間			○自衛隊派遣要請
16：35	3時間5分	○大広地区県道通行不能		
16：36	3時間6分		○署指令車大広地区到着（署長外）	
16：45	3時間15分	○有芸地区に多量の煙流入	○3分団に対し有芸地区の警戒を指令	
17：05	3時間35分		○4、5、8分団小川田山方面に集結（ポンプ車4台、50名）	
17：15	3時間45分	○川崎部落付近山林延焼拡大中（民家の危険なし）		
17：23	3時間53分	○大広地区民家危険	○大川小学校待機の団ポンプ車大広地区へ出動指令	
17：32	4時間2分		○消防団（ポンプ車1台、小型2台）大川小学校待機指令	

日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
17：39	4時間9分	○長田部落民家危険	○団ポンプ車長田部落へ転戦指令	
18：00	4時間30分	○大川方面へ延焼拡大中	○各消防隊に対し、現在部署している範囲に延焼危険がない場合は大川方面への転戦指令	
18：04	4時間34分		○燃料不足生じる	○災対本部、浅内、清水畑給油所へ依頼
18：13	4時間43分	○扇の沢部落へ延焼拡大中	○団ポンプ扇の沢へ転戦	
18：24	4時間54分	○延焼拡大地区 ①種倉部落東側 ②長田地内 ③大広から役場大川支所裏山 ④扇の沢西側 ⑤小川田山方面 ⑥川崎地内		
19：03	5時間33分		○葛巻町消防団小川田山到着（ポンプ車6台、81名）	
19：29	5時間59分		○転戦指令（小焼巻→扇の沢）扇の沢部署（ポンプ車4台、小型3台）	
19：55	6時間25分	○砂子地区下火		
20：19	6時間49分		○現地指揮本部移設（岩泉町役場大川支所）	
20：28	6時間58分		○各消防隊に対し、現在民家を防ぎょしている隊以外は役場大川支所へ集合するよう指令	
20：35	7時間5分	○砂子地区県道落石のため通行不能		
21：00	7時間30分		○6分団以外は各屯所への引き上げ指令 ○葛巻町消防団引き上げ	
21：29	7時間59分		○署ポンプ車（6名）帰署	

日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
21：41	8時間11分		○署タンク車砂子地区から大川方面へ移動	
21：50	8時間20分			○災対本部、団幹部と協議（町役場）
22：20	8時間50分			○災対本部、自衛隊と協議（町役場）
23：09	9時間39分		○署救急車、現地指揮本部から火災現場一帯状況確認のため出動	
(4月28日)0：28	10時間58分	○救急車火災状況確認（各部落とも民家の危険すくない）	○現地指揮本部の夜間体制（署員5名、団員7名）	
4：24	14時間54分		○署救急車火災現場一帯を巡回	
5：30	16時間	○延焼地区 ①長田部落南側 ②外山、川崎部落中間 ③種倉部落東側 ④大広、扇の沢、小川田山境一帯		
5：42	16時間12分		○4分団小川田山出動（7台50名）	
5：45	16時間15分			○海上保安部飛行機飛来
6：37	17時間7分		○空中消火資機材到着（盛岡営林署）	
7：00	17時間30分		○署指令車、ポンプ車、予備車（15名）署から出動	
7：28	17時間58分		○署タンク車現地指揮本部から帰署（3名）	
8：00	18時間30分		○消火活動再開 大広田山方面1.2分団(167名)、外山地区3分団(53名)、小川田山地区4.8分団(189名)、種倉、焼倉山一帯5分団(124名)、長田南側7分団(113名)、連絡班、赤パイ、指令車(2名)、ヘリポート薬剤混合班(35名)、現地指揮本部（12名）	

日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
9：25	19時間55分	○大広地区激しく延焼中		
10：00	20時間30分	○長田部落南側鎮火	○転戦(長田地区→大広地区)	
10：40	21時間10分			○宮古地区広域消防組合消防本部消防長現地視察
11：07	21時間37分		○空中消火活動開始	
11：10	21時間40分	○外山地区鎮火	○転戦(外山地区→種倉地区)	
11：56	22時間26分	○延焼地区 ①種倉から焼倉山一帯 ②大広から小川田山一帯		
13：11	23時間41分	○種倉、焼倉山一帯下火		
13：30	24時間	○小川田山下火		
13：50	24時間20分	○田山から焼倉山へ延焼中	○焼倉山への転戦指令	
14：21	24時間51分	○大広の頂上付近激しく延焼		
15：40	26時間10分	○種倉から焼倉山一帯鎮火 ○小川田山一帯鎮火 ○大広地区一部を除き鎮火状態		
16：00	26時間30分		○火勢鎮圧	
17：32	28時間2分	○火災鎮火	○4、5、8分団現地解散 ○他分団大川小学校集合	
17：50	28時間20分		○消防隊解散 ○現地指揮本部解散	

岩泉町大川地区林野火災動態図



凡例

色分け	日　時分	焼損面積(ha)
	27日 15：30	351,88
	17：30	569,85
	19：30	325,01
	28日 0：00	379,26

ウ　滝沢村、西根町

(ア)　気象通報時の予防広報

◎ 4月23日　強風注意報(継続)、異常乾燥注意報が発令になり、各署所に対して管内を巡回予防広報を実施するよう指令する。

21時50分　強風注意報解除

◎ 4月26日　異常乾燥注意報（継続）

管内巡回広報を継続実施し、消防資機材の増強を指令する。

同日10時10分頃、盛岡市下米内伊勢沢地内に林野火災発生する。

◎ 4月27日　異常乾燥注意報(継続)、強風注意報発令

管内巡回広報を継続実施するほか、警防体制の強化を図り、特に職員の外部出向事務の停止及び非番者等に対して所在を明確にするよう指令する。

(イ)　覚知の状況

昭和58年4月27日・11時55分頃、陸上自衛隊岩手駐屯地から盛岡消防署玉山分署に一般加入電話により演習場の弾着地内で山火事が発生し、現在自衛隊が消火作業中ですが、大きくなるおそれがあるので消防隊の出動要請を受信する。

受信した玉山分署では盛岡消防署通信司令室にこの旨送信し、通信司令室では直ちに滝沢分署に出動を指令する。

なお、西根分署ではこの時分頃、一般加入電話で「いこいの村」の裏山から煙があがっているが火災ではないかとの通報を受け、警戒出動中であった。間もなくノコレン沢方面に自衛隊のタンク車を発見し、同方向に進行したところ林野火災であることを確認する。

(ウ)　現場付近の状況

出火場所は滝沢村の北端西根町との境界付近で滝沢分署から北方約13.5㎞、西根分署から南南西約6.7㎞、更に玉山分署から西方約9.0㎞に位置し、東方約3.8㎞の広い演習場を経て、東北自動車道が走っており、北方約3.5㎞には演習場内の原野、そして標高633ｍの三ツ森山をはじめ400ｍから500ｍ級の峰が連なり、山陰には「岩手勤労者いこいの村」の宿泊施設がある。

演習場は、ほとんど原野であり、東西に6.3㎞、南北に約5.5㎞の広大な各種訓練用地である。道路も未舗装の訓練用道路及び戦車道路だけ整備され一般道路は設置されていない。また、水利の状況は、廠舎北方約200ｍの農業水路があるのみである。

―延焼火災現場の地勢―

㋐　岩手山北東の裾野に広がる連峰に三ツ森山があり、東側は平野地で水沢開拓入植者の住家が点在している。東西には村道と西根町道いこいの村線が接続し、東側の町道は山林に向かう道路等は消防車の進入は可能である。この付近の水利状況は、雷沢及びノコレン沢の沢水が流れている。

㋑ 国道282号線沿いに南部赤松茶屋等の建造物が存在しており、付近には消火栓(2基)、釣掘(154㎡)の池がある。北側は町道松森線が山据から東西に走り周囲は山林を隔て水田となっている。このところを水量豊富な山後大堰が流れ松森山から北東に山後部落がある。

(エ) 火災の概要

当該出火場所は、陸上自衛隊岩手駐屯地本部隊舎から北西約4.0㎞に位置する演習場内の弾着地付近と推定される。折からの強風にあおられて地表面の枯れ草及び自然林の松、雑木林に延焼し、更に隣接町の標高633ｍの三ツ森山へと延焼拡大する。

三ツ森山の北側山陰には「岩手勤労者いこいの村」の宿泊施設があり、その直近の山林に延焼したため、同施設関係者に対して避難命令を発動する。

14時30分、瞬間風速39.0ｍの強風により「いこいの村」付近の住家2棟に延焼する。15時13分頃更に北方約2.7㎞離れた標高331ｍの松森山など数か所に飛火し、林野火災はますます激しくなり、この付近の山後部落の住家への延焼が危惧されたことから最大限の消防力を集中して延焼阻止を図り火勢を鎮圧させたものである。

(オ) 消防活動状況

◉ 4月27日

10：00	陸上自衛隊岩手駐屯地演習場弾着地付近から出火（推定）
10：35	自衛隊、消火活動（水そう付ポンプ車1台、ジェットシューター106台、976名） 三ツ森山方向へ延焼拡大
11：53	西根分署、煙が見えるとの通報により警戒出動
11：55	覚知（玉山分署隊、西根分署隊、西根消防団隊出動一水沢開拓東側地区のノコレン沢住家の防ぎょに当たる）
12：07	現場到着（西根分署隊）
12：11	東北自動車道西根ＩＣ～安代ＩＣ間閉鎖
12：12	滝沢村消防団　第3中隊出動指令（第6、7、8分団） 滝沢分署　非常招集（タンクローリー車出動）
12：15	西根分署　〃
12：21	滝沢村消防団　第2中隊出動指令（第4、5、10分団）
12：25	滝沢分署隊、駐屯地正門到着
12：35	演習場地内で黒煙発見
12：40	西根町から吹き流しの煙確認 西根分署隊、火災防ぎょ体制をしく
12：50	西根町消防団　第1出動指令（第1～7分団）
12：56	現場到着（滝沢分署隊）
13：00	西根町消防団　第2出動指令（第8、9、10分団）
13：10	避難命令（西根町水沢地区、いこいの村）

13：12　ノコレン沢延焼中

13：41　いこいの村南方へ延焼中

13：44　三ツ森山に延焼拡大

13：52　いこいの村危険状態

13：55　滝沢村消防団　出動指令（第1、9分団）

—滝沢村消防団全分団出動指令—

13：58　西根町消防団　第3出動指令（第11、12、13分団）

—西根町消防団全分団出動指令—

14：23　応援要請（盛岡市、雫石町、岩手町、松尾村、玉山村）

14：27　水沢開拓住宅延焼中

14：40　西根町林野火災対策本部及び現場指揮本部設置（いこいの村）

14：49　滝沢村民家延焼（小屋焼失）

14：50　盛岡地区広域行政事務組合消防本部　非常招集

15：00　水沢地区住家延焼（住家2棟、非住家7棟全焼、非住家1棟部分焼）

15：04　国道282号線分れ～平館間閉鎖

15：13　松川地区延焼中

15：17　避難命令（山後地区）

15：44　飛火警戒本部設置（松森山山麓）

15：45　避難命令（山後、五百森、岡村、松川地区）

16：05　林野火災対策本部及び現場指揮本部移設（南部赤松茶屋）

16：16　松森山延焼中

17：30　空中消火活動開始（～18：58）

20：28　滝沢演習場、いこいの村南側火勢強まる

● 4月28日

1：42　松森山屋根づたいに延焼拡大中

4：15　空中消火活動再開（～9：30）

5：01　三ツ森山南側自然鎮火

6：20　署隊、団隊一旦帰署

7：36　松森山火勢弱まる

7：58　いこいの村南側山林延焼中

8：00　西根分署出動

8：22　西根町消防団出動指令

9：07　松森山延焼拡大

11：12　いこいの村山林鎮火

11：13　松森山鎮圧

15：00　鎮　火

17：00　林野火災対策本部解除

(カ) 時間的経緯

日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
(4月27日) 10：00		○陸上自衛隊岩手駐屯地演習場弾着地付近から出火（推定） 天　候　くもり 南の風　7.8 m 湿　度　60％ 気　温　18.1℃		
10：35	35　分		○自衛隊消火活動（第1停弾堤西側弾着地北側及び馬立台周辺－976名、水そう付ポンプ車1台、ジェットシューター106台）	
11：53	1時間 53分		○西根分署「いこいの村」裏側から煙が見える旨受信（一般加入電話） ○西根分署隊（水そう付ポンプ車5名）、西根町消防団（1分団ポンプ車4名）警戒出動	
11：55	1時間 55分		○玉山分署覚知（一般加入電話により陸上自衛隊岩手駐屯地から） ○玉山分署隊出動（水沢開拓東側地区のノコレン沢住家防ぎょ）	
12：05	2時間 5分		○滝沢分署覚知（自衛隊に問いあわせて確認）	
12：07	2時間 7分		○西根分署隊現場到着、火災確認	
12：08	2時間 8分		○滝沢分署隊出動（水そう付ポンプ車1台、4名）	
12：11	2時間 11分			○東北自動車道西根ＩＣ～安代ＩＣ間閉鎖
12：12	2時間 12分		○滝沢村消防団第3中隊出動指令（第6、7、8分団 4台85名） ○滝沢分署　非常招集 ○盛岡消防署タンクローリー車出動指令（3名）	

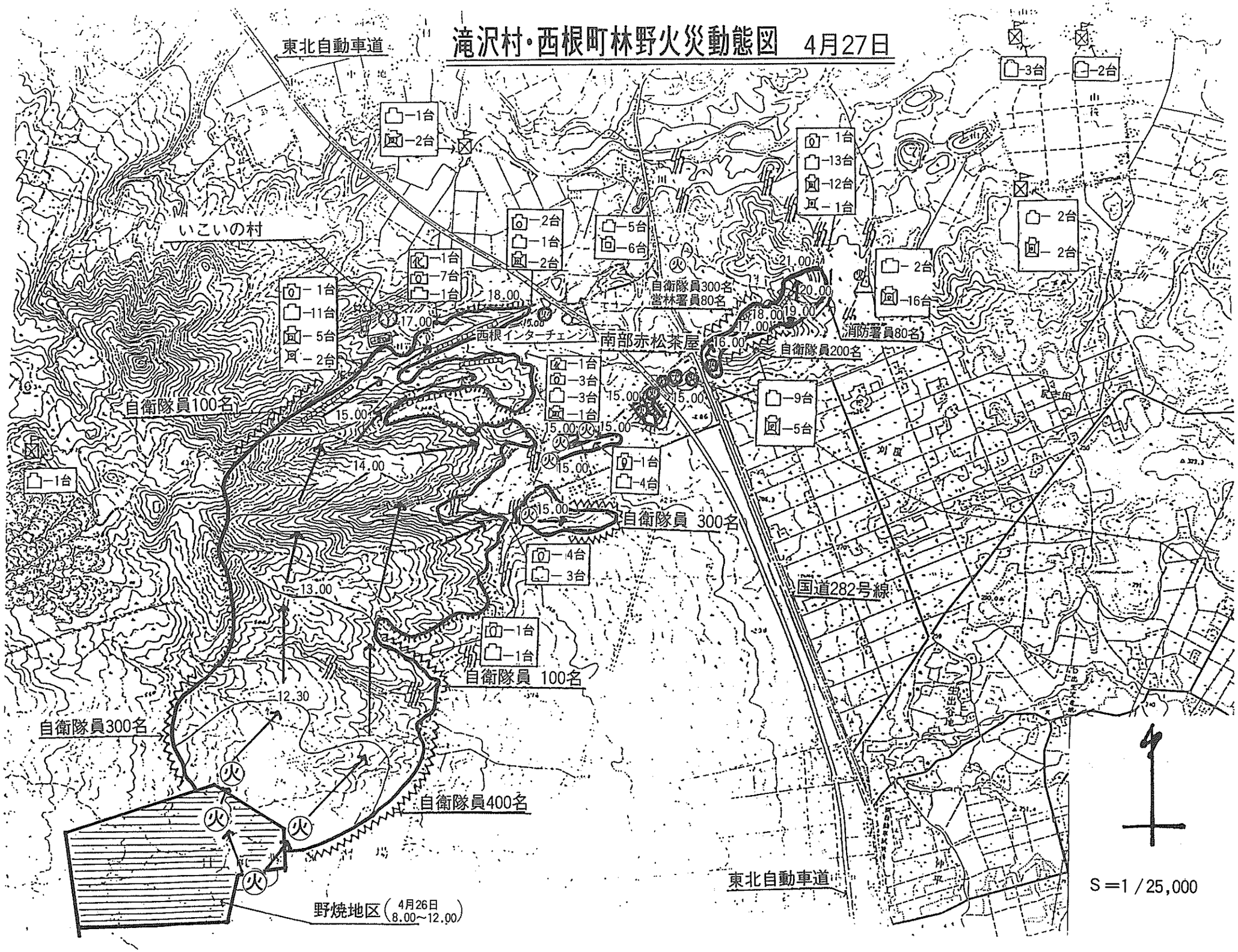
日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
12：15	2時間15分		○西根分署　非常招集	
12：21	2時間21分		○滝沢村消防団第2中隊出動指令（第4、5、10分団 4台　83名）	
12：25	2時間25分		○滝沢分署隊、陸上自衛隊岩手駐屯地正門到着	
12：35	2時間35分	○演習場地内で黒煙発見（滝沢分署隊）		
12：40	2時間40分	○西根町から吹き流しの煙確認	○西根分署隊火災防ぎょ体制しく	
12：44	2時間44分		○滝沢分署隊雷橋到着	
12：50	2時間50分		○西根町消防団第1出動指令（第1～7分団 16台　170名）	○西根町「火災発生」放送
12：56	2時間56分	○広範囲に延焼拡大中	○滝沢分署隊現場到着	
13：00	3時間	○烈風にあおられ火勢は強くなり、西根町三ツ森山方向に延焼拡大	○西根町消防団第2出動指令（第8、9、10分団 6台　52名）	
13：10	3時間10分			○西根町水沢地区、いこいの村住民に避難命令（120名）
13：12	3時間12分	○ノコレン沢延焼中	○ノコレン沢防ぎょ（水そう付ポンプ車6台、ポンプ車8台、化学車1台、小型4台、223名）	
13：41	3時間41分	○いこいの村南方へ延焼中	○いこいの村周辺防ぎょ（水そう付ポンプ車8台、ポンプ車5台、化学車1台、小型5台、149名）	
13：44	3時間44分	○三ツ森山に延焼拡大 ○岩手駐屯地内火面拡大	○滝沢分署隊、駐屯地廠舎へ転戦（2台　36名）	
13：52	3時間52分	○いこいの村危険状態	○いこいの村防ぎょ（ポンプ車7台、小型2台、168名）	
13：55	3時間55分		○滝沢村消防団全団出動指令（第1、9分団 11台　260名）	

日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
13：58	3時間58分		○西根町消防団第3出動指令（第11、12、13分団 7台　61名）	
14：00	4時間			○滝沢村消防団長、滝沢分署署長代理、自衛隊駐屯地司令対策協議
14：23	4時間23分			○応援要請（盛岡市、雫石町、岩手町、松尾村、玉山村）
14：27	4時間27分	○水沢開拓延焼中		
14：40	4時間40分		○現場指揮本部設置（いこいの村）	○西根町林野火災対策本部設置（いこいの村）
14：49	4時間49分	○滝沢村民家延焼(小屋焼失)	○家屋に予備注水し延焼防止（水そう付ポンプ車1台、ポンプ車5台、ジェットシューター5台、76名）	
14：50	4時間50分		○盛岡地区広域行政事務組合消防本部　非常招集	
14：59	4時間59分		○盛岡消防署出動（化学車1台、水そう付ポンプ車2台）	
15：00	5時間	○西根町水沢地区延焼（住家2棟、非住家7棟全焼、非住家1棟部分焼）		
15：04	5時間4分			○国道282号線分れ～平館間閉鎖
15：13	5時間13分	○松川地区延焼中	○松川地区防ぎょ（ポンプ車5台、小型6台、117名）	
15：17	5時間17分			○西根町山後地区に避難命令
15：31	5時間31分			○非常食手配
15：44	5時間44分		○飛火警戒本部設置（松森山山麓）	
15：45	5時間45分			○山後、五百森、岡村、松川地区避難命令（270名）
16：05	6時間5分		○現場指揮本部移設（南部赤松茶屋）	○林野火災対策本部移設（南部赤松茶屋）

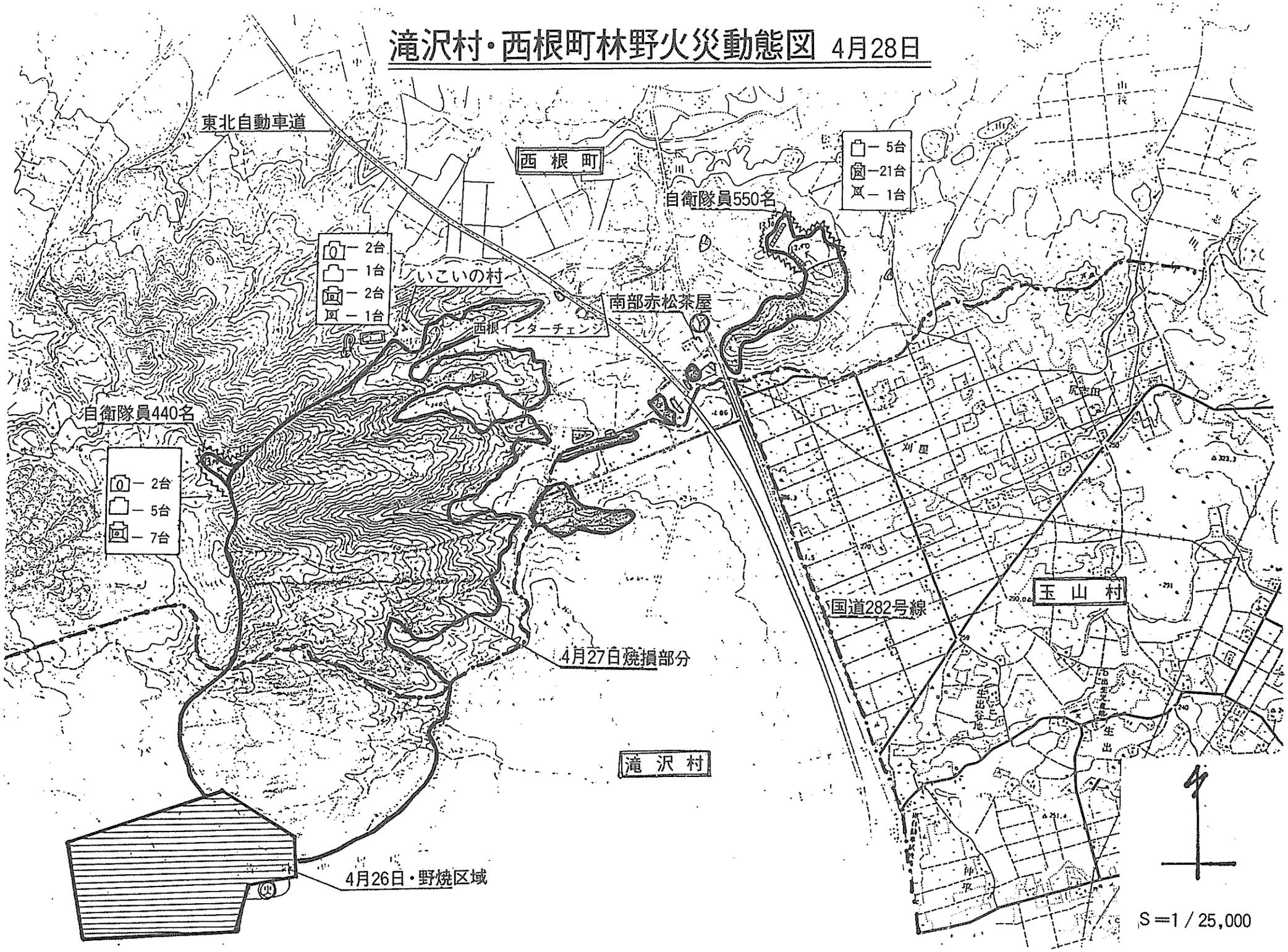
日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
16：16	6時間16分	○松森山延焼中	○松森山防ぎょ（水そう付ポンプ車2台、ポンプ車14台、小型12台、317名）	
17：30	7時間30分		○空中消火活動開始（中型2機）	
18：30	8時間30分			○西根町内火災状況放送（農事有線）
18：58	8時間58分		○空中消火活動終了	
19：30	9時間30分		○一斉下山指令	
19：50	9時間50分		○盛岡車両部隊、玉山村、岩手町消防団解散	
20：28	10時間28分	○滝沢演習場、いこいの村南側火勢強まる		
21：25	11時間25分		○帰署指令（西根除く）	
22：00	12時間	○松森山延焼拡大中	○松森山周辺警戒（水そう付ポンプ車2台、ポンプ車6台、小型16台、55名）	
（4月28日）0：30	14時間30分		○西根分署、非常招集員解除	
1：42	15時間42分	○松森山尾根づたいに延焼拡大中	○民家へ予備注水（小型1台）	
1：58	15時間58分	○松森山山頂延焼拡大中		
4：15	18時間15分		○空中消火活動再開（中型4機）	
5：01	19時間1分	○三ツ森山南側自然鎮火		
6：20	20時間20分		○西根署隊、団隊一旦帰署	
7：36	21時間36分	○松森山火勢弱まる	○松森山偵察	

日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
7：58	21時間58分	○いこいの村南側山林延焼中		
8：00	22時間		○西根分署出動（ポンプ車1台、5名）	
8：22	22時間22分		○西根町消防団出動（ポンプ車9台、小型20台、350名）	
8：51	22時間51分		○現場到着	
9：07	23時間7分	○松森山延焼拡大		
9：20	23時間20分		○いこいの村南側山林ジェットシューターにより消火活動	
9：30	23時間30分		○空中消火活動終了	
10：12	24時間12分		○いこいの村南側山林鎮圧	
11：12	25時間12分	○いこいの村山林鎮火	○三ツ森山残火処理	
11：13	25時間13分		○松森山鎮圧	
13：30	27時間30分	○西根町管内鎮火		
15：00	29時間	○鎮火		
17：00	31時間			○西根町林野火災対策本部解除

滝沢村・西根町林野火災動態図　4月27日



滝沢村・西根町林野火災動態図 4月28日



エ　大　槌　町

(ア)　気象通報時の予防広報

◎４月23日　強風注意報（継続）、異常乾燥注意報が発令になり、町内の巡回予防広報を実施。

◎４月27日　強風注意報、異常乾燥注意報（継続）発令、午前８時から広報を実施。

10時32分に町内吉里吉里地区で林野火災発生し、気象状況も危険な状態となってきたので、警戒体制にはいる。

(イ)　覚知の状況

山の麓付近の杉林から白い煙が立ちあがっているのを見つけた第１発見者が、商用先の製材所へ駆けこみ、製材所社長が外に出て白煙を確認し、15時26分119番で「桜木町共栄スーパーの裏山から白い煙が出ている」旨消防署へ通報した。

(ウ)　現場付近の状況

大槌町は、西側に北上山地が南北にのび、これより発する支脈が他市町村との境をなし、1,173ｍの白見山を最高峰に峰々は連なり市街地や密集地を包み込むように東へ伸びて海に迫っている。

今回の火災発生の市街地背後の山林も同様の支脈で、城山など標高200～300ｍの山が連担し、市街地の周囲を覆っている。

この山を境に北に大槌川、南に小鎚川が西から東に流れ大槌湾に注ぎ、この川の流域や河口の平担地に開けた集落がおよそ4,000世帯の市街地となり、ほぼ中程を西から東へ国道45号線が走っている。

出火点（祝田山林）は、昭和43年３月に発生した菊原山林火災、また昭和46年５月に発生した祝田裏山山林火災の残存した箇所であるため10～20年の杉が密生し、昨年杉を手入したこともあって落葉が堆積している。そして、この地域は大槌城の築造の要がいとして傾斜面30～60度の峻嶮と垂直なる岩場が各地にみられる。

(エ)　火災の概要

今次火災の出火点及び延焼拡大した地域は、過去昭和43年、46年と二度も火災災害に見舞われた地域であり、今回も全く同じ経路をたどったものである。

出火場所は、10～20年生の杉が密生している所で、昨年杉の下枝を切り落したこともあって杉の葉がいたるところに蓄積しており、次々と地を這うようにして燃え広がり、折からの突風により各所に飛火した。

署では、火災を確認するや直ちに第２出動を指令し、さらに第３出動を指令し消火に当たったが、火勢は過去に経験したことのないほどのものすごい速さで市街地に向け延焼拡大したので、山林火災防ぎょは放棄し、市街地の防ぎょを優先した。

15時45分に釜石市、山田町に対し応援要請を行ったのをはじめとして、遠野市、宮古市への応援要請、更には自衛隊の派遣要請を逸速く行い、また、町内を一巡する水利の水門を全開し

大量の水利を確保し、民家への延焼をくいとめた。

その間、防災行政無線（愛の鐘）等を通じて地域住民の避難命令を発し安全確保に努めるなどして、18時51分、市街地方面への延焼を阻止した。

翌28日、自衛隊が到着したので、ジェットシューター等により山林の消火を実施し、11時00分に鎮火させたものである。

(オ) 消防活動状況

◎ 4月27日

15：23	桜木町裏山の山林から出火
15：26	覚知（署指令車、タンク車出動）
15：29	現場到着（杉林から盛んに白煙が立ち昇っているのを確認）
15：30	消防署　第2出動（ポンプ車、工作車出動）
	〃　非番職員招集（16名）
	消防団　第1出動指令（第1、2、3分団　ポンプ車8台、小型1台、162名）
15：35	現場指揮本部設置（古廟橋提防付近）
	消防団　第2出動指令（第4、5分団　小型5台、84名）
	―大槌町消防団全分団出動指令―
	突風により、市街地方面へ延焼拡大中
	大槌町災害対策本部設置
15：45	応援要請（釜石市、山田町）
16：00	火勢は市街地に接近し、空は灰や煙で赤く染まり町全体が恐怖におちいる。
	上町、本町、末広町への転戦指令
	自衛隊へ災害派遣要請
16：14	桜木町の民家延焼（部分焼1㎡）
16：16	上町、本町危険状態
16：30	応援要請（遠野市）
16：32	〃　（宮古市）
16：35	避難命令（上町、本町、末広町）
	一般町民へ消火応援要請（広報及び自家への予備注水と警戒）
16：50	大ケ口町営住宅付近危険状態
	大ケ口へ転戦（釜石消防署隊）
17：00	末広町商店街裏山延焼中
	末広町へ転戦（山田消防署隊）

	再度避難命令
17：42	火勢は、屋敷、大ケ口へ延焼拡大中
	大ケ口へ転戦（山田町消防団）
	釜石第１、７分団、宮古第４、20分団大ケ口へ部署
17：56	大槌小学校延焼（部分焼２㎡）
18：35	遠野消防隊到着　―各消防隊部署完了―
18：51	町方鎮火状態
	各消防隊、警戒班を残し臼沢、大ケ口方面へ転戦
19：30	避難命令一部解除（上町、本町）
20：20	小鎚方面三枚堂裏山及び屋敷方面延焼中
20：50	風勢、火勢弱まる
	避難命令全域解除
21：00	臼沢方面延焼中
21：30	延焼速度緩慢となる
22：00	大ケ口鎌田ストアー向い山峰づたい延焼中

◎４月28日

0：00	陸上自衛隊（仙台）先発隊到着
0：24	臼沢方面火勢弱まる
2：00	火勢鎮圧状態となる
2：30	自衛隊到着（大槌中学校グランド駐屯）
4：10	臼沢で再燃延焼中
4：20	再度風勢強まり、再燃の恐れ
	自衛隊作業開始（ジェットシューター70、450名）
6：00	臼沢方面鎮圧状態
11：00	自衛隊作業終了
	鎮　火
11：25	愛の鐘（防災行政無線）で「鎮火」を広報

(カ) 時間的経緯

日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
(4月27日) 15：23		○小鎚第25地割124一内一2号（桜木町裏山）の山林から出火 南西の風　最大20m 気　　圧　1011mb 温　　度　27℃ 湿　　度　28% （15：00） 最低湿度　16%　14：30	○当日も異常乾燥注意報が継続中で朝8時には広報をもって注意を呼びかけた。また10時30分にも吉里吉里地内で林野火災が発生し、危険な気象状態であったため、消防長より非番職員は自宅待機の命あり。	
15：26	3　分	○桜木町釜石共栄裏山より煙が見えるとの通報(119)受信	○消防署第1出動 指令車、タンク車偵察出動	
15：30	7　分	○指令車、タンク車が現場到着時の所見は、部署位置から100m位沢に入った杉林から白煙が盛んに立ち昇っており火事と断定。	○署タンク車放水開始（1線6本） ○消防署第2出動 1号車、工作車出動 ○サイレン吹鳴 非番職員招集（16名） （損保号、予備車出動） ○消防団第1出動 消防団1.2.3分団出動 3個分団（ポンプ車8台、小型1台、162名）	
15：35	12　分	○タンク車放水中12～13mの突風により一瞬にして山嶺市街地へ向け延焼拡大	○現場指揮本部設置 （古廟橋提防附近） ○消防団第2出動 消防団4.5分団出動 2個分団（小型5台 84名） ○消防長、次席現場から帰署役場へ赴き応援要請を進言	○大槌町災害対策本部設置 （大槌町役場内）
15：45	22　分	○強風に煽られすごい勢いで飛火延焼拡大	○町内一巡する水路の水門全開	○釜石市、山田町へ応援要請 ○飛火警戒の広報
15：47	24　分	○火勢は峰を越え源水地区へ延焼	○消防力の一部を源水方面へ移動	
16：00	37　分	○強風が吹き荒れ火勢は稜線を越え市街地も危ぶまれ、空は灰や煙等で赤く染まり町全体が恐怖に陥る	○上町、本町、末広町へ転戦 1分団　1.2.3部 2分団　1.2.3部 5分団　3部 ○署損保号大槌小学校部署	○自衛隊へ要請（県経由）

日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
16：14	51　分	○桜木町地区（通称古明神）の民家延焼の恐れあり 住家部分焼 1 ㎡	○釜石消防署到着桜木町へ部署 ○山田消防団第 2 分団大槌小学校附近へ部署 ○ 3 分団 2 部、釜石車両で民家延焼をくい止める	
16：16	53　分	○上町、本町危険状態	○山田消防団第 4 分団到着本町地区へ部署	
16：30	1 時間 7 分	○依然として延焼拡大		○遠野市へ応援出動要請
16：32	1 時間 9 分			○宮古市へ応援出動要請
16：35	1 時間 12分	○桜木町より小鎚方面へ延焼 火勢強し	○一般町民へ消火応援出動要請（広報及び自家への予備注水と警戒）	○危険地域への避難命令 （上町、本町、末広町） ○避難場所 安渡小学校 安渡公民館　約 200 戸 安渡保育所　1,000 人
16：37	1 時間 14分	○末広町危険状態	○山田消防団第 8 分団到着末広町江岸寺へ部署	
16：50	1 時間 27分	○大ケ口町営住宅附近が危険状態と通報あり	○釜石消防署隊大ケ口地区へ転戦	○地方課より自衛隊ヘリコプターが飛べない旨連絡あり
17：00	1 時間 37分	○末広町商店街裏山延焼中	○ 5 分団 2.3 部孵化場方面へ転戦 ○山田消防隊末広町地区へ転戦	○再度避難命令 ○炊出し第 1 回開始
17：15	1 時間 52分	○町方民家、大槌小学校、保育所は危険をまぬがれたもよう		
17：42	2 時間 19分	○大槌小学校屋根に飛火 部分焼 2 ㎡ ○火勢は屋敷、大ケ口へ延焼拡大	○署損保号、第 2 分団 1.3 部第 3 分団 1 部消火に当たる ○山田消防団大ケ口へ転戦 ○釜石第 1 分団 3 部到着大槌中学校附近へ部署 ○宮古第 4 分団到着 ┐ 大ケ口へ部署 ○ 〃 第20分団到着 ┘ ○釜石第 7 分団到着、大ケ口へ部署	

日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
17：56	2時間33分	○大槌小学校鎮火	○署損保号、第2分団2隊、第3分団1隊引き続き警戒 ○釜石第7分団4部到着大ケ口方面へ部署	○災害対策本部より自衛隊へ正式要請 車両70台以上 人員200人 （456名となる）
17：58	2時間35分		○宮古4分団連絡車到着	
18：07	2時間44分	○臼沢細越沢に延焼中 ○18時現在気象状況 気　圧　1020mb 湿　度　38% 温　度　22℃ 風　速　2m　NW	○釜石製鉄応援部隊小鎚方面細越沢へ部署	○炊出し第2回開始
18：35	3時間12分		○遠野消防隊到着臼沢橋附近へ部署	○応援要請 釜石市 ポンプ　15台　276名 釜石製鉄所 タンク　1台　9名 山田町 ポンプ　5台　84名 宮古市 ポンプ　2台　38名 遠野市 ポンプ　2台　13名 広報車　1台
18：51	3時間28分	○町方は鎮火状態	○警戒班の他は臼沢、大ケ口方面に転戦移動	○懐中電灯確保
19：30	4時間7分	○焼損面積状況 約154ha		○避難命令一部解除 （上町、本町地区）
19：47	4時間24分		○山田消防署帰隊	
20：20	4時間57分	○小鎚方面三枚堂裏山まで延焼中 ○屋敷山の沢峰を延焼中	○山林内にホース延長し、予備注水	○炊出し配達終了
20：32	5時間9分	○源水大槌中学校附近は鎮火状態	○宮古4分団帰隊	

日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
20：50	5時間27分	○風勢、火勢弱まる	○宮古20分団帰隊	○避難命令全域解除
21：00	5時間37分	○臼沢方面延焼中	○救急2水路取入口調整 ○山田消防団4隊帰隊	
21：30	6時間7分	○延焼速度緩慢となる	○各防ぎょ隊は現場附近で警戒待機中	○役場係長以上、総務課全員待機
21：46	6時間23分		○釜石第1分団3.4部、釜石第6分団1.3.6部、釜石第7分団4部帰隊	
22：00	6時間37分	○大ケ口鎌田ストアー向い山峰づたい延焼中	○1の3、1の2、署1号、5の2、署小型5台で中継送水で消火に当たる。 ○釜石消防署隊、釜石消防団第6分団2.5部帰隊	
22：30	7時間7分		○釜石第6分団本部・7部、釜石製鉄所隊、遠野消防署員、遠野第1分団2部、遠野第7分団6部、釜石第6分団4.8部帰隊	○自衛隊朝食分（460食）大槌中学校講堂へ運搬
23：03	7時間40分		○大槌小学校裏山残火処理中	
23：18	7時間55分		○釜石消防長外2名帰隊	
23：30	8時間7分	○大槌中学校前山林中腹より火の手があがる		
23：48	8時間25分		○署タンク車、工作車、4分団1.2部臼沢橋から焼却炉の間に警戒部署	
(4月28日) 00：00	8時間37分		○仙台自衛隊先発隊到着 ○零時現在大ケ口方面部署状況 大槌中学校 第2分団2部 屋　敷 第5分団1.2.3部 鎌田ストアー 署1号、小型	

日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
			第1分団2.3部 第5分団小型	
00：24	9時間 1分	○臼沢方面火勢弱まる	○残火処理中	
00：45	9時間 22分	○臼沢橋下流附近火勢強まる	○第3分団、第4分団2部中継放水	○大ケ口地区多目集会場開放（消防団員休憩用）
1：30	10時間 7分		○仙台総監部第2特科群、群長到着。直ちに消火準備等に関し協議	
1：57	10時間 34分		○消防長、次席、団長、副団長、団本部長、自衛隊との打合せのため大槌中学校グランドへ	○自衛隊車両誘導のため古廟橋待機（役場車両）
2：00	10時間 37分	○火勢鎮圧状態となる		
2：30	11時間 7分		○自衛隊到着 大槌中学校グランド駐屯 車　両　66台 人　員　502名	
4：10	12時間 47分	○臼沢再燃で延焼中		○警察と地方課へ被害状況報告 （161.56ha、96,000千円）
4：20	12時間 57分	○再度風勢強まり再燃の恐れあり	○自衛隊出動作業開始（4隊） 大ケ口（北山）　150名 ジェットシューター　30個 末広町旧変電所（北海） 100名 ジェットシューター　10個 中央公民館～城山（南海） 100名 ジェットシューター　10個 臼沢橋（南山）　100名 ジェットシューター　20個 （出動人員　450名 ジェットシューター70個）	
4：34	13時間 11分		○釜石消防署より高圧ポンプ借用	
5：32	14時間 9分	○臼沢方面3ケ所から火の手があがる	○状況視察の上、消防署隊と高圧ポンプを出動させ、高圧ポンプ使用により鎮圧	

日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
6：00	14時間37分	○臼沢方面鎮圧状態	○6時現在の部署状況 土木事務所前 第1分団2部 臼　沢 第2分団3部 大槌中学校前 第5分団3部 大ケ口住宅前 第2分団1部 第2分団2部 第5分団1部 大ケ口鎌田ストアー向い 署1号車損保号 第1分団1部 第1分団3部	
7：00	15時間37分			○朝食配付（300食）
7：30	16時間7分		○自衛隊（北海）旧変電所から登山隊は消火作業終了後待機	
8：08	16時間45分		○桜木町住家罹災状況視察	
8：20	16時間57分			○課長会議 （経過報告、被害調査）
8：38	17時間15分	○大ケ口方面延焼の恐れなし	○大ケ口鎌田ストアー向い ホース撤収 署、1号車、小型 第1分団3部 第5分団2部	
8：50	17時間27分		○自衛隊（南海）中央公民館から登山隊は消火作業終了後待機	
9：00	17時間37分		○自衛隊と2回目打合せ	○鎮火宣言の打合せ
9：15	17時間52分			○被害調査方法打合せ （農林事務所）

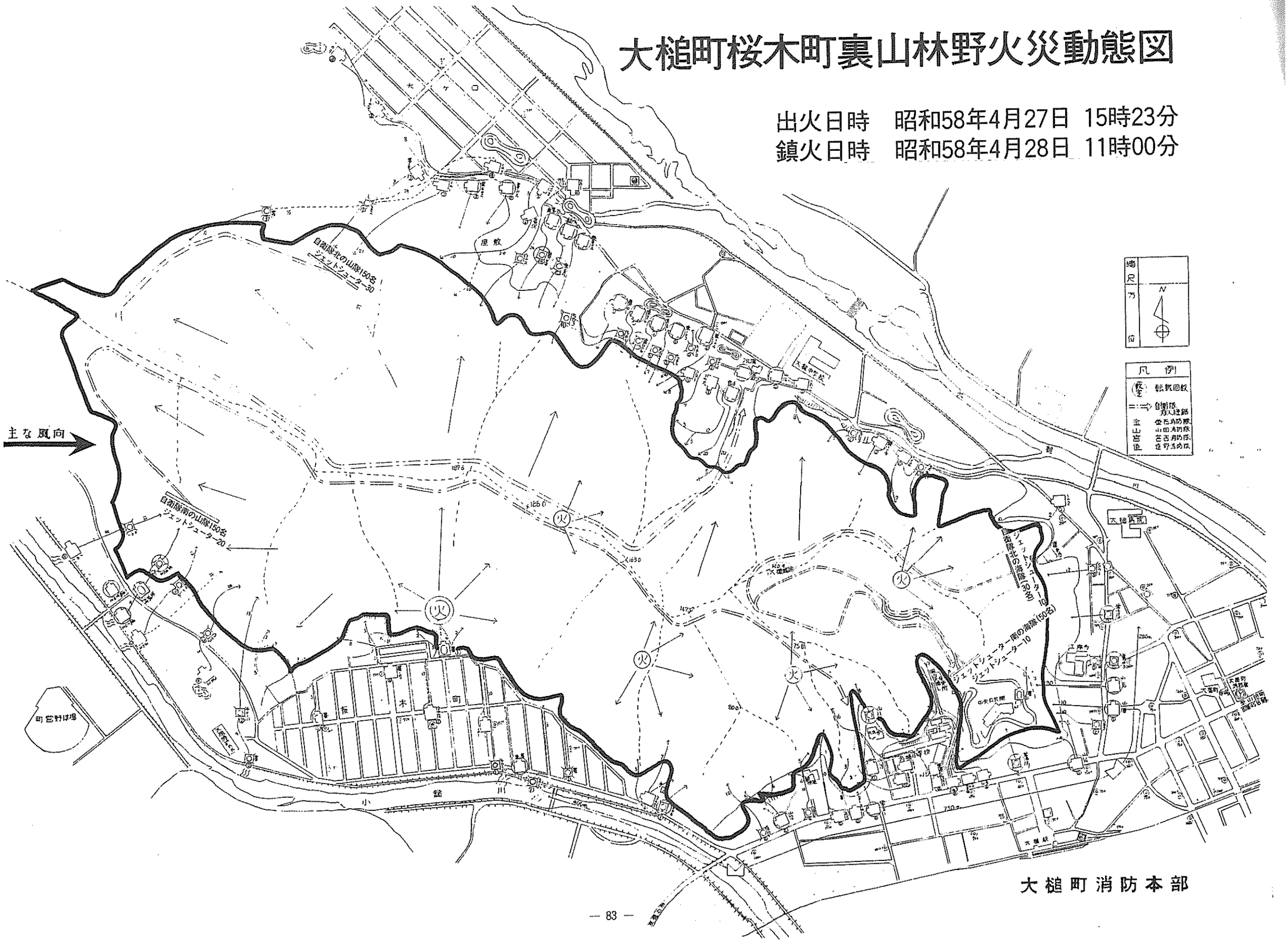
日　時	経過時間	火　災　状　況	消防活動状況	災対本部・救助活動等の状況
9：40	18時間17分	○屋敷沢火の手があがる。	○署1号車大ケロから移動し消火作業に当たる（ジェットシューター　6名）	
9：58	18時間35分		○現場検証（署員4名）	
10：20	18時間57分		○城山（南海）、旧変電所（北海）自衛隊下山	
10：40	19時間17分		○自衛隊（南山）臼沢からの登山隊は消火作業終了後下山	
11：00	19時間37分	○全山鎮火状態となる	○自衛隊（北山）大ケロからの登山隊は消火作業終了後下山	○鎮火宣言
11：25	20時間2分		○「午前11時00分鎮火」愛の鐘広報 ○再燃を考慮し、対応できる体勢に有ることを指示し、第4分団を待機させ解散	○釜石県民室宛「鎮火」報告

住家に迫る火の手（大槌町桜木町）

（提供―大槌町消防本部）

大槌町桜木町裏山林野火災動態図

出火日時　昭和58年4月27日　15時23分
鎮火日時　昭和58年4月28日　11時00分



大槌町消防本部

5. 被害の概要

(1) 概　況

火災及び強風の被害は、県内全域に及び大規模な林野火災が発生した久慈市、岩泉町及び西根町や強風の吹き荒れた内陸中北部を中心に、死者1人(強風)、負傷者26人、住家の全焼47棟、半壊8棟、り災世帯71世帯、り災者243人等となっている。

また、これら火災と強風による被害額は約50億6,883万円に達し、なかでも森林など林業関係(28億5,819万円)、水産関係(7億3,847万円)、住家(6億4,888万円)、農業施設(4億3,792万円)の被害が甚大となった。

(2) 被害総括表

区分		単位	数量	被害額	備考
人	死者	人	1	千円	
	負傷者	〃	26		重傷者3人、軽傷者23人
住家	全焼	棟	47	527,114	
	半壊	〃	8	3,162	
	一部破損(焼)	〃	223	32,182	一部焼損1棟10千円を含む
	非住家	〃	233	86,417	
	小計	〃	511	648,875	
庁舎等	建物	棟	49	13,559	
	船舶	隻	1	600	
	工作物	箇所	23	14,635	
	小計			28,794	

区分		単位	数量	被害額	備考
社会福祉・社会教育施設	社会福祉施設	施設	10	千円 1,998	保育所（6）、児童館（4）
	社会教育施設	〃	5	3,500	公民館（4）、遺跡発掘事務所（1）
	体育施設	〃	7	28,382	野救場・運動場（6）、体育館（1）
	小計	〃	22	33,880	
医療	県立病院	棟	3	141	
消防施設	消防分団屯所	〃	1	1,500	久慈消防団第3分団
	ホース	本	40	1,400	〃
	小計			2,900	
観光施設	展望休憩所	箇所	1	20,000	
	野営場施設	〃	1	500	
	宿泊施設	〃	18	58,440	公共（2）、民営（3）
	その他	〃	2	800	
	小計	〃	22	79,740	
商工関係	商業関係			46,111	建物12,611千円、備品等15,000千円 商品15,000千円
	工業関係			15,367	建物14,867千円、機械等500千円
	小計			61,478	
水産関係	水産施設	箇所	141	527,296	共同施設（10）、非共同施設（131）
	漁船	隻	120	100,440	動力船（99）、無動力船（21）
	漁具			95,379	
	冷凍加工品	トン	187	15,350	
	小計			738,465	
農業施設	水稲育苗ハウス	棟	8,400	245,232	

区分		単位	数量	被害額	備考
農業施設	野菜ハウス	棟	1,890	118,251 千円	
	畜舎・鶏舎等	〃	132	74,435	
	小計	〃	10,422	437,918	
農作物等	水育苗	箱	10,770	6,420	
	野菜	ha	101.1	19,786	
	葉たばこ	〃	176.0	12,379	
	小計			38,585	
家畜	乳牛・肉牛	頭	4	1,200	
	ブロイラー、採卵鶏	羽	3,300	4,225	
	小計			5,425	
林業関係（国有林を含む）	荒廃地施設	カ所	4	891,400	
	林産施設	台	2	350	運搬機等
	林産物	本	28,000	14,000	しいたけほだ木
	森林	ha	2,892.58	1,952,442	
	国有林	〃	172.05	289,392	
	公団有林	〃	101.72	104,329	
	県有林	〃	112.63	107,576	
	市町村有林	〃	109.01	83,153	
	私有林	〃	2,397.17	1,367,992	
	小計			2,858,192	
学校	小学校	校	19	2,004	
	中学校	〃	8	903	

区分		単位	数量	被害額	備考
学校	高校	校	21	千円 30,273	
	養護学校	〃	3	143	
	その他	箇所	1	56	
	小計			33,379	
その他	通信関係			74,214	
	電力関係			23,603	
	鉄道関係	箇所	5	3,242	
	小計			101,059	
総計				5,068,831	

（岩手県災害対策本部調）

(3) 市町村別被害項目別被害一覧表

（金額単位：千円）

区分 / 市町村名	人的被害 死者	人的被害 重傷	人的被害 軽傷	住家被害 全・焼	住家被害 半壊	住家被害 一部破損（焼）	非住家被害	り災 世帯	り災 人員	被害金額 合計	住家被害	庁舎等被害	社会福祉、社会教育、体育施設被害	医療衛生施設被害	消防施設被害	観光施設被害	商工関係被害	水産関係被害	農業施設被害	農作物等被害	家畜等関係被害	林業関係被害	学校被害	通信関係被害	電力関係被害	鉄道関係被害	国有林被害
	人	人	人	棟	棟	棟	棟	世帯	人																		
1 盛岡市										4,500		932		11					3,237				320				
2 宮古市										95										57			38				
3 大船渡市										688												688					
4 水沢市																											
5 花巻市	1		1			1	1			107,740	830			65					96,764	4,057			6,024				
6 北上市										1,198		500							698								
7 久慈市			4	45		4	75	61	211	2,441,581	547,745	8,106	2,725		2,900	47,000	45,000	738,465	552	18		1,034,394	14,676				
8 遠野市										6,068									5,958	60			50				
9 一関市										145									145								
10 陸前高田市										395									335				60				
11 釜石市										40		40															
12 江刺市																											
13 二戸市										460										460							
14 雫石町			2			21	8			20,564	5,795						700		13,551	518							
15 葛巻町		1	1		2	28	63	2	10	51,970	38,005		127				2,743		9,731	671			693				
16 岩手町			1							1,302			50						944	308							
17 西根町			2	2		54	21	2	5	645,217	31,690	12,592	493			500	6,500		158,872	8,699	5,025	136,366	2,700				282,512
18 滝沢村						2	6			23,746	3,310	5,096	30						13,538	794	400		578				
19 松尾村		2	5		3	46	29	3	11	74,180	6,579	728	2,510			31,400	156		30,526	2,281							
20 玉山村						1				35,576	1,000	100	16,370						16,298	1,808							
21 紫波町						5	5			38,118	3,900			65					27,537	5,502			234				880
22 矢巾町			1			5	2			11,796	557								10,819	420							
23 都南村						3				15,849	1,150								9,799	3,000			1,900				
24 大迫町										182									182								
25 石鳥谷町										22,280									11,736	47		10,497					
26 東和町																											
27 和賀町						1				21,936	285		10,125						11,406				120				
28 湯田町										163									91	72							
29 江釣子村							1			2,062	500		100						1,462								
30 沢内村										1,045									625	420							
31 金ケ崎町										100		100															
32 前沢町																											
33 胆沢町																											
34 衣川村																											
35 花泉町										215									215								
36 平泉町																											
37 大東町																											
38 藤沢町																											
39 千厩町																											
40 東山町										7												7					
41 室根村										12,645												6,645					6,000
42 川崎村																											
43 住田町										120									90				30				
44 三陸町																											
45 大槌町			1			1				360,867	10								11			360,816	30				
46 宮守村										579									579								
47 田老町										43										43							
48 山田町										33										33							
49 岩泉町			5		3	1		3	6	1,024,241	1,114	15				800	1,379		1,087	159		1,019,387	300				
50 田野畑村										414									414								
51 普代村						4	1			1,728	957								764	7							
52 新里村						1				5,273	60						5,000			213							
53 川井村							1			713	500									213							
54 軽米町										3,432										3,432							
55 種市町										2,929									14	67			2,848				
56 野田村						3	9			10,961	1,780		1,350			40			7,411				380				
57 山形村						20	8			2,914	2,410								486	18							
58 大野村										273									103	112			58				
59 九戸村										3,879									646	893			2,340				
60 浄法寺町						22	3			4,543	698	510								4,033							
61 安代町										1,858									1,077	83							
62 一戸町										377		75							215	87							
その他										101,059														74,214	23,603	3,242	
県計	1	3	23	47	8	233	233	71	243	5,068,831	648,875	28,794	33,880	141	2,900	79,740	61,478	738,465	437,918	38,585	5,425	2,568,800	33,379	74,214	23,603	3,242	289,392

（岩手県火災対策本部調）

6. 災害現地調査の状況

県及び政府等関係機関は、災害応急措置を講ずるため、災害現地調査等を実施したが、その状況は次のとおりである。

(1) 県 関 係

職名		氏名	調査期間	調査地
知事		中村 直	4月30日 ～5月1日	久慈市、岩泉町 西根町、滝沢村
副知事		赤沢 善二郎	4月28日	久慈市、岩泉町
総務部	次長	高橋 令則	4月27日 ～4月29日 5月9日	久慈市
	消防防災課長	山口 清三郎	5月5日	久慈市
福祉部	部長	小原 稔	4月28日	久慈市
	参事兼 厚生援護課長	金野 熙		
商工労働部	部長	小田 益	4月30日	西根町
	雇用保険課長	勝山 篤二		
農政部	部長	中谷 真也	4月28日	西根町、松尾村 花巻市、和賀町
	畑作園芸課長	中野 昌造		
林業水産部	部長	中村 廉	4月28日	久慈市
	次長	高橋 健之	4月30日 ～5月1日	久慈市、岩泉町
	林業課長	佐々木 和巳	4月28日	久慈市
	県有林課長	新里 実	4月28日 5月7日 ～5月8日	岩泉町 室根村
	森林保全課長	小原 善次	4月28日	室根村
	林政課技術主幹	斉藤 光市	4月28日	大槌町
	技術参事兼 漁政課長	大越 俊作	4月30日 ～5月1日	久慈市
土木部	部長	金子 晃	5月7日	久慈市
	砂防課長	柳舘 謙吉	5月2日	久慈市
	建築課長	下間 弘道	5月3日 ～5月4日	久慈市

(2) 県議会関係

調査団の名称	代表者	団員数	調査期間	調査地
県議会災害現地調査	副議長 菅　三郎	14人	4月28日	滝沢村、西根町 久慈市、岩泉町 大槌町

(3) 政府関係機関

省庁	職名	氏名	調査期間	調査地
国土庁	長官 長官官房審議官 長官秘書官 長官官房総務課長 長官官房防災企画課長	加藤六月 若井紀雄 徳山直 穂積良行 楢橋泰道	5月9日	久慈市
消防庁	長官 総務課総務係長	砂子田隆 平山優	5月5日	久慈市
	地域防災課課長補佐	鈴木淳夫 ほか1名	4月28日 ～4月29日	久慈市
	消防研究所火災物理研究室長	山下邦博 ほか1名	5月12日 ～5月14日	久慈市
農林水産省	大臣官房総務課課長補佐	岩渕安一	4月30日 ～5月1日	岩泉町
林野庁	森林保全課長	古宮英明	4月30日 ～5月1日	岩泉町
	森林保全課課長補佐	村田吉三郎	4月28日 ～4月29日	久慈市、岩泉町
	造林課森林災害復旧指導官	香田徹也	5月6日 ～5月7日	久慈市、岩泉町
	治山課災害査定官	鈴木宏美	5月3日 ～5月4日	久慈市、岩泉町
	林道課課長補佐	須藤清助	5月5日 ～5月7日	久慈市、岩泉町
	森林保全課森林保険損害評価官	吉沢道夫	5月5日 ～5月7日	久慈市、岩泉町
水産庁	漁業保険課課長補佐 漁政課管理官	小坂光昭 亀山恭一	4月30日 ～5月1日	久慈市
建設省	建築研究所都市防災研究室長	岩河信夫	4月29日 ～4月30日	久慈市

7. 陳情の状況

(1) 県 関 係

県は、災害応急対策及び災害復旧対策に万全を期するため、これに対する国の援助について、中央陳情を実施したほか、災害現地調査のため来県した政府等関係者に陳情を行った。

ア 中央陳情

(ア) 陳情実施年月日　　昭和58年5月6日（金）

(イ) 陳情先

① 国会関係

衆・参議院災害対策特別委員長

自由民主党三役、県選出国会議員

② 政府関係機関

国土庁、大蔵省、厚生省、農林水産省、自治省、農林漁業金融公庫

(ウ) 陳情者

副知事　　赤 沢 善二郎

〃　　岡 上　　泉

関係部の部課長

(エ) 陳情事項

1. 農林水産関係

(1) 被災地域が三年連続の冷災害地域であることに鑑み、被災農業者の経営を早急に再建するため、自作農維持資金、主務大臣指定施設資金等の融資枠を確保するとともに、早期配分等について特段の措置を講ぜられたい。

(2) 農業協同組合の共同育苗施設及び農業倉庫等の復旧については、「農林水産業施設災害復旧事業国庫補助の暫定措置に関する法律」を適用されたい。

(3) 被災状況調査のための空中調査及び空中写真撮影等に対する補助の措置を講ぜられたい。

(4) 森林災害について局地激甚災害として指定されたい。

(5) 森林国営保険金の早期支払の措置を講ぜられたい。

(6) 被害木のうちなお利用可能なものについての伐木及び造材の事業並びに搬出機械の整備に対する助成措置を講ぜられたい。

(7) 復旧造林事業に対する高率助成及び利用不能被害木の整理等に対する助成の拡大の措置を講ぜられたい。

(8) 罹災林地整理及び復旧のための林道開設事業の拡充を図られたい。

(9) 罹災森林の跡地復旧及び二次災害防止のための治山事業を緊急に実施できる措置を講ぜら

れたい。

(10) 山火危険地域における貯水施設、防火帯等防火施設設置に対する助成措置を講ぜられたい。

(11) 漁業協同組合の共同利用施設の復旧については、高率助成事業を適用されるよう配慮せられたい。

(12) 農林漁業金融公庫等の融資について被災森林、林業施設並びに被災漁船、水産物加工施設及び漁具倉庫等災害復旧に必要な資金の円滑な貸出が行われるよう措置を講ぜられたい。

(13) 被災漁船の復旧のため、漁船保険給付金の早期支払いについて特別の配慮をせられたい。

2. 厚生関係

(1) 被災地は、零細農山漁村地帯であり自己資金による住宅の復旧が、不可能な状態にあるので、応急仮設住宅の設置基準を実情に即して運用できるよう特別の配慮をせられたい。

(2) 罹災世帯の生計状態が零細であることに鑑み、その更生のため、資金の貸付を要する低所得世帯に対し、その住宅整備並びに生業開始に要する資金として、世帯更生資金貸付国庫補助金の増額を図られたい。

3. 財政関係

災害応急対策、災害復旧対策、被災者に対する税及び高校授業料の減免等の災害対策経費の増嵩に伴う財政需要に対し、特別交付税の交付、地方債の許可等の財源措置について格別の配慮をされるとともに、普通交付税の繰上交付の措置を講ぜられたい。

イ 災害現地調査等関係者に対する陳情

陳情年月日	陳情の相手方
4 月 29 日	自由民主党災害対策特別委員長 参議院議員 増岡康治
4 月 29 日	自由民主党 衆議院議員 鈴木善幸 〃 工藤巌 参議院議員 岩動道行
4 月 29 日	公明党 衆議員議員 武田一夫 参議院議員 藤原房雄
4 月 29 日	日本共産党 参議院議員 下田京子
4 月 30 日	農林水産省災害調査団 林野庁森林保全課長 古宮英明 ほか3名
5 月 5 日	消防庁長官 砂子田隆
5 月 6 日	民社党 衆議院議員 和田耕作 参議院議員 伊藤郁男
5 月 9 日	国土庁長官 加藤六月 自由民主党 衆議院議員 玉沢徳一郎 参議院議員 岩動道行

(2) 県議会関係

県議会は、一般選挙後最初に招集された臨時会において、今次災害に係る議員発議による意見書が提案され、5月12日原案どおり可決された。

県議会は、これに基づき地方自治法第99条第2項の規定による意見書を関係行政庁に提出した。

ア 発議案の提出　昭和58年5月10日

イ 提出者議員　藤倉正巳
堀口治五右衛門
沢藤礼次郎
菅野俊吾

ウ 賛成者議員　川口善弥
伊藤孝
佐々木俊夫
佐々木洋平
千葉英三
小野寺藤雄
馬場勝彦

エ 発議案の可決　昭和58年5月12日

オ 関係行政庁に対する意見書の提出　昭和58年5月13日

カ 意見書の内容

内閣総理大臣
国土庁長官
大蔵大臣
厚生大臣
農林水産大臣
自治大臣
衆議院議長
参議院議長
殿

盛岡市内丸10番1号
岩手県議会議長　高橋清孝

昭和58年4月27日の強風・異常乾燥下における
岩手県の火災と強風災害対策について

昭和58年4月27日の強風・異常乾燥下における岩手県の火災と強風災害対策について特段の配慮をされたい。

＜理由＞

4月23日以降、異常乾燥注意報が継続中4月27日に至り、北海道の西岸に進んだ発達中の低気圧

と日本の東海上の高気圧の影響で県内は強風に見舞われ、特に久慈市では最大瞬間風速が38 mにも達する台風並みの強風が記録された。

この強風によって、県内各地域において農業施設等が被害を受けたほか、フェーン現象の発生に伴い山林火災が頻発した。

その結果、死者1名を含む人身事故26名、住家251棟、1,112人が罹災し、また、山林4,976.3ha及び漁船116隻が焼失したほか農業施設等に甚大な被害を蒙るなど、被害総額は40億4,000万円を超える状況にある。

県は、この事態に対処するため、久慈市において災害救助法を発動したほか、被災市町村と密接な連携をとりながら応急対策を講ずるとともに、その復旧に万全を期しているところであるが、これに対する国の援助について、特段の御配慮を賜るよう強く要望する。

上記のとおり地方自治法第99条第2項の規定により意見書を提出する。

8. 災害の応急対策、復旧対策

県、関係市町村及び防災関係機関は、災害救助、災害の拡大防止及び災害応急対策等の措置を講じるため、それぞれ災害対策本部を設置し、その対策を講じたところであるが、その概要は、次のとおりである。

(1) 災害対策本部の設置状況

区分	設置		廃止	
	月日	時刻	月日	時刻
県	4 . 27	19 : 00	5 . 12	14 : 00
久慈市	4 . 27	15 : 20	5 . 21	12 : 00
西根町	4 . 27	14 : 40	4 . 28	17 : 00
室根村	4 . 27	15 : 15	4 . 27	18 : 00
大槌町	4 . 27	15 : 35	4 . 28	14 : 30
岩泉町	4 . 27	15 : 30	4 . 30	15 : 30
八戸海上保安部	4 . 27	20 : 00	4 . 30	11 : 00
日本赤十字社岩手県支部	4 . 27	17 : 30	5 . 10	15 : 00
日本電信電話公社岩手電気通信部	4 . 27	14 : 10	4 . 30	20 : 30
東北電力株式会社岩手支店	4 . 27	16 : 00	4 . 28	17 : 30

(2) 災害応急対策

ア 気象予報の伝達

県は、盛岡地方気象台から通知を受けた気象予報について、気象予警報等事務処理規程に基づき、岩手県防災行政無線によって市町村長、消防本部消防長等に伝達した。

予報の種類及び月日	伝達時刻		備考
	気象台→県	県→市町村	
異常乾燥注意報 4月23日 11時15分	11時25分 (受領)	11時27分 (通報)	4月29日 5時15分 解除
強風・波浪注意報 4月27日 11時20分	11時30分 (受領)	11時32分 (通報)	4月28日 5時20分 解除
強風・波浪注意報 4月28日 21時30分	21時40分 (受領)	21時42分 (通報)	4月30日 16時50分 解除

イ 自衛隊の災害派遣要請

4月27日の15時12分に室根村から県に対し自衛隊による空中消火のための派遣要請があったのを始め、久慈市、大槌町及び岩泉町から相次いで空中、地上消火のための派遣要請があった。

県は直ちに自衛隊岩手駐屯地司令に対し各被災地に災害派遣要請を行ったところであるが、自衛隊は4月27日～29日までの3日間にわたり消火活動のため出動した。

今次災害に派遣された自衛隊は、陸上自衛隊及び航空自衛隊を含め延6,208人、ヘリコプター延47機に及んだところであり、その状況は次のとおりである。

(ア) 要請及び派遣日時

市町村名	地上消火		空中消火	
	要請日時	派遣日時(現地到着)	要請日時	派遣日時(現地到着)
久慈市	4月27日 19：35	4月27日 22：30	4月27日 16：05	4月28日 5：45
岩泉町	4月27日 16：30	4月27日 22：20	4月27日 16：30	4月28日 10：45
滝沢村 西根町	4月27日　14：40　出動			
大槌町	4月27日 18：30	4月28日 0：00	4月27日 16：05	4月27日 17：40 (取り下げ)
室根村			4月27日 15：15	4月27日 17：00 (取り下げ)

(イ) 市町村別自衛隊派遣（出動）実績

（単位：人、台、機）

部隊名	部隊所在地	久慈市					岩泉町					滝沢村・西根町					大槌町					合計				
派遣期間		4月27日～4月29日					4月27日～4月28日					4月27日～4月28日					4月27日～4月29日									
区分		延人員	主要装備				延人員	主要装備				延人員	主要装備				延人員	主要装備				延人員	主要装備			
			延車両	延ヘリコプター				延車両	延ヘリコプター				延車両	延ヘリコプター				延車両	延ヘリコプター				延車両	延ヘリコプター		
				OH	U-1	V 107			OH	U-1	V 107			OH	U-1	V 107			OH	U-1	V 107			OH	U-1	V 107
第9師団司令部	青森	18										36										54				
第9師団司令部付隊	〃	9	6									18	12									27	18			
第5普通科連隊	〃											484	46		46							484	46			
第38普通科連隊	八戸	322	35																			322	35			
第39普通科連隊	弘前											751	62									751	62			
第9特科連隊	岩手	226	28				8	2				1,175	140				8	2				1,417	172			
第9戦車大隊	〃	436	44									139	16									575	60			
第9施設大隊	八戸	33	3																			33	3			
第9通信大隊	青森	123	43									48	10									171	53			
第9対戦車隊	岩手											80	12									80	12			
第9偵察隊	弘前											70	6									70	6			
第9衛生隊	青森	12	4									12	4									24	8			
第5高射特科群	八戸	644	70																			644	70			
第2特科群	仙台																988	162				988	162			
東北方面航空隊	〃	18			6		10			2		57			11							85			19	
第1ヘリコプター団	木更津	56				8	10				2	33				6						99				16
第9飛行隊	八戸	55	4	7								14		5								69	4	12		
第309地区施設隊	岩手											38	7									38	7			
第305基地通信中隊	青森	18																				18				
その他		18										241	18									259	18			
計		1,988	237	7	6	8	28	2		2	2	3,196	333	5	11	6	996	164				6,208	736	12	19	16

ウ　災害救助法の適用

滅失世帯基準に達した久慈市に対し、災害救助法を適用し救助を実施した。

(ア) 適用市町村　　久　慈　市

(イ) 適 用 日 時　　昭和58年4月27日　19時30分

(ウ) 久慈市の人的及び住家被害状況

人的被害		死者	重傷者	軽傷者	計
		—	—	4人	4人
住家被害	区分	棟数	世帯数	人員	被害額
	全焼	45棟	61世帯	211人	505,762千円
	半壊(焼)	—棟	—世帯	—人	—千円
	一部破損	4棟	4世帯	9人	688千円
	非住家被害	75棟	—世帯	—人	41,295千円
	計	124棟	65世帯	220人	547,745千円

(エ) 救助の内容

<table>
<tr><th>実施主体</th><th>救助の種類</th><th>救助の内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">県</td><td>医療救助班の出動</td><td>○日本赤十字社岩手県支部医療班（医師1名、看護婦3名、その他3名、救急車1台、救援車1台）の出動
○期　　間　　4月27日～28日
○医療救護の内容
　避難者に対する血圧測定の実施及び精神安定剤、眼薬等の投与</td></tr>
<tr><td>応急仮設住宅の設置</td><td>
<table>
<tr><th rowspan="2">部落名</th><th colspan="2">仮設住宅</th><th rowspan="2">共同浴場</th></tr>
<tr><th>世帯数</th><th>家族数</th></tr>
<tr><td>二　　子</td><td>1</td><td>4</td><td>1（UB－4）</td></tr>
<tr><td>浜埜小跡</td><td>8</td><td>27</td><td>1（　〃　）</td></tr>
<tr><td>舟　　渡</td><td>2</td><td>5</td><td>1（UB－1）</td></tr>
<tr><td>大　　尻</td><td>8</td><td>46</td><td>3（UB－4、UB－1）</td></tr>
<tr><td>計</td><td>19</td><td>82</td><td>6</td></tr>
</table>
注　共同浴場　UB－1型　2.9㎡
　　UB－4型　7.8㎡

○工事期間
　仮設住宅　5月2日～5月4日
　共同浴場　5月13日～5月21日</td></tr>
<tr><td rowspan="2">久慈市</td><td>避難所の設置</td><td>
<table>
<tr><th>設置場所</th><th>収容延人員</th><th>設置期間</th></tr>
<tr><td>久慈市漁村センター</td><td>30人</td><td>4/28 ～ 4/29</td></tr>
<tr><td>中央公民館長内分館</td><td>24人</td><td>〃</td></tr>
<tr><td>市立三崎中学校</td><td>36人</td><td>〃</td></tr>
<tr><td>久喜公民館</td><td>31人</td><td>〃</td></tr>
<tr><td>宇部公民館</td><td>13人</td><td>〃</td></tr>
<tr><td>市立青年の家</td><td>26人</td><td>〃</td></tr>
<tr><td>計</td><td>160人</td><td>〃</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>罹災者の救助</td><td>巡視船あぶくまの警備救難艇2隻で大尻地区避難民28名を救出し、宮城建設㈱曳船第5宮城丸に移乗させ救助した。
○実施日　　4月27日
○対象者数　　28人</td></tr>
</table>

実施主体	救助の種類	救助の内容
久慈市	炊出し、その他による食品の給与 飲料水の供給	○実施期間　4月27日～30日 ○給与食数　延5,260食（被災者分） ○実施期間　4月27日～28日 ○対象人員　1,213人 ○供給量　6,760ℓ
	被服、寝具、その他生活必需品の給与	○給与対象者　61世帯211人 ○給与物品 タオル433本、バスタオル206本、タオルケット135枚、毛布137枚、雨具61着
	学用品の給与	○給与対象者　小学生　11人 中学生　6人 計　17人 ○給与物品 ノート236冊、鉛筆296本、運動靴17足
	物資の輸送（生活必需品、救援物資の輸送） 人夫雇上げ（物資配分）	○実施期間　4月30日～5月6日 ○トラック使用台数　延32台 ○実施期間　4月30日～5月2日 ○雇上げ人夫数　延23人

エ　医療対策

県立久慈病院が日本赤十字社岩手県支部の医療救護班と連携し、被災者の避難場所等において健康状況について確認指導を実施した。

派遣人員　医師1名

期　間　4月27日

オ　防疫対策

久慈保健所は、焼失家屋の衛生的処理について久慈市災害対策本部と協議指導を行い、久慈市において薬剤散布を実施した。

実施期間　4月30日

使用薬剤　生石灰400kg

カ　災害廃棄物の処理

火災によって発生した廃棄物の処理について、久慈保健所及び久慈市災害対策本部と協議を行い、久慈市において実施した。

実施期間　　4月29日～5月2日

廃棄場所　　久慈市侍浜最終処分場

処理量　　262トン

キ　救援物資の輸送

久慈市に対する救援物資の無料輸送について、国鉄及び運送事業者の協力を得て次のとおり実施した。

事業者名	実施期間
日本国有鉄道	4月28日～5月27日
日本通運株式会社	4月30日～5月31日
佐川急便株式会社	4月28日～5月20日
三八五貨物自動車運送株式会社	〃
4社	

ク　文教対策

県及び久慈市は被災した児童・生徒に対し教科書の給与及び就学援助等の措置を講じた。

(ア)　教科書の給与（久慈市）

学校名		被災者数	教科書給与者数	備考
小・中学校	長内小学校	11人	11人	
	長内中学校	6人	6人	
	計	17人	17人	
高等学校	久慈高長内分校	2人	—人	教科書を焼失しなかった。
	久慈工業高校	1人	1人	学校側で手当した。
	久慈水産高校	11人	10人	1名について教科書を焼失しなかった。
	計	14人	11人	

昭和58年5月6日給与完了

(イ)　就学の援助（久慈市）

学校名	人員	給与額
長内小学校	9人	123,000円
長内中学校	5人	224,000円
計	14人	347,000円

(ウ) 授業料の減免（岩手県教育委員会）

学　校　名	家屋焼失	漁船・漁具等焼失者	計
久慈工業高校	1人	一人	1人
久慈水産高校	11人	10人	21人
計	12人	10人	22人

(エ) 育英資金の特別又は応急貸付措置（日本育英会）

学　校　名	人　員
久慈農林高校	1人
盛岡第一高校	1人
計　2　校	2人

ケ　警備対策

(ア) 警察本部

15時40分警備部警備課内に岩手県警察強風下災害対策室を設置し、県下各署に警戒警備体制の強化と火災発生署に対する支援体制の準備を指示したが、被害が増々拡大する恐れがあったことから16時に警察本部長を長とする岩手県警察本部強風・火災災害警備本部を設置するとともに、県下9署にそれぞれ地区警備本部を設置し、4月29日まで県下各署で約2,000名の警察官を動員し、被災地の警戒警備、避難誘導、交通規制、広報活動及び通信確保等の活動を行った。

（警備部隊応援派遣の状況）

区　分		久慈署下	岩手署下
指揮者		警察本部長	警備部長
本部員	機動隊	20人	18人
	交通機動隊	4人	6人
	高速隊	10人	
	特別捜査班	15人	
	広報班	5人	
	警備部員	3人	
	警務部員	5人	
	機動通信隊	6人	
	機動捜査隊		6人
	機動鑑識班		3人
盛岡署		30人	70人
宮古署		10人	
二戸署		10人	
計		118人	103人

(イ) 八戸海上保安部

4月27日久慈湾に荒天のため仮泊中の巡視船「あぶくま」が林野火災を視認し、同日17時30分沿岸に避難中の住民に対する救助活動を発動した。

また、同日18時10分久慈市災害対策本部ならびに18時45分岩手県災害対策本部からの避難民救助の災害派遣要請に基づき、巡視船「つがる(函館)」、「しもきた(八戸)」、「まつしま(塩釜)」及び「えりも(釜石)」を急きょ久慈湾に応援派遣するとともに、同日20時に八戸海上保安部に久慈地区火災対策本部を設置し、応急活動を実施したが、その概要は次のとおりである。

① 巡視船「あぶくま」とう載の警備救難艇2隻により大尻海岸に避難中の住民28名を救出した。

② 通信連絡班を久慈市災害対策本部に派遣するとともに通信途絶地区へ各巡視船乗組員を派遣し、無線による通信連絡系統を設定し情報連絡を行った。

③ 巡視船及び航空機により被害状況及び火勢の動向を調査し、久慈市災害対策本部にその状況を通報した。

コ その他の救援、救護対策

(ア) 応急仮設住宅の供与

久慈市は、家屋の焼失した世帯に対し、市の単独事業として応急仮設住宅18戸を建設し供与した。

部落名	仮設住宅	
	世帯数	家族数
二子	5	20
浜埜小跡	5	14
大尻	8	33
計	18	67

(イ) 見舞金の交付

① 災害弔慰金の交付

強風災害により花巻市で死亡した者(1名)の遺族に対し、同市から災害弔慰金の支給に関する法律に基づき災害弔慰金が支給された。

② 小災害見舞金の交付

住家の滅失率が一定基準に達した町村の被災世帯に対し、岩手県小災害見舞金交付内規に基づき見舞金を交付した。

市町村名	世帯数	交付額	交付月日
岩泉町	3	18,000 円	5 月 4 日
西根町	2	37,000 円	〃
松尾村	3	26,000 円	〃
計	8	81,000 円	

③ 岩手県共同募金会の見舞金の交付

岩手県共同募金会は、久慈市の被災世帯に対し見舞金を交付した。

交付日　4 月30日

交付額　被災 1 世帯当り 5,000 円

世帯数　61世帯

(イ) 救援物資の配付

日本赤十字社岩手県支部は、被災者に対し次のとおり救援物資を配付した。

区分	毛布	日用品セット	タオル	バスタオル	お見舞品セット
久慈市	267 枚	217 組	244 枚	122 枚	126 組
西根町	5	5	6	3	4
松尾村	6	6			3
葛巻町	5	5			2
岩泉町	4	4			3
計	287	237	250	125	138

(ウ) 専売品の交付

日本専売公社盛岡支局は、災害救助法が適用された久慈市災害対策本部に対し、たばこ及び食塩を交付した。

品名	数量	交付月日
たばこ(キャスター)	1,935 個	4 月 28 日
食塩	(700 g 入)　63 袋	〃

(エ) 減免措置

久慈市及び西根町は、県、市町民税等について次のとおり減免措置を講じた。

① 県、市町民税等の減免

税目＼市町		久慈市		西根町		計	
		対象者数	減免額	対象者数	減免額	対象者数	減免額
個人住民税	県民税	50人	725千円	3人	53千円	53人	778千円
	市(町)民税		1,259		92		1,351
	小計	50	1,984	3	145	53	2,129
固定資産税		44人	1,376	2人	74	46人	1,450
国民健康保険税		28世帯	3,830	1世帯	163	29世帯	3,993
合計	県税	50人	725	3人	53	53人	778
	市(町)税	122人世帯	6,465	6人世帯	329	128人世帯	6,794
	計	—	7,190	—	382	—	7,572

② その他の減免措置

項目	久慈市		備考
	世帯数	減免額	
国民年金保険料	26世帯	3,853千円	
保育料	3	650	児童5人
計	29	4,503	

(オ) 災害たすけあい運動の実施

岩手県共同募金会ほか県内報道機関等の協力を得て「久慈地域災害たすけあい運動」が実施され、89百万余円の浄財が寄せられた。

主唱団体　岩手県共同募金会、日本赤十字社岩手県支部、岩手県社会福祉協議会
㈱岩手日報社、ＮＨＫ盛岡放送局、岩手放送㈱、テレビ岩手㈱

実施期間　4月28日～5月20日

募金額　89,647,378円

(3) 復旧対策

ア 林業関係

今次林野火災による森林被害は、久慈市ほか8市町村に及び、国有林172ha、民有林2,720haが

被災した。

このため、県は森林災害について激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律に基づく局地激甚災害に指定するよう、政府等関係機関に強く要請した結果、昭和58年6月17日久慈市及び岩泉町の林野火災が局地激甚災害に指定され、森林災害復旧事業に対し、国の財政援助措置が講ぜられることとなった。

（市町村別森林被害面積）

市町村	国有林			民有林			計		
	人工林	天然林	計	人工林	天然林	計	人工林	天然林	計
	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
大船渡市				0.60		0.60	0.60		0.60
久慈市				270.46	602.15	872.61	270.46	602.15	872.61
西根町	149.54	8.01	157.55	62.96	17.46	80.42	212.50	25.47	237.97
紫波町	0.50		0.50				0.50		0.50
石鳥谷町				10.20	13.74	23.94	10.20	13.74	23.94
東山町					0.16	0.16		0.16	0.16
室根村	11.00		11.00	5.91		5.91	16.91		16.91
大槌町				81.55	29.36	110.91	81.55	29.36	110.91
岩泉町		3.00	3.00	513.32	1,112.66	1,625.98	513.32	1,115.66	1,628.98
計	161.04	11.01	172.05	945.00	1,775.53	2,720.53	1,106.04	1,786.54	2,892.58

(ア) 森林国営保険等の早期支払

被災した民有林（人工林）945haのうち森林国営保険等の加入は392haで、そのてん補率は被害面積の41%であり、また被害額の19%となっている。

これら森林国営保険等の早期支払について、関係機関に強く要請した結果、58年7月末に支払が完了した。

（森林火災の損害てん補の状況）

被災面積	被害額	てん補面積	てん補額	率	
				面積	額
ha	百万円	ha	百万円	%	%
945	1,211	392	234	41	19

保険金の支払

森林国営保険　5月末45%　6月末100%

森林災害共済　6月末30%　7月末100%

(イ) 治山事業

被災林地に係る地すべり等の二次災害を防止するため、緊急治山事業として58年6月補正予算において治山ダム12基の建設予算を措置し実施することとした。

市町村	治山ダム	事業費
久慈市	5 基	76,766 千円
西根町	1	5,314
大槌町	5	54,984
岩泉町	1	9,411
計	12	146,475

(ウ) 林道事業

被災林地の林業生産基盤の整備促進を図るため、国庫補助林道4路線及び県単独補助林道4路線を整備することとし、58年6月補正予算において予算措置した。

なお、県費の負担割合をそれぞれ5%上積して助成することとした。

市町村	国庫補助事業			県単独補助事業		
	路線数	延長	事業費	路線数	延長	事業費
久慈市	2	4,600 m	72,980 千円	2	1,000 m	13,000 千円
大槌町	1	600	37,340	1	500	30,000
岩泉町	1	2,000	77,200	1	500	20,000
計	4	7,200	187,520	4	2,000	63,000

(エ) 復旧造林事業

被災した林地の復旧造林を図るため、跡地造林20ha、跡地整理115ha及び作業路5kmの事業を実施することとし、58年6月補正予算において予算措置した。

なお、局地激甚災害の指定地域以外に係る復旧造林事業については、局地激甚災害の補助率と同率となるよう県費の嵩上げ補助を実施することとした。

市町村	跡地造林	跡地整理	作業路	事業費
久慈市	5 ha	50 ha	2,500 m	24,675 千円
西根町	5	15	500	8,740
大槌町	5	20	500	10,445
岩泉町	5	30	1,500	15,855
計	20	115	5,000	59,715

(オ) 林業被害に対する融資

林野火災の復旧に対する融資については、造林資金の融資と林業改善資金貸付金が適用されるが、これら資金の融資について指導を行った。

(カ) 空中写真撮影

森林の被災状況調査及び災害復旧対策に資するため、民間航空会社に委託し、空中写真撮影を行った。

委託期間　　5月12日～6月6日

イ　水産関係

久慈市において発生した林野火災は、折りからの強風によって玉の脇、二子、舟渡及び大尻地区の海岸地域に延焼拡大したことにより、漁家、漁業施設及び漁船等に甚大な被害をもたらした。

これら漁業関係施設の復旧については、沿岸漁業推進資金の融資及び新沿岸漁業構造改善事業補助金の導入により復旧の推進を図ることとしているが、その状況は次のとおりである。

（水産関係被害）

共同利用施設				非共同利用施設				漁船				漁具				水産業協同組合在庫品	
施設名	事業主体数	数量	単位	施設名	経営体数	数量	単位	規模		経営体数	隻数	種類	経営体数	数量	単位	種類	数量
事務所	1	2	棟	加工作業場	5	7	棟	無動力船		18	21	漁網綱	94	56,521	式	冷凍品	187
倉庫	1	4	棟	浜小屋	80	123	棟	動力船	5t未満	72	99	漁具	94	7,597	式		
冷凍工場	1	1	棟	機器具		28,635	基		5t以上	－	－						
有線放送	1	2	組	その他		2,059	式										
種苗センター	1	1	棟														

(ア) 漁業許可証の再交付

漁船保険の支払に必要な漁船抹消登記及び固定式刺網漁業等の漁業許可証の再交付13件を5月3日までに完了した。

(イ) 漁船保険給付金の早期支払

被災した漁船は120隻（動力船99隻、無動力船21隻）であり、このうち保険加入船は85隻となっている。

この漁船保険給付金の早期支払について県漁船保険組合に対し、その早期支払を要請したところであるが、5月4日に全損漁船60隻に対し給付金の仮払いが行われ、6月中旬までに分損漁船25隻に対する給付金の支払が完了した。

（漁船保険加入状況）

被害漁船数			保険加入漁船数			保険給付金
動力船	無動力船	計	動力船	無動力船	計	
99	21	120	85	0	85	31,501千円

(ウ) 新沿岸漁業構造改善事業

58年度新沿岸構造改善事業として、次の共同利用施設の整備について助成することとした。

施設名	地区名	構造	面積	事業費	受益戸数
漁船漁業用作業保管施設	大尻地区	木造高床式2階建2棟	延 872.73㎡	30,900千円	36戸
	二子地区	木造平家建1棟	556.48	16,280	28
水産物荷捌施設	玉の脇地区	鉄骨造平家建1棟	145.80	11,646	54
	〃	鉄骨造上屋1棟	290.71	16,500	

(エ) 水産被害に対する融資

被災漁船及び漁具類等の円滑な供給が図られるよう漁協及び業界に要請するとともに、沿岸漁業構造改善事業推進資金の融資の活用を指導した。

（沿岸漁業構造改善事業推進資金の融資状況）

区分		件数	融資額
漁船	無動力船	1件	325千円
	動力船	14	11,187
	小計	15	11,512
船外機エンジン		2	529
浜小屋		7	5,535
その他			7,094
計		(利用実件数) 22	24,670

ウ 農業関係

農業関係の被害は、強風による水稲育苗ハウス及び野菜ハウスの倒壊等の農業施設被害が主であるが、農作物の被害については、水稲苗の管理の徹底したことにより被害を最少限度に防止できた。

（農業被害の状況）

農業施設被害		農作物被害		家畜被害	
施設名	被害量	作物	被害量	家畜	被害量
水稲育苗ハウス	8,400棟	水稲苗	10,700箱	乳牛	2頭
野菜ハウス	1,890棟	野菜	101.1 ha	肉牛	2頭
畜舎・鶏舎等	132棟	葉たばこ	176.0 ha	ブロイラー	300羽
				採卵鶏	3,000羽

(ア) 農作物被害回復緊急指導

報道機関を通じ、被害苗への灌水及びシート被覆などによる保温等の緊急措置を呼びかけるとともに各農業改良普及所に対し、技術対策指針をもって指導の徹底を期した。

また、専門技術員班が被害現地に出向き、現地調査及び指導を行った。

(イ) 種苗及び営農用資材の確保指導の実施

水稲苗が不足する地域は、農協又は市町村内で融通し合い、適切な利用が図られるよう指導した。また破損したハウスのビニール等について、円滑な供給が図られるよう業界に要請を行った。

(ウ) 農作物災害復旧事業

被害農作物の播直し等に対し、次のとおり助成した。

作物	市町村	事業量	事業費	補助金	補助対象
水稲	花巻市	23ha	2,779千円	926千円	苗の購入費
	玉山村	12	1,530	510	〃
	矢巾町	178	357	119	〃
	小計	213	4,666	1,555	
野菜	西根町	23	3,230	1,076	種子等の購入費
	滝沢村	4	719	239	〃
	松尾村	9	1,698	566	〃
	小計	36	5,647	1,881	
計	6市町村	249	10,313	3,436	

(エ) 農業被害に対する融資

被災地域が3年連続の冷災害地域であることに鑑み、被災農業者の経営を早急に再建するため、自作農維持資金の融資枠の確保と早期配分等を国に要請した結果15,000千円の配分があり、その融資状況は次のとおりである。

資金名	件数	融資額	備考
自作農維持資金	11件	14,100千円	

エ 商工関係

政府系金融機関の地元支店及び岩手県信用保証協会に対して円滑な資金貸出し及び保証実施の促進を要請するとともに、久慈市内に臨時金融経営相談所を開設し、被害者の金融経営相談に当たった。

臨時金融相談所の開設

期日　5月6日(金)

場所　久慈市漁業協同組合魚市場大会議室

参加金融機関等　商工組合中央金庫、中小企業金融金庫、岩手県信用保証協会、久慈商

工会議所、岩手県、久慈市

オ　土木関係

被災地域に係る緊急防災用道路改良事業、緊急砂防事業及び港湾災害復旧事業等について、昭和58年度事業として次のとおり実施することとした。

(ア)　道路改良事業

事業名	路線名	施行個所	施行量	事業費
道路改良	一般県道 小袖海岸線	玉の脇～大尻	L＝230 m W＝5.5(9.5)m	千円 24,000
県単舗装新設	〃	〃	〃	12,000
県単道路災害防除	〃	小袖	L＝180 m ポケット式ロックネット	20,000
計				56,000

(イ)　緊急急傾斜地崩壊対策事業

施行個所	施行内容	事業費
大槌町本町	コンクリート張工 L＝21.5 m	千円 15,000
〃　桜木町	擁壁工 L＝54 m	16,000
計		31,000

(ウ)　緊急砂防事業

施行個所	施行内容	事業費
大槌町桜木一の沢	堰堤工　H＝6 m　L＝51 m 軀体コンクリート　1,023 ㎥	千円 42,000
〃　桜木二の沢	堰堤工　H＝5 m　L＝75 m 軀体コンクリート　1,718 ㎥	61,200
岩泉町沢口沢	堰堤工　H＝8.5 m　L＝44.9 m 軀体コンクリート　2,155 ㎥	88,200
久慈市玉の脇川	堰堤工　H＝7 m　L＝43 m 軀体コンクリート　1,086 ㎥	51,000
〃　大尻川	堰堤工　H＝9.5 m　L＝72 m 軀体コンクリート　2,288 ㎥	85,500
計		327,900

(エ) 通常砂防事業

施行個所	施行内容	事業費
大槌町城山沢	堰堤工　H＝2.5 m　L＝15.7 m 軀体コンクリート　300 ㎥	千円 15,000

(オ) 港湾災害復旧事業（県単独災害復旧事業）

事業名	港湾名	事業費
オイルフェンス整備事業	久慈港	19,200 千円

カ　上水道施設関係

久慈市大尻地区及び二子地区の簡易水道施設に係る電柱及びケーブルが被害を受けたところであるが、4月28日に久慈市が応急措置を講じ、恒久工事は8月5日から8月15日に実施し復旧した。

キ　電話、電信

火災・強風災害の発生に伴い、日本電信電話公社岩手電気通信部では、岩手電気通信部及び各電報電話局（盛岡、釜石、久慈、岩泉、岩手）に災害対策本部を設置した。

（被害の概要）

区分	被害数
電柱	118 本
架空ケーブル	10,841 m
SDワイヤー	5,190 m
電話機	65 個
引込線	307 件
保安器	71 個
屋内線	61 件

応急対策活動は、作業員延672人を投入して行われ、4月30日19時、久慈局の回復確認で、全回線復旧終了となった。

（応急対策の内容）

(ア) 通信部災対本部と被災局災対本部間の連絡を専用回線により常時情報交換可能な状態に処置

(イ) 被災状況調査班の出動

(ウ) 復旧作業計画策定と復旧作業及び進行状況の報告

(エ) 消防活動、道路交通等の障害となる焼失設備の除去（久慈局）

(オ) 通話の異常ふくそう対策として、50％の通話規制を実施

(カ) 臨時回線及び特設公衆電話等の設置（久慈局）

報道機関等　22回線

電報用臨時　2 〃

特設公衆等　30 〃

(キ) 臨時電報電話取扱所の開設（久慈局・1箇所）

(ク) 広報車による地域住民への情報提供及び周知活動

(ケ) 報道機関に対し、被災現地通信設備の被災状況、回復見込等の情報提供

ク 電　力

強風による飛来物、樹木の倒壊等により配電線等に被害が生じ、林野火災の発生に伴い被害の拡大が予測されたため、東北電力株式会社岩手支店では第一非常体制を発令し、岩手支店総務部内に非常災害連絡室を、関係営業所（盛岡、久慈、宮古、釜石）に対策本部を設置した。

（被害の概要）

支持物（電柱）	電　線	変　圧　器	開　閉　器
171 基	170 条スパン	20 台	1 台

復旧作業は、作業員延673人、使用車両延167台、ヘリコプター1機を使用して行われ、4月28日16時46分に最終事故復旧がなされた。

（復旧作業の内容）

(ア) コンクリート柱、複合柱を使用した電柱建柱及び建替工事

(イ) 電線張替工事

(ウ) 開閉器及び変圧器揚替工事

(エ) 支線工事及び引込線工事　等

ケ 市町村の林野火災に対する財政措置

久慈市に対し、普通交付税6月概算交付額の30パーセントにあたる164百万円が5月11日に繰上げ交付された。

コ 民生関係

(ア) 災害見舞金及び義援金等

今次災害に対し、天皇、皇后両陛下から御見舞の御下賜金をはじめ、県内外から多くの浄財及び救援物資が寄せられた。

これら見舞金及び義援金等については、久慈市を通じ被災者に贈られたほか、災害復旧対策事業に充てられた。

（災害見舞金及び義援金等の受入状況）

取扱区分	受入金額	備考
岩手県	9,225,000 円	災害見舞金
久慈市	61,339,444	（県の取扱分 1,114,426円）
日本赤十字社	67,145,460	
久慈市災害たすけあい運動	89,647,378	
計	227,357,282	

救援物資の受入

救援物資　40,400点

（衣類80%、寝具10%、食料品5%、家財道具2%、その他3%）

(イ) 災害援護資金等の貸付

被災者の生活再建に資するための災害援護資金等について、次のとおり貸付が行われた。

資金名	世帯数	貸付額	備考
災害援護資金	18	32,400 千円	久慈市
世帯更正資金	24	15,110	〃
母子福祉資金	1	550	〃
計	43	48,060	

9. 火災防ぎょの検討

(1) 火災防ぎょ検討会実施状況

将来予想される林野火災の予防、防ぎょ活動あるいは防災体制の充実に資するため、各市町村において火災防ぎょ検討会が実施された。

県が参画した火災防ぎょ検討会は次のとおりである。

(ア) 主催　岩手県

日時　昭和58年6月3日、4日

場所　盛岡市　岩手労働福祉会館

出席者　19機関47名

所　　属	職　　名	氏　　名
自治省消防庁地域防災課	課長補佐	山谷成夫
	特殊災害係長	石川増弘
岩手県総務部消防防災課	課長	山口清三郎
	課長補佐	土橋正雄
	副主幹兼消防係長	葛忠一
	防災係長	小山田宏
	予防係長	関村吾朗
消防学校	校長	藤原和夫
	上席消防教官兼教務科主任	藤原昭一
	主任消防教官	佐藤清
林業水産部林業課	課長	佐々木和巳
久慈地区広域行政事務組合消防本部	消防長	久慈洋一
	久慈消防署長	松村又蔵
	消防課長	三船進一
盛岡地区広域行政事務組合消防本部	消防長	外村繁男
	消防次長	太田代實
	消防課長	大谷政司
	盛岡消防署長	山本貞男
	紫波消防署長	小平芳孝
	消防課長補佐	吉田統一郎
	〃	平野進
	盛岡消防署次席	武田吉次
	西根分署長	松尾勝彦
	盛岡消防署消防係長	藤原清四郎
	紫波消防署消防係長	吉田好明
	本部消防主任	山口昇
	滝沢分署長代理	高橋善一
宮古地区広域消防組合消防本部	警防課長	白鳥定男
	岩泉消防署長	畠山忠男
大槌町消防本部	消防長	岩間和郎
	大槌町消防署次席	中村昌道
両磐地区消防組合消防本部	消防長	千田功
	室根分署長	小岩喜久雄
花巻地区消防事務組合消防本部	消防長	柳田満

所　　属	職　　名	氏　　名
花巻地区消防事務組合消防本部	石鳥谷分署長	佐藤清六
大船渡地区消防組合消防本部	大船渡消防署次席	大畑信吾
	住田分署長	菊池将郎
	三陸分署長	佐藤光雄
	本部警防係	新沼右近
胆沢地区消防組合消防本部	次　　長	熊谷泰治
北上地区消防等組合消防本部	北上消防署次席	高橋喜久雄
遠野地区消防事務組合消防本部	消防長心得	菊池信
二戸地区広域行政事務組合消防本部	消防長	久保田喜一郎
陸前高田市消防本部	消防長	佐々木一郎
釜石市消防本部	消防長	阿部哲夫
江刺市消防本部	江刺市消防署長	及川清治
陸上自衛隊第9特科連隊	連絡幹部	石井金一郎

(イ) 主　催　　久慈市

日　時　　昭和58年6月14日

場　所　　久慈市　久慈地区県合同庁舎

出席者　　18機関46名

所　　属	職　名（階級）	氏　　名
久慈市	助　　役	日沢常造
	総務部長	小向雄幸
久慈地区広域行政事務組合消防本部	消防長	志賀竹次郎
	消防署長	松村又蔵
	消防課長	三船進一
	総務課長	吉田虎之助
	署次席	小屋畑勝造
	本部予防係長	兼田定男
	署警防係長	山本正雄
久慈市消防団	団　　長	谷地左平
	副団長	大向武志
	〃	久慈仁八
	〃	久慈昭三
普代村消防団	団　　長	熊谷儀一

所　　属	職　名（階級）	氏　　名
普代村消防団	副団長	嵯峨初三郎
	〃	佐藤喜一
種市町消防団	副団長	大入幸吉
	本部長	高城邦夫
	副本部長	石手洗勇
野田村消防団	団長	前田公司
	副団長	中村拓雄
	〃	南川好三
	本部長	中野勉
山形村消防団	団長	二ツ神武蔵
	副団長	清水吾一
	本部長	下斗米敬造
	分団長	長内定一
大野村消防団	団長	飛鳥嘉八郎
	分団長	山村正幸
	〃	提内武治
陸上自衛隊第9特科連隊	連絡幹部	倉本信幸
陸上自衛隊第9師団	防衛班長	石坂致昭
八戸海上保安部	警備救難課長	田畑春男
久慈警察署	署長	高橋和人
	外勤課長	田中敬吉
久慈営林署	署長	磯山高雄
久慈県税事務所	税務課長	嵯峨良雄
久慈農林事務所	林務課長	竹内政由
県林業課	森林保護係長	福田匡四郎
	技師	佐藤順一
岩手県消防学校	上席消防教官兼教務科主任	藤原昭一
	主任消防教官	佐藤清
県消防防災課	課長	山口清三郎
	副主幹兼消防係長	葛忠一
	予防係長	関村吾朗
	主事	松岡博

(2) 検討結果

火災防ぎょ検討会では、予防、警戒、体制、防ぎょ活動、施設整備等あらゆる角度から検討が加えられ、今後の林野火災対策のあり方について多くの教訓を得たが、その主要なものは次のとおりである。

項　　目	反　　省　　点	対　　策
1.山林管理	除間伐等の山林管理が十分でなかったため、着火物が地表をおおい、飛火延焼拡大の大きな要因になった。	消防、林業関係者が密接な連携を図りながら、防火帯の設置、除間伐等の徹底等“火事に強い山造り”のための山林管理を積極的に推進する。
2.予防広報	広大な山林をかかえている中で、山火事防止の予防広報、巡視、警戒の徹底は容易ではなく、特に、不特定多数の入山者（山菜・きのこ採り等）に対する広報が十分でなかった。	立看板、横断幕等目に見えるものの活用、更には、航空機による空からの広報を有効に利用するとともに、県民運動としての森林保護、防火思想の普及啓蒙を図る。
3.火災警報	被災市町村及び一部事務組合では、火災警報の発令を検討していたが、発令前に火災が発生したため、結局火災警報は発令されなかった。（近隣の宮古市、山田町及び新里村では、岩泉町の火災発生後に、火災警報を発令。） （その背景にある問題点） ①発令基準が明確に規定されていない市町村及び一部事務組合があること。 ②一部事務組合においては、管轄区域が広範囲であるため、気象条件の相違から発令が困難な場合があること。 ③火災警報が発令されると、警戒本部の設置、非常体制等かなりの人的、物的負担が生じ、また、火の使用制限に伴う社会生活への影響も大きいことから、警報発令にかえて、広報、警戒の徹底で対処している場合が多いこと。	①管轄区域の実情に応じ、気象の観測地点、方法、発令範囲等の見直しを行うとともに、消防計画の整備を図る。 ②火の使用制限をした場合、具体的にどのような問題が生じるか調査研究し、必要な対策を講じる。
4.指揮統制、情報連絡体制	今回の防ぎょ活動には、多数の関係機関が関与したが、様々な悪条件の中で、指揮命令、情報連絡が必ずしも円滑に行われず、広域消防体制下における指揮統制のあり方について検討を要する面があった。	

項　　目	反　　省　　点	対　　策
	（主な反省点） ①延焼範囲が広範囲に及んだこと、応援出動機関に対する地理案内が不十分であったこと、及び無線機器操作の不統一のため、一時無線交信が混乱したことなどから、正確迅速な現場の状況把握、情報収集ができなかったこと。 ②情報の収集体制が不十分であったため、現場の状況が把握できず、未確認情報などで災害対策本部が一時混乱をきたし報道機関の対応等に適切さを欠いたこと。 ③自衛隊、営林署、応援消防機関等に対して、適切な情報の提供、指示が不十分であったため、効果的な指揮統制がとれなかったこと。	①林野火災防ぎょ図等を作成し、平素から地理地形の状況把握や警防戦術の検討を行う。 ②通信、伝令の役割分担を明確にするとともに、自衛隊、海上保安庁の協力を得ながら空、海からの状況把握に努める。 ③平時において、無線機器操作方法の教育を実施し、その熟知を図るとともに、災害時においては、電源切れによる交信不通を防ぐため、充電器、予備電源を現場に携帯する。 ④災害対策本部には、通信施設（有線・無線）を集中配置し、伝達系統の確立を図るとともに、関係機関の責任者を常駐させ、指揮系統、行動の統一を図る。 ⑤報道機関用の別室を設け、共同発表の形で適時適切な情報の提供を行い、正確迅速な情報伝達に努める。 ⑥平素から、災害対策本部のあり方、対応の仕方について研修、訓練し、災害時における機敏な対応に備える。 ⑦応援出動機関に対しては、事前にできるだけ詳細に気象、地理及び災害状況を連絡し、効果的な部隊運用が図れるよう配慮する。また、地理地形、災害状況に詳しい地元消防職団員を現場に同行させ、部署位置、防ぎょ活動について適切な指示の徹底を図る。
5. 水　　利	防ぎょ活動は、あくまで水による消火が主体であり、その水利不足が火災拡大の一因であった。	防火水槽の整備充実はもとより、自然水利の活用を図るために、取水可能な水利を把握するとともに、河川沢等への取付道路の設置等、その整備、維持に努める。

以上のように、問題点、反省点が数多く指摘された一方、次のような貴重な教訓も得た。

① 防災行政無線が、住民に対する避難広報に効果的であったこと（大槌町）

② 自主防災組織及び地域住民が、消火活動、炊出し等に大きな役割を果たしたこと（岩泉町、大槌

町）

③　山林防災スプレヤーが大いに役立ったこと（岩泉町、大槌町）

④　海岸地域における海上保安庁及び民間船による海からの救助活動、情報収集が効果的であったこと（久慈市）

⑤　水利不足を補うために、ミキサー車が活用され威力を発揮したこと（久慈市）

⑥　自衛隊による空中消火活動が、大変効果的であったこと（久慈市、岩泉町、西根町）

また、今次災害における特徴としてあげられることは、被災地域の多くが、昭和36年の三陸フェーン災害をはじめ数多くの林野火災を経験してきた地域であったため、人命、民家の防ぎょを最優先するという警防戦術の教訓を十分生かし、悪条件下でありながら死傷者を出さなかったことであり、今後のこの種の火災対策の貴重な教訓となった。

10.　今次災害の教訓をふまえ県が講じた措置

県では、今次災害から得た反省、教訓をふまえ、次のような措置を講じた。

(1)　岩手県防災行政無線システムによる模写電送装置の設置

本県では、昭和55年度から防災行政無線を設置し、災害対策に係る予報、警報、その他の情報の伝達の迅速化を推進してきたが、一層の正確かつ迅速な事務処理を図るため、県立病院に防災行政無線を新たに設置するとともに、盛岡地方気象台、各市町村及び各消防本部に模写電送装置（ファクシミリ）を増設することとした。（昭和58年度）

(2)　空中消火資機材等の増強

昭和49年度に空中消火資機材等を整備し、林野火災等大規模災害に対処してきたが、このたび、大型ヘリコプター用資機材を配備するなどその増強を行い、更に県内３ケ所に分散配備し、効率的運用を図ることとした。

①　配備年月日　　昭和58年10月31日

②　配備場所、種類及び数量

資機材等名 ＼ 配備場所			岩手県消防学校（岩手県防災資機材倉庫） 紫波郡矢巾町大字藤沢第3地割字大宮田117番地1	宮古地区広域消防組合消防本部（防災会館） 宮古市五月町2番1号	岩手県防災資機材倉庫 気仙郡住田町世田米字清水沢59番地27
水のう型散布装置	700ℓ	19台	7	6	6
	1,800ℓ	4台	4	—	—
貯水槽	2,500ℓ	8台	4	2	2
	7,000ℓ	2台	2	—	—
混合機		4台	2	1	1
粉砕機		1台	1	—	—
化学消火剤(MAP)		300袋	150	75	75
消火液増粘剤(CMC)		92袋	42	25	25
バッテリーボックス		16個	8	4	4

(3) 市町村等に対する指導

火災防ぎょ検討会の結果等をふまえ、林野火災防止対策について、次のとおり各市町村長及び各消防の一部事務組合管理者あてに通知した。

林野火災防止対策について

（昭58.6.25消防第232号　岩手県総務部長から各市町村長及び各消防の一部事務組合管理者あて）

去る4月27日に異常乾燥、強風下において林野火災が多発し、昭和36年の三陸フェーン災害以来の大火となったところでありますが、この経験をいかすため、県下の消防機関等関係者の参集を得て6月3、4日の2日間にわたり火災防ぎょ検討会を開催し種々検討した結果、被害が甚大であった市町村の火災警報の取扱いや対策本部の設置、対応の仕方をはじめ消防機関の消火活動等各般にわたり今後の災害対策に十分活かされるようお願いいたします。

記

1. 火災警報の発令

本年4月23日以降の異常乾燥注意報及び強風注意報が発表されても火災警報を発令しないで単に消防広報車等による警戒を呼びかけた消防機関が多かったが今後は火災警報基準を明確に規定し、基準に基づいた措置をとられたいこと。

(1) 火災警報の発令基準については、次の基準（岩手県地域防災計画の異常乾燥注意報の発表基準）を参考としながら、気象、消防力、火災事例等地域の実情を勘案のうえ整備をされたい。

ア　最小湿度40%以下、実効湿度65%以下で風速7m/s以上が2時間以上継続

イ　最小湿度35％以下で実効湿度60％以下になると予想される場合

(2)　一部事務組合の場合は、管轄区域が広範囲であり、気象条件が著しく異なる場合があるので発令できないとする向きもあるが、市町村単位にあるいは管轄区域をブロック化するなど管轄区域の実情に応じた地域に火災警報を発令するようにされたい。

(3)　火災警報の発令権者は、消防法第22条の規定により市町村長とされているが、一部事務組合に加入している市町村の発令権者は組合管理者になるので、その点が不備な一部事務組合にあっては速やかに整備されたい。

2.　火入れ等に対する指導の徹底

(1)　市町村長は森林法第21条の規定により、火入れに関する許可を行った場合は必ず消防機関に通知されたい。

(2)　火災とまぎらわしい煙（火入、廃材焼却等）を発するおそれのある行為等については火災予防条例に基づく届け出を消防機関にするよう指導の徹底を図られたい。

(3)　火入れを行う日が、火災予防上危険な気象条件のときは、危険がなくなるまでの間火入れを中止するよう指導されたい。

(4)　火入れを行う際は、火入れ地以外に延焼しないよう防火線の設定及び防火体制をとるよう指導されたい。また、残火による再燃火災が発生しないよう完全消火を確認させるとともに必要に応じ警戒に当たらせる等適切な対応について指導されたい。

3.　火災即報の取り扱い

林野火災が発生した場合、覚知後３時間を経過しても火勢を鎮圧できない場合は、火災報告取扱要領（昭和43年11月11日消防総発第 393 号消防庁長官通知）により直ちに報告することになっているが、今次の火災では報告がされなかったので今後かかることがないよう配意されたい。

なお、延焼が拡大し他の消防機関に協力要請する事態になった場合、状況のいかんによっては自衛隊の派遣要請にも発展しかねないので火災報告基準に達しない場合でも事前情報として直ちに通報されたい。

4.　情報の収集及び伝達体制の確立

(1)　市町村で災害対策本部を設置した場合は直ちに県にその旨を報告するとともに県及び防災関係機関との連絡責任者を定め連絡の一元化を図られたい。

(2)　市町村災害対策本部を設置した場合には現地からの報告、各方面からの照会等パニック現象を招くことから通信回線の集中管理について、平常時から配意されたい。

(3)　消防本部には現地からの報告をうけた場合適切な判断ができる責任者を配置し消火活動の総合調整ができる体制をとられたい。

(4)　災害現場における消防団が無線を長時間無秩序に交信したことにより指揮本部が現場の状況をは握できなかったこと、あるいは指揮命令を伝達できなかったため車両の投入、転戦防ぎょ上混乱を生じた事例がみられたので団員に対し無線操作方法の習熟を図るとともに情報収集の一元

化、指揮伝達系統の確立を図られたい。

(5) 協定により隣接消防団に出動要請をした場合はその消防団に対し到着後直ちに災害の概況や防ぎょ地域の地理、水利状況、消火活動の分担範囲等を可能な限り具体的に説明するとともに地理地形に詳しい団員に案内させるなど、効果的な消火活動ができるよう配慮し、同時に指揮本部とも連絡を密にし臨機の措置がとれるよう指揮命令系統を確立するようにされたい。

5. ヘリコプターの派遣要請

ヘリコプターの派遣要請については、その時機を失しないよう早期に検討判断し、派遣要請に当たっては、ヘリポートの位置、気象状況等についても併せて報告されたいこと。

6. 林野火災用消火資機材の整備等

(1) 林野火災用消火資機材について県、県の出先機関及び営林署のほか各市町村、消防機関の保有しているものについて保管場所、数量等を常には握しておくこと。また応援協定している他機関の保有数量等についても調査しておくとともに今回の災害の経験に鑑み不足分については計画的整備を図られたい。

(2) 林野における道路状況、水利個所を図化し常に有事に際し機動的に対処できるよう不断の体制を整備されたい。

7. 消防水利の確保

(1) 消防水利の整備については、国庫・県単補助事業及び自治振興基金の活用を図るほか、市町村単独で積極的に整備されたい。

(2) 林野火災の場合、消防水利としては握していない小河川、沢等の活用が重要となるので水利調査を実施しその状況をは握されたい。

(3) 水利不足を補うため、ミキサー車の活用が大きな威力を発揮したことから、保有業者の協力が得られるようその体制を確立しておかれたい。

8. 報道機関に対する対応

報道機関の待機室を設けないため市町村災害対策本部を占拠され業務が円滑に行われなかった向きがあるので報道機関に対しては待機室を特別に設置するほか被害状況等の発表については時間を定めて行うよう予め関係者に周知をはかられたい。

(4) 火災予防に係る注意の換起

火災気象通報は、盛岡地方気象台が異常乾燥注意報、強風注意報及び風雪注意報を発表する際、本文中に「火災の起りやすい気象状態になっているので注意して下さい。」との注意文を入れて発表しているが、一層の注意を換起するため、火災気象通報に加え、下記により各消防機関あてに注意を喚起することとした。

① 通知方法

防災行政無線消防一斉による。

② 本　文

発信者　　消防防災課長

宛　先　　各消防長

火災予防に係る注意の換起について

○○注意報が、○月○日○時○分盛岡地方気象台から発表され、火災の発生しやすい気象条件になっておりますが、貴管内の気象条件等もふまえ火災警報発令基準に該当している場合は、火災警報を発令する等の対策をとり火災予防に万全を期されるようお願いします。

なお、火災警報を発令した場合は、電話でお知らせ願います。

11. 資　　料

過去の林野火災一覧表（昭和20年以降・焼損面積10ha以上）

	出火年月日	市　町　村	り災世帯	焼損面積	損害額
1	昭和20年4月13日	下閉伊郡山田町	（不明）世帯	1,210 ha	（不明）千円
2	22．4．17	(旧)東磐井郡大津保村	（〃）	1,008	（〃）
3	23．5．16	(旧)二戸郡小鳥谷村	（〃）	202	（〃）
4	30．3．13	(旧)下閉伊郡花輪村	1	198	5,591
5	4．12	〃　岩泉町	—	434	18,800
6	〃	(旧)　〃　安家村	—	297	5,000
7	31．4．17	〃　田野畑村	1	1,420	80,670
8	4．24	〃　〃	26	766	493,145
9	36．5．27～29	久慈市、宮古市、岩泉町、田老町、山田町、普代村、田野畑村、新里村、山形村	1,088	29,898	3,681,186
10	44．4．29	普　代　村	1	304	101,450
11	5．6	山形村、大野村、種市町、久慈市	29	3,786	1,047,994
12	46．4．20	久　慈　市	—	66	16,129
13	4．21	山　田　町	—	48	10,700
14	5．12	大　槌　町	—	38	31,087
15	47．4．17	江　刺　市	—	15	138

	出火年月日	市　町　村	り災世帯	焼損面積	損害額
			世帯	ha	千円
16	昭和47年6月1日	盛岡市	—	14	—
17	48．4．20	山形村	—	74	7,785
18	5．26	一戸町	—	25	2,300
19	49．4．23	久慈市	—	30	11,690
20	5．4	〃	—	22	10,773
21	5．12	種市町	—	19	4,610
22	5．13	〃	—	35	520
23	5．18	川井村	—	50	13,000
24	〃	釜石市	—	15	446
25	5．19	岩泉町	—	10	80
26	51．1．2	三陸町	—	220	229,161
27	1．2	釜石市	—	201	441,023
28	4．28	軽米町	—	26	8,688
29	4．29	種市町	—	68	45,662
30	5．14	宮古市	—	294	114,167
31	5．15	葛巻町	—	140	73,475
32	5．24	川井村	—	24	6,831
33	52．4．18	田野畑村	—	16	6,443
34	4．19	普代村	—	16	12,052
35	4．23	一関市	—	12	14,858

（注）　昭和45年以前は主要林野火災のみ掲上した。

（資料：消防年報、「三陸フェーン大火の概況」）